

ささえあう心で笑顔あふれる福祉のまちづくり

～ みんなでつくる みんなのしあわせ ～

平成30年度

# 社協のあゆみ



社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

# 目次

■平成29年度事業報告	1
■平成29年度事業実施状況データ集	17
■平成29年度決算報告	
◆平成29年度決算の概要	61
◆資金収支計算書（第1号の1様式）	62
◆資金収支内訳表（第1号の3様式）	65
◆事業活動計算書（第2号の1様式）	66
◆事業活動内訳表（第2号の3様式）	69
◆貸借対照表（第3号の1様式）	70
◆財務諸表に対する注記（法人全体用）	71
◆基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）	74
◆寄附金収益明細書	75
◆補助金事業等収益明細書	76
◆事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書	77
◆基本金明細書	78
◆国庫補助金等特別積立金明細書	79
◆積立金・積立資産明細書	80
◆引当金明細書	81
◆財産目録	82
■監事監査報告	
◆監査報告書	84
◆独立監査人の監査報告書	89
■平成30年度事業計画	97
■平成30年度予算	
◆予算の概要	109
◆資金収支予算書（第1号の1様式）	110
◆資金収支予算内訳表（第1号の3様式）	111

# 平成 29 年度 事業報告



# 社会福祉法人養父市社会福祉協議会 平成 29 年度事業報告

## ■ 福祉目標

ささえあう心で 笑顔あふれる 福祉のまちづくり  
～みんなでつくる みんなのしあわせ～

## ■ 全市的重点目標

小地域での見守りあい・  
支え合い活動をみんなですすめましょう

## ■ 推進目標

- 1 だれもが大切にされるまちづくり
- 2 みんなが参加し、つながりあう地域づくり
- 3 その人らしい暮らしをささえるしくみづくり

【養父市社会福祉協議会第2次地域福祉推進計画(平成 25 年度～29 年度)】

現在、社会福祉の分野では、『地域共生社会』の実現に向けた議論が活発になっています。

国では、一億総活躍プランが掲げる『地域共生社会』の理念の実現を図るため、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を設置し、支援を要する人たちの多様で複合的な生活・福祉課題の解決に向けて、住民参加による包括的な支援体制を構築していくための検討が進められています。

養父市社会福祉協議会は、住民活動主体の原則に基づき、「地域が抱えているさまざまな生活・福祉課題を地域全体の課題として捉え、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることにより、福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進をめざす」組織です。

平成 29 年度は、「組織経営基盤計画(平成 28 年度～30 年度を重点期間)」と「養父市社会福祉協議会第2次地域福祉推進計画」に基づき事業を進めました。

重点事業の取り組みと基本活動・活動項目に沿って、平成 29 年度の事業を次のとおり報告します。

## 平成 29 年度重点事業の取り組み

### ① 組織経営基盤の強化〈安定的な法人運営と最適な事業展開のための組織改編〉

改正社会福祉法に基づき、経営組織の改編を実施し、新たに評議員・理事・監事が選任され、平成 29 年度がスタートしました。

理事で構成される部会を「企画経営部会」と「ふくしのまちづくり部会」の 2 部会とし、組織経営基盤の強化に向けて議論を深めました。

組織経営基盤計画の方針に基づき、以下のとおり、財政の健全化に努めましたが、大変厳しい状況に変わりありません。

#### (1) 財源の確保

##### ●社協会費

地域住民への会費の理解をすすめる取り組みを実施し、一般会費は 7,407 世帯から 8,888,400 円の協力（前年度 7,449 世帯、8,938,800 円）がありました。

##### ●介護保険事業・障害福祉サービス

地域に開かれた組織体制を確立するために、介護保険事業と障害福祉サービスを行う意義を明確にし、事業としての採算性の確保と適切な運営を行うために、積極的に利用者を受け入れました。

現在、指定管理制度施設として使用している、デイサービスセンター「ふれあい」と関宮総合保健福祉センターの両施設で運営している通所介護事業は、施設の経年劣化による、修繕経費や水道光熱費等の固定費が事業運営に影響を与えています。

平成 29 年度は、関宮通所介護事業所で空調設備、給湯タンク等の故障により、サービスが実施できない時期があり、利用者みなさんに多大なご迷惑をおかけしました。

\* 介護保険事業収入 325,258,846 円（前年度比 0.6%減）

\* 障害福祉サービス事業収入 16,026,204 円（前年度比 0.05%減）

#### (2) 事業費・事務費の削減

平成 29 年度は、前年度に続き、事業費・事務費の経費削減に努めました。

\* 事業費+事務費 110,923,464 円（前年度比 2.6%減）※H27 対比 8.6%減

### ② 総合相談・生活支援の体制づくり〈ケアワーカーとコミュニティワーカーの職種間連携と高齢者相談センター（大屋地域・関宮地域）の受託運営〉

総合相談・生活支援の体制づくりをすすめるため、ケアワーカー・相談支援ワーカー（個別支援）やコミュニティワーカー（地域支援）の職種間連携を図れるよう、平成 29 年度に養父支部にケアマネジャーを配置、大屋地域・関宮地域では、地域包括支援センターのランチ（相談窓口）として、高齢者相談センター業務を受託し、ケアマネジャー 1 名ずつを配置しました。

ホームヘルパーやケアマネジャー、ふれあい訪問員やコミュニティワーカー等によるアウトリーチを行うことで、組織全体で個人の生活全体に寄り添う伴走型支援を重層的に支えるための取り組みを進めました。

### ③ 第3次地域福祉推進計画（民間計画）と第4次地域福祉計画（行政計画）の策定年度を揃えるための働きかけと行政・関係機関等との連携

改正社会福祉法において、地域福祉の推進が各市町の責務として位置付けられ、地域福祉行政を実効性のあるものとしていくためには、地域福祉計画に基づく行政運営が鍵となります。

平成 29 年度は、官民協働による地域福祉を進めていく上で、第3次地域福祉推進計画（民間計画）と第4次地域福祉計画（行政計画）の策定年度を揃える働きかけを行いました。

第4次地域福祉計画（行政計画）は、平成 31 年度に策定されることから、第3次地域福祉推進計画（民間計画）は、地域福祉推進の方向性を行政施策に反映できるよう、一年先行型で取り組むこととなりました（平成 30 年度に策定）。

### ④ 各支部を拠点とした運営の強化〈支部運営委員会と安心地区推進協議会における地域の課題解決に向けた仕組みづくり〉

「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部に設置された「地域力強化検討会」では、住民に身近な圏域における住民主体の課題解決力の強化が提起されています。

介護保険制度の生活支援体制整備事業では、市町域（第1層）と日常生活圏域（第2層）において、多様な関係主体間の情報共有及び連携・協働の場としての「協議体」の設置を行うこととされています。

平成 29 年度は、地区福祉委員会や支部運営委員会、安心地区推進協議会等で、専門職や関係機関・地域と連動した「協議の場、づくりを進めました。

養父市大屋町樽見 199 番地に居住されていた関本勢以子様が、平成 29 年 7 月 23 日にご逝去されました。

関本勢以子様は、平成 21 年 1 月 22 日にご逝去されたご主人の関本八郎様と、平成 17 年 12 月 27 日に、「遺言者の有する財産の全部を養父市社会福祉協議会に遺贈する」と公正証書を作成しておられ、平成 30 年 2 月 21 日に、遺言執行者である前田貞夫弁護士から遺贈金 73,308,769 円を拝受いたしました。

平成 30 年 3 月末時点で、関本ご夫妻からの遺贈金総額 119,592,545 円のうち 110,000,000 円を地域福祉基金とし、残額の 9,592,545 円を財政調整基金に積み立てました。

関本ご夫妻の遺志により拝受した遺贈金は、養父市内における拠点施設の設置等を目的に「関本基金（特定基金）」を設置し、今後の地域福祉事業に有効利用させていただきます。

遺贈に対しまして衷心よりお礼を申し上げ、関本勢以子様のご冥福をお祈り申し上げます。

## 全市的重点目標

### 小地域での見守りあい・支え合い活動をみんなですすめましょう

#### 活動項目1 福祉連絡会の活動支援

- **活動助成を行い連絡会の友愛訪問、見守りあい活動、交流事業などを支援**  
福祉連絡会を設置している144区へ活動助成金2,022,000円を助成し事業を支援しました。



須西区福祉連絡会は、お弁当を届けて高齢者宅を友愛訪問＝2017.12.17



4月17日から始まった福定区ふれあいサロン。毎週月曜日に公民館に集まります＝2017.4.17

- **地域の特性や課題を明らかにする「地域見える化シート（地域カルテ）」づくりの支援**

地区福祉委員会を市内の旧小学校区19地区でそれぞれ3回実施。平成27年度に作成した「地域見える化シート（地域カルテ）」を基に、平成28年度は地域の宝物マップづくりを行いました。

今年度は宝物マップをもとに、地域にあればいいと思う助け合い活動を話し合い、さらに各区で取り組めそうな活動を取り上げて30年度の活動計画を作成しました。

また、地域見える化シートは地域活動の基本情報となるため更新をはかりました。




付箋に書いた「あったらいいな こんな助け合い」を公表しました＝2017.12.6  
小佐地区福祉委員会 小佐ふれあい倶楽部

#### 活動項目2 小地域福祉懇談会の開催

- **地域（市全域、4地域、小学校区、集落）の現状・課題を知り、気づきを共有するための話し合い・学び合いの場として懇談会の実施**  
懇談会の開催はありませんでした。次年度も引き続き働きかけを行います。

#### 活動項目3 自治協議会との連携

- **平成28年度に実施した「生活支援に関する地域自治組織訪問調査」の結果を基に、地域自治協議会との協働による地域づくりの支援**  
養父市は「住民同士の支え合い体制」をつくるために、平成28年度から養父市全域（第1層：市職員）に、中学校区ごと（第2層：社協職員）に4人の生活支援コーディネーターを配置しました。生活支援コーディネーターは、支え合い活動の推進役として住民のみならずとともに地域づくりをすすめています。平成28年度に「生活支援に関する地域自治組織訪問調査」を実施。関宮地域は28年度に、八鹿、養父、大屋地域は今年度、自治協議会を訪問し調査結果の報告をしました。関宮地域は4つの自治協議会から会長等が支部運営委員として参画。また安心地区推進協議会の委員としても活動しています。

 は共同募金の配分金が使われている事業です



#### 活動項目4 限界集落化していく地域への福祉的支援

- ふれあいサロン・ふれあい喫茶などの福祉活動をととして地域で暮らしつづけるための支援

企画・調整支援を行うとともに、職員が参加してレクリエーションを実施したり、取材したりするなど、各区の福祉連絡会が行う集いの場や福祉活動の支援を行いました。



養父市場区ミニ運動会 = 2017.10.7  
コミュニティセンターやぶ



唱歌をみんなで歌いながら楽しんだ  
山笠区ふれあい喫茶 = 2018.1.31  
山笠公民館

#### 活動項目5 小地域で集う場の開催支援

- ふれあいサロン・ふれあい喫茶等、住民主体の居場所やつどいの場の開催支援

地域住民が主体的に実施するふれあいサロンやふれあい喫茶の企画・調整、チラシの作成やレクリエーション用具の貸し出しなどで開催を支援しています。

地域	実施区数 (区)	実施回数(概数)(回)		
		ふれあいサロン・喫茶	ミニデイサービス	計
八鹿	3 7	1 9 6	2 8	2 2 4
養父	3 6	1 1 2	6 1	1 7 3
大屋	1 8	1 9 4	0	1 9 4
関宮	3 0	1 6 3	0	1 6 3
計	1 2 1	6 6 5	8 9	7 5 4

#### 活動項目6 保健・医療・福祉関係者と連携した地域ケアの推進

- 地域包括ケアシステムによる医療・看護・介護・リハビリテーション・保健・予防・住まい・生活支援・福祉サービスが包括的に確保される体制づくりの推進

地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けて、平成28年度に市から第2層の生活支援コーディネーターの設置業務を受託し、各支部に1人、計4人を配置。誰もがつながりを持ち住み続けられる豊かな地域社会づくりに取り組みました。



地域見える化シートの説明をする生活支援コーディネーター  
= 2018.3.16  
宿南ふれあい倶楽部

#### 活動項目7 地域・企業・行政・NPOなどとのネットワークづくり

- 地域・企業・行政・NPO等との協議の場を設け、多様な生活福祉課題に対応するネットワークづくり 新

平成28年度に実施した、「ゆるやかな見守りサービストライアル」(情報通信技術を活用し日常の安否確認を行うことで、ひとり暮らし高齢者等の見守り強化をはかる事業)に引き続き、(株)ケイ・オプティコムと、協議、研究を継続しました。

また、生活協同組合コープこうべが行う事業「地球のステージ」の後援をおこなったほか、情報交換にも努めました。

は共同募金の配分金が使われている事業です

## 推進目標

### 基本活動1 総合的な相談支援のしくみをつくる

#### 活動項目1 生活支援相談窓口の設置

- 「高齢者相談センター」の受託運営による総合相談体制

新

地域包括支援センターのブランチ（相談窓口）として、大屋・関宮地域の養父市高齢者相談センターを受託しました。ふれあい訪問員によるひとり暮らし・高齢夫婦世帯、生活困窮者等の訪問活動（アウトリーチ）と連携を図るとともに、地域の関係者とのネットワークを構築し、当事者へ包括的な支援を行いました。

#### 活動項目2 結婚相談所と関係機関との連絡会議の設置

- 全但結婚相談連絡協議会はもとより、婚活応援者ネットワーク会議への参画による連携の強化

昨年度に続き、全但結婚相談連絡協議会の当番事務局として、定例会、婚活イベントの開催などに取り組むとともに、市が行う婚活応援者ネットワーク会議に参加しました。



全但結婚相談連絡協議会  
第1回研修交流会  
2017.8.28

### 基本活動2 当事者の支援と権利擁護活動をすすめる

#### 活動項目1 生きづらさを抱える人への相談支援機能の強化

- 生活困窮者自立支援事業における自立相談支援機関との連携を強化

養父市生活困窮者のための共助の基盤づくり事業を市から受託。ふれあい訪問員による訪問活動を中心に、ひとり暮らし・高齢夫婦世帯をはじめ、生活困窮者等の見守りと安否確認、福祉・生活課題の把握を行い、自立相談支援機関等と連携して相談支援活動をすすめました。

世帯区分	件数
ひとり暮らし高齢者	566件
高齢夫婦世帯	247件
その他世帯	143件
合計	956件

平成29年度養父市生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業運営会議（学識経験者と社協役員、市役所職員が参加）で本事業の評価が行われました。


- ひきこもり、外国出身者等の抱える生活福祉課題に対して、関係機関と連携し市内全体像の把握につとめ、今後の支援の検討を行う

市が開催する「ひきこもり対策事業検討会」に参加。情報提供と共有を行いながら関係機関と連携し今後の支援の検討を行いました。

#### 活動項目2 アウトリーチによる支援体制づくり

- 課題をもつ世帯へ出向き課題解決に寄り添った「アウトリーチ」の支援体制づくり

ふれあい訪問員による訪問支援活動（アウトリーチ）を中心に、ひとり暮らし・高齢夫婦世帯をはじめ、生活困窮者等の見守りと安否確認、福祉・生活課題の把握を行い、共助の基盤づくりに取り組みました。また、2ヶ月に1回、地域包括支援センター、福祉事務所、ふれあい訪問員による情報共有と協議の場をもち活動に取り組みました。

 は共同募金の配分金が使われている事業です

### 活動項目3 介護者への学習機会の提供

#### ● 介護者の会の支援を継続

市と連携し要介護認定を受けた方の介護者に案内チラシを送付するとともに、広報紙での情報提供に努めました。

地域	会名	回数
八鹿	介護者の会「なごみ(和み)」	5回
養父	ひまわりの会	5回
大屋	野ぎくの会	11回
関宮	たんぽぽの会	11回
本部	養父市介護者のつどい	1回



介護者の会「なごみ(和み)」とひまわりの会は、合同でおくすりとの上手なつきあい方講習会を開催=2018.3.14

### 活動項目4 当事者の組織化と支援

#### ● 当事者グループの自主的な活動を支援



認知症の方やご家族の支援として「認知症カフェここあん」(毎月第2木曜日)、「出会いカフェ」(毎月第4水曜日)を開設。また視覚障害がい者のつどいの場「ありんこの会」(毎月第4月曜日)の活動を支援しました。

養父市には認知症の人やその家族、地域の人など誰でも参加できる「認知症カフェ」が5カ所で開設されています。このカフェを運営する介護者やボランティアなど19人が「実行委員会」を立ち上げ、賛同者を募り、認知症啓発映画「徘徊～ママリン 87歳の夏」上映会を1月27日に養父市立ビバホールで行い250人の参加がありました。

### 活動項目5 福祉サービス利用援助事業の推進

#### ● 「福祉サービス利用援助事業」(日常生活自立支援事業)の周知と広報

サービスの周知をはかるとともに、生活支援員、担当職員の研修として権利擁護セミナーへ参加しました。また、介護保険・障害福祉サービスを利用している利用者や家族、関係機関が集まりサービス内容等の共通理解をはかるサービス担当者会議へ専門員、担当職員、生活支援員が参加し支援体制の強化に努めました。

相談件数	契約前	230件	新規契約件数	3件	利用延人数	20人
	契約後	1,979件	解約件数	1件	年度末利用実人数	19人

## 基本活動3 ボランティア・市民活動の活性化を図る

### 活動項目1 ボランティア・市民活動センター運営機能強化

#### ● 住民参加によるボランティア・市民活動センター運営委員会の強化



平成28年度にボランティア・市民活動センター運営委員会(委員12人)の協議により、会計規模が小さなグループも助成を受けやすくなるよう、ボランティア活動助成金の見直しが行われ、今年度から助成額を10,000円と20,000円の2種類に決めました。




手作り広場ほわほわは、親子でデイサービスセンター利用者と交流をはかるグループです=2017.5.15  
関宮ふれあいの郷



認知症予防体操を体験した養父ボランティア交流のつどい=2017.6.27 広谷ふれあいセンター

は共同募金の配分金が使われている事業です

## 活動項目2 地域ニーズにあったボランティアの養成

- ボランティアニーズを把握し、ボランティア活動者の発掘や養成講座を実施し、修了後の組織化を図る 

点字・手話フォローアップ教室、災害ボランティア養成講座などを開催し、福祉学習の機会の提供とボランティア活動への参加者の養成を行いました。また、市と協働し介護予防サポーター養成研修、精神保健ボランティア養成講座を実施しました。

点訳ボランティアあかり、傾聴ボランティアみみの会、精神保健ボランティアほほえみ、要約筆記ボランティアみずばしょうの活動支援を継続して行いました。

講座名	回数	参加者数(修了者数)
点字フォローアップ教室	2回	9人
手話フォローアップ教室	3回	9人
災害ボランティア養成講座	2回	22人(14人)
介護予防サポーター研修	6回	16人(15人)
精神保健ボランティア養成講座	6回	15人(15人)

## 活動項目3 ボランティア活動の情報発信

- 広報紙、ホームページ、ケーブルテレビなどで情報提供の強化 

広報紙かけはしに、ボランティアグループや市民活動団体等を紹介するコーナー「まちのボランティア Sun's」を4ヶ月に1回設けるとともに、ホームページやフェイスブック You Tube(ユーチューブ)で活動の紹介に努めました。

## 活動項目4 ボランティア活動への助成

- ボランティア・市民活動を行うグループに、規模に応じた活動助成金を交付し支援 

今年度、養父市ボランティア・市民活動センターに登録したボランティアグループは89グループ(1,495人)でした。そのうち、会員5人以上で年6回以上ボランティア活動を行っているグループのなかから、申請のあった49グループに活動規模にあった活動助成金を交付しました。

## 活動項目5 地域通貨の検討

- 新たなささえあいのしくみを検討

関宮地域の安心地区推進協議会(区長、民生委員・児童委員、介護保険事業者など10人で構成)は、安心して暮らせる地域づくりを協議しています。地域自治組織と連携し、買物などの生活支援をワンコインで提供する仕組みづくりについても話し合いました。

## 基本活動4 地域・学校での福祉学習をすすめる

### 活動項目1 区や福祉連絡会などで地域住民が学びあう場づくり

- 地区福祉委員会や福祉連絡会研修会など、地域住民が学びあう場の提供

今年度の福祉連絡会研修会は、「住民主体の支え合いによる住みよい地域づくり」をテーマに実施しました。3会場で篠山市社会福祉協議会の前田公幸事務局長から「我が事・丸ごとの地域づくりを進めるために」と題した講演と、養父市内の各地域で活発に地域福祉活動を行っている団体から次のとおり実践発表がありました。

地域	日時と実践発表内容	場 所	参加者数
八鹿 養父	平成 29 年 8 月 29 日 (火) NPO 法人一円電車あけのべ「明延ご機嫌暮らし支援事業」 出合校区協議会 「3 区合同サロン」	八鹿 文化会館	272 人
大屋	平成 29 年 8 月 31 日 (木) 下八木区 「ちよっとたのまれ隊」 森区 「友愛訪問活動」	大屋市民 センター	92 人
関宮	平成 29 年 9 月 8 日 (金) 下八木区 「ちよっとたのまれ隊」 森区 「友愛訪問活動」	関宮ふれ あいの郷	116 人

## 活動項目 2 小・中・高等学校における福祉学習支援

### ● 「福祉学習（教育）担当者連絡会」の開催

市内の小・中・高等学校、福祉関係者、社協職員が福祉教育の目的や進め方等について意見・情報交換を行い、連携を深めるとともに共通認識を持つ「福祉学習（教育）担当者連絡会」を 8 月 1 日に開催しました。

また、福祉教育・学習の機会を提供し、体験や交流活動を通して福祉の心を育てることを目的に、市内の小・中・高等学校 16 校を福祉教育指定校として、1 校あたり 10,000 円の活動助成金を交付しました。

- ・講演 拝啓、ぼくらの「苦労さん」  
～「地域で生活する」という事～  
講師 社会福祉法人 かるべの郷福祉会  
ドリーム相談所  
ピアサポーター 生田定敏氏  
藤林智恵氏



認知症学習を終え、オレンジリングを手にする伊佐小学校 4 年生 = 2017.12.2

- ・グループワーク「ストレンクス（強み）に」  
着目してすすめる福祉教育について

## 活動項目 3 福祉・人権意識の啓発

### ● 社協広報『かけはし』や、地域・学校などのあらゆる場で、福祉や障がい理解に関する情報を発信

地域住民や社会福祉関係者が一堂に会し、「ささえあう心で笑顔あふれる福祉のまちづくり～みんなでつくる みんなのしあわせ～」の実現と社会福祉の更なる充実をめざすことを目的として、10 月 28 日に養父市立ビバホールと養父公民館を会場に開催したしあわせフェスタ 2017 は、約 500 人の参加がありました。

今年度は、～つなげよう笑顔の輪～をテーマに、手話、点字などの「ボランティア体験コーナー」、介護を体験する「おもいやりらんど」、認知症の方や家族への理解をすすめる「認知症啓発コーナー」などを設けて情報発信を行いました。



スティールパン演奏をした Big Roof Panz(ビッグルーフパンズ)のみなさん

## 基本活動5 住みなれた場所で暮らし続けるためのサービスを推進する

### 活動項目1 給食サービス事業・移送サービス事業の効果的な運営

#### ● 給食サービス事業の実施

市内のひとり暮らし高齢者及び高齢夫婦等へ、業者が調理した弁当を配食ボランティアが届け、友愛訪問と安否確認を兼ねたサービスとして実施しました。

区分		平成29年度	平成28年度
年間利用者数		127人	138人
食数		6,863食	8,046食
内訳	水	(51回)3,472食	(52回)3,922食
	金	(50回)3,391食	(52回)4,124食
配食ボランティア延べ人数		1,571人	1,764人
配食ボランティア実人数		92人	92人



配食ボランティア体験でお弁当を手渡した中学生 = 2017.9.1 養父地域

#### ● 移送サービス事業の効果的な運営

障がい者・要介護高齢者等の移動が困難な方を対象に道路運送法に基づき移送サービス事業を実施しました。

29年度年間登録人数	135人	実施回数	2,198回	利用延人数	1,382人	走行距離	17,238 km
28年度年間登録人数	159人	実施回数	2,456回	利用延人数	1,597人	走行距離	20,228 km

#### ● 夕食サービス実施の検討

安心地区推進協議会で調理が困難な高齢者への支援について協議を行い、関宮通所介護事業所、いきいきサロン関宮の利用者への夕食サービスを調理ボランティアの協力により平成28年の6月から始めました。今年度も継続して実施しました。

区分	29年度	28年度
実施回数	9回	10回
食数	75食	89食
利用延人数	64人	72食
実利用者数	17人	25食



お弁当は一食400円です  
関宮ふれあいの郷


### 活動項目2 介護予防事業の充実

#### ● 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

##### ■ 高齢者相談センターの運営

地域包括支援センターのランチ（相談窓口）として、大屋・関宮地域の養父市高齢者相談センター業務を受託しました。高齢者に関するさまざまな相談を受け、情報提供などを行いました。地域における関係者とのネットワークを構築し、連携してその人らしい生活を送れるよう包括的に支援を行いました。

センター名	相談件数 (件)	合計 (件)
高齢者相談センターおおや	新規 103	732
	継続 629	
高齢者相談センターせきのみや	新規 113	666
	継続 553	

 は共同募金の配分金が使われている事業です

■通所型生活機能向上サービス事業

新

社協が各支部で実施していたふれあいサロンは、通所型生活機能向上サービス（市の受託事業）へと移行しました。

また、訪問介護事業所は訪問型生活機能向上サービスを行いました。

◇通所型生活機能向上サービス

名称	地域ふれあいの家 いきいきサロンようか	ふれあいいきいき サロンそよ風	地域ふれあいの家 いきいきサロン	いきいきサロン関宮
開設日数	50日	49日	49日	47日
開催日	毎週火曜日	毎週木曜日	毎週水曜日	毎週金曜日
開催場所	地域ふれあいの家 たまり場	ふれあいいきいきサロ ンそよ風	大屋ふれあいの家	関宮ふれあい郷
利用実人数	757人	505人	495人	825人

◇訪問型生活機能向上サービス

新

訪問介護事業所から訪問した回数は 345 回でした。

活動項目3 介護保険事業の充実

● 組織内連携、地域の福祉資源や関係機関と連携を強化し、可能な限り在宅で暮らすことができるよう支援

組織内連携をはかるため、居宅介護支援事業所とふれあい訪問員の連絡会を毎月開催しました。春と秋の防火訪問では、介護福祉課・地域福祉課が協力し訪問世帯の選定を行い、消防、関西電力、区長、民生委員・児童委員、地域のみなさんと連携しながら訪問活動に取り組みました。

また、情報共有をはかりより質の高いサービスの提供を行えるよう、それぞれの事業所で定期的に会議と研修を行いました。

■介護保険事業所の実績

事業種類	区分	29年度	28年度
居宅介護支援事業	利用件数	4,542件	4,537件
訪問介護事業	訪問回数	26,552回	25,335回
通所介護事業（大屋）	利用延人数	7,979人	8,724人
通所介護事業（関宮）	利用延人数	6,580人	7,361人
訪問入浴サービス事業	訪問回数	113回	85回
福祉用具貸与事業	利用延件数	8,700件	9,264件



デイサービスセンター「ふれあい」  
で歌謡ショー＝2017.10.9

活動項目4 障がい者相談支援事業の推進

● 障がい者とその家族のさまざまな相談に応じ情報提供

南但馬自立支援協議会、精神障害者地域移行・地域定着支援会議、但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会議、但馬地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議などに参画し事業所や地域住民と連携しながら障がい者が地域で安心して生活が送れるよう総合的、継続的に支援しました。



は共同募金の配分金が使われている事業です

## ■ 障害福祉サービス

事業種類	区分	29年度	28年度
相談支援事業	利用延人員	627人	373人
居宅介護(訪問介護)	訪問回数	2,537回	2,674回

### 活動項目5 知的障害児託児事業（放課後クラブ）の推進

#### ● 保護者の負担軽減を図るとともに児童の特性に応じて支援

養父市知的障害児託児所(放課後クラブ)運営事業は、平成30年3月、市内に障害者総合支援法による放課後等デイサービス事業所の開設が決まったため、今年度末をもち事業終了となりました。

利用実児童・生徒数	5人	延べ利用人数	555人	利用時間	1,821時間
-----------	----	--------	------	------	---------

### 活動項目6 空き家を活用した共同生活ハウス設立・運営の支援

#### ● 空き家などを利用した交流の場、居場所づくりの支援

空き家を利用したコミュニティづくりについてコープこうべと協議を行いました。

### 活動項目7 さまざまな生活課題に対するサービスの開発・実施

#### ● 地域の現状を把握し、買い物・移動・除雪・掃除等、暮らしを守る柔軟なサービスの開発

関宮地域では、いきいきサロン関宮の利用者への夕食サービスの実施。地域自治組織と連携し、買物などの生活支援をワンコインで提供する仕組みづくりの協議など、安心地区推進協議会による話し合いのなかから助け合いのサービスが生まれてきています。

市と生活支援コーディネーターによる協議体の設置を各地域に広げ、住民の協議から生活支援サービスを開発する仕組みづくりが求められます。

## 基本活動6 災害に強いまちづくりをすすめる

### 活動項目1 災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成

#### ● 災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づいた災害ボランティアの養成

平成29年度も養父市、やぶ防災士会の協力のもと、12月1日・15日の2日間にわたり災害ボランティア養成講座を開催しました。22人が参加し災害に備えて何ができるか、災害ボランティアの心得と役割、地域で必要な取り組みについて学習しました。

### 活動項目2 福祉防災マップづくりの推進

#### ● 全ての行政区で福祉防災マップを作成

福祉連絡会で福祉防災マップ、ささえあい要援護者登録申請書兼カードを整備・更新するなかで、防災情報や支援の必要な人などを把握するとともに、各区では福祉防災マップの情報を養父市一斉避難訓練へ活用しました。

また、社協職員は養父市一斉避難訓練の各地域のモデル地区へ要介護者の搬送訓練などで参加しました。



養父市一斉避難訓練で福祉車両による要援護者の搬送訓練 = 2017.9.3 小城区



## 基本活動7 地域で子育て支援をすすめる

### 活動項目1 子育てサロンへの支援

#### ● 子育て支援ボランティアの交流と情報交換ができる場づくり

市内の子育て支援に関わるボランティアや各種団体が連携・協働する体制をつくり、子育て支援活動を支援しました。

#### ■ 子育てサロンそよ風

子育てサロンそよ風サポーターが自主運営する子育てサロンを支援しました。

運営主体	ボランティアグループ「そよ風サポーター」・社協
開設日	毎週月曜日 10:00~11:30
年間施設利用料	1人 500円
登録人数	7人
ボランティア数	6人
ボランティア活動回数	サロンでの見守り 44回

#### ■ 子育てサロンの支援

子育てボランティアグループや地域自治協議会が主体となって開催するサロンへ、チラシ作成や研修会の開催など自主運営の支援を行いました。

◇市内の子育てサロン実施状況

サロン名	運営主体	開催日・時間	活動回数
子育てサロン伊佐	伊佐校区自治協議会	毎月第1月曜日 10:30~11:30	12回
子育てサロン高柳	高柳地区自治協議会	毎月第4水曜日 10:30~11:30	12回
子育てサロンすくすく	関宮子育て支援 ボランティアグループ	毎月第2火曜日 10:30~11:30	11回
子育てサロン関宮	場所開放	毎月第4月曜日 10:30~11:30	11回
手作り広場ほわほわ	自主サークル	毎月1~2回 10:00~13:00	12回

#### ■ 多胎児サークル「ピーナッツ」の開催

双子や三つ子をもつ家族が、情報交換を行うなかで、仲間づくりやリフレッシュする場として、子育て支援ボランティアの協力を得て開催しました。

4回開催し10組16人の参加がありました。

#### ■ まちの子育てひろば「まるわかりガイド」の発行

今年度も、子育てに関する情報を集めた「子育て支援情報誌まるわかりガイド」を更新し発行しました。

### 活動項目2 親育ちの機会づくり

#### ● 子育て支援ネットワーク会議(子育てネット)による連携

地域で活動する子育て支援に関わるボランティアやグループがつながり、協働することを目的に、社協と教育委員会が連携して子育て支援ネットワーク会議を立ち上げました

◇子育て支援ネットワーク会議

回	年月日	内容	場所	参加者
1	平成29年 10月10日	・講演：発達障害について ～困った子ではなく困っている子 講師：一般社団法人トータルハーモニー 理事 武田さゆり氏	養父公民館	22人



は共同募金の配分金が使われている事業です

2	平成 30 年 2 月 26 日	・講演：紙皿シアター まんまるちゃん ～遊びゴコロで笑顔をつなごう～ 講師：おもちゃコンサルタント 杉山春菜氏	養父市子育て ・移住サポ ートセンター	26 人
---	---------------------	--	---------------------------	------

### ● どのような子育て練習講座の実施

おこったり、どなったりせず、ほめて伸ばす子育ての方法を学ぶ講座を市教育委員会と連携して行いました。どの講座も託児ボランティアの協力を受け実施しました。

講座名等	回数	延べ参加者数
どのような子育て練習講座 2 歳児編	2 回	11 人
どのような子育て練習講座実践編	4 回	27 人
どのような子育て練習講座フォロー講座	1 回	3 人

### ■ 元気ひょうご!! 早ね早おき朝ごはんフォーラム

子どもの生活習慣をテーマに、親と子が劇や歌などの体験型の講座を通して一緒に考え楽しく学ぶフォーラムに参加しました。(主催：兵庫県教育委員会、「早寝早起き朝ごはん」兵庫県フォーラム実行委員会)

年月日	内容	場所	参加者
平成 29 年 12 月 9 日	・うたとあそびのぶんちゃか座ファミリーコンサート ～おっちょこ忍者とひみつの巻物～ ・学びのテーマパーク 体験型プログラムブース(紙芝居、バルーンパフォーマンス、絵本パフォーマンス、親子で朝ごはんづくり、ちくたくもりもり～おもちゃで遊ぼう～、親子あそび、ひょうごの宝このとりをかんじてみよう、おはしリンピックなど)を開設	ビバホール 養父公民館	400 人

### 活動項目 3 子どもの冒険ひろば(放課後プレーパーク)の推進

#### ● 地域の人が見守るなか、自由な遊びなどを通して子どもたちの生きる力を育む「子どもの冒険ひろば(放課後プレーパーク)」を継続実施

放課後プレーパークを大屋・関宮地域で実施しています。大屋小学校で開設する大屋放課後プレーパークは養父市から委託を受け、養父市放課後子ども教室「おおやっこ教室」として開催しました。今年度は、夏休み・春休みプレーパークへボランティアスタッフとして子育て支援に関わる NPO 法人や男女共同参画センター、地域おこし協力隊が加わり冒険ひろばへの理解を深めていただきました。

また、冒険ひろば事業を安定して行うため、2017(平成 29) 年度年賀寄附金配分事業に車両購入の申請を行い配分が決定し車両を購入しました。

区分	回数	参加者数
放課後プレーパーク	23 回	334 人
出前プレーパーク	4 回	614 人
おおやっこ教室	20 回	212 人
合計	47 回	1,160 人



春休みプレーパークでへびパンをほおぼる子どもたち=2018.3.24 はさまじ里山の森公園



は共同募金の配分金が使われている事業です

# 平成 29 年度 事業実施状況データ集



# 平成 29 年度（4 月～3 月）社協事業の実施状況 データ集

1 福祉目標 ささえあう心で 笑顔あふれる 福祉のまちづくり  
～みんなでつくる みんなのしあわせ～

2 全市的重点目標 小地域での見守りあい活動をみんなですすめましょう

## 活動項目 1 福祉連絡会の活動支援

### ■福祉委員と福祉連絡会の設置支援

支部	行政区数（区）	福祉連絡会設置区数（区）	福祉委員人数（人）
八鹿	66	62	352
養父	40	38	160
大屋	23	23	115
関宮	34	34	106
合計	163	157	733

### ■福祉委員活動費の助成

支部	金額（円）	助成行政区数（区）	助成金額備考
八鹿	824,000	57	設置費 5,000 円 + 世帯割 5,000 円～23,000 円
養父	538,000	37	
大屋	334,000	23	
関宮	326,000	27	
合計	2,022,000	144	

### ■福祉防災マップづくり

地域	全体(行政区数)	八鹿(行政区数)	養父(行政区数)	大屋(行政区数)	関宮(行政区数)
マップ更新区数(区)	151 (163)	55 (66)	39 (40)	23 (23)	34 (34)

### ■地区福祉委員会

#### ◇八鹿地域

年月日	地区	開催場所	参加者（人）	活動内容	
平成 29 年 6 月 20 日	八鹿下	八鹿公民館	46	・委嘱状の交付 ・「あるもの探しから始まる支 え合いの地域づくり」 (福祉委員の役割と住民主体 の福祉活動について)	
6 月 23 日	八鹿上	八鹿公民館	48		
6 月 27 日	伊佐	オーシスマップ	54		
6 月 30 日	宿南	宿南ふれあい倶楽部	36		
7 月 3 日	高柳	高柳小学校	63		
7 月 5 日	小佐	小佐ふれあい倶楽部	35		
合計			282	・福祉防災マップの更新 ・福祉委員活動助成金について	
平成 29 年 12 月 6 日	小佐	小佐ふれあい倶楽部	33		
12 月 8 日	伊佐	伊佐地区公民館	44		
12 月 11 日	八鹿下	八鹿公民館	34		・ワークショップ 「地域にあったらいいなこん な助け合い」
12 月 12 日	八鹿上	八鹿公民館	42		
12 月 13 日	宿南	宿南ふれあい倶楽部	34		
12 月 14 日	高柳	高柳小学校	55		
合計			242		

平成30年3月5日	八鹿下	八鹿公民館	33	・ワークショップ (1)地域見える化シートの更新 (2)「地域にあったらいいな こんな助け合い」を踏まえて来年 度の活動を計画しよう
3月6日	八鹿上	八鹿公民館	49	
3月12日	小佐	小佐ふれあい倶楽部	31	
3月13日	高柳	高柳小学校	48	
3月15日	伊佐	オーシスマップ	46	
3月16日	宿南	宿南ふれあい倶楽部	27	
合計			234	

◇養父地域

年月日	地区	開催場所	参加者(人)	活動内容
平成29年6月26日	三谷	三谷多目的集会センター	22	・委嘱状の交付 ・福祉委員活動について ・福祉委員活動助成金について ・福祉防災マップの更新
6月28日	建屋	建屋教育集会所	32	
7月3日	養父	コミュニティセンターやぶ	57	
7月5日	浅野	木の香る浅野コミュニティセンター	29	
7月6日	広谷	広谷ふれあいセンター	44	
合計			184	
平成29年12月4日	三谷	三谷多目的集会センター	20	・ワークショップ 「地域にあったらいいな こんな助け合い」
12月6日	建屋	建屋教育集会所	27	
12月8日	広谷	広谷ふれあいセンター	23	
12月12日	浅野	木の香る浅野コミュニティセンター	21	
12月13日	養父	コミュニティセンターやぶ	49	
合計			140	
平成30年3月7日	三谷	三谷多目的集会センター	21	・ワークショップ (1)地域見える化シートの更新 (2)「地域にあったらいいな こんな助け合い」を踏まえて来年 度の活動を計画しよう
3月8日	広谷	広谷ふれあいセンター	37	
3月12日	養父	コミュニティセンターやぶ	56	
3月14日	建屋	建屋教育集会所	29	
3月15日	浅野	木の香る浅野コミュニティセンター	19	
合計			162	

◇大屋地域

年月日	地区	開催場所	参加者(人)	活動内容
平成29年6月19日	口大屋	口大屋コミュニティセンター	46	・委嘱状交付 ・福祉委員の活動と 各区の取り組みについて ・平成29年度福祉委員等活動について ・福祉委員活動助成金について ・福祉防災マップの更新
6月23日	大屋	大屋市民センター	35	
6月27日	南谷	南谷ふるさとセンター	37	
6月28日	西谷	西谷公民館	40	
合計			158	
平成29年12月6日	西谷	西谷公民館	29	・ワークショップ 「地域にあったらいいな こんな助け合い」
12月7日	口大屋	口大屋コミュニティセンター	33	
12月12日	南谷	南谷ふるさとセンター	26	
12月13日	大屋	大屋市民センター	30	
合計			118	
平成30年3月8日	西谷	西谷公民館	34	・ワークショップ (1)地域見える化シートの更新 (2)「地域にあったらいいな こんな助け合い」を踏まえて来年 度の活動を計画しよう
3月12日	口大屋	口大屋コミュニティセンター	36	
3月14日	南谷	南谷ふるさとセンター	28	
3月16日	大屋	大屋市民センター	27	
合計			125	

◇関宮地域

年月日	地区	開催場所	参加者(人)	活動内容
平成29年6月23日	出合	であいの里	35	・福祉委員委嘱状交付 ・福祉委員活動助成金について ・福祉防災マップの更新
6月26日	熊次	丹戸多目的集会所	22	
6月29日	大谷	関宮ふれあいの郷	26	
6月30日	関宮	関宮ふれあいの郷	46	
合計			129	
平成29年12月11日	熊次	丹戸多目的集会所	22	・ワークショップ 「地域にあったらいいな こんな助け合い」
12月12日	出合	であいの里	28	
12月13日	関宮	関宮ふれあいの郷	28	
12月14日	大谷	関宮ふれあいの郷	22	
合計			100	
平成30年3月15日	大谷	関宮ふれあいの郷	22	・ワークショップ (1)地域見える化シートの更新 (2)「地域にあったらいいな こんな助け合い」を踏まえて来年度の活動を計画しよう
3月16日	関宮	関宮ふれあいの郷	34	
3月22日	出合	であいの里	26	
3月23日	熊次	丹戸多目的集会所	20	
合計			102	

■福祉連絡会研修会

開催日	・八鹿・養父地域（合同開催） ・大屋地域 ・関宮地域	平成29年8月29日 平成29年8月31日 平成29年9月8日
開催場所	・八鹿・養父地域（合同開催） ・大屋地域 ・関宮地域	八鹿文化会館 大屋市民センター 関宮ふれあいの郷
講演 実践報告	◇市全域 演題 「我が事・丸ごとの地域づくりを進めるために」 講師：篠山市社会福祉協議会 事務局長 前田公幸 氏 ◇実践報告 ・八鹿・養父地域（合同開催） NPO 法人一円電車あけのべ 「明延ご機嫌暮らし支援事業」 発表者：NPO 法人一円電車あけのべ理事 和田祐之 氏 出合校区協議会 「3区合同サロン」 発表者：出合校区協議会 健康福祉部会長 田村 譲 氏 ・大屋地域 下八木区 「ちょっとたのまれ隊」 発表者：ちょっとたのまれ隊 代表 太田 豊 氏 森区 「友愛訪問活動」 発表者：民生委員・児童委員 田村規博 氏 ・関宮地域 下八木区 「ちょっとたのまれ隊」 発表者：ちょっとたのまれ隊 代表 太田 豊 氏 森区 「友愛訪問活動」 発表者：民生委員・児童委員 田村規博 氏	
参加者	・八鹿地域 養父地域（合同開催） ・大屋地域 100人 ・関宮地域 116人	八鹿 169人 養父 103人

◇視察受け入れ

年月日	受入先	内容	場所	参加者(人)
平成 29 年 12 月 18 日	宍粟市社協業務研究会 役職員	篠区福祉連絡会の取り組みについて(福祉・防災マップ等)	西谷 ふれあいの家	10
平成 30 年 3 月 6 日	南あわじ市社協せいだ ん支部運営委員会	養父市社協が取り組む小 地域福祉活動について	関宮 ふれあいの郷	25
平成 30 年 3 月 7 日	宍粟市山崎町「城下地区 福祉委員会」	森区福祉連絡会の取り組みについて(友愛訪問)	森区公会堂	20

◇実践発表

年月日	研修会名	内容	場所	参加者(人)
平成 30 年 2 月 16 日	西播ブロック市町保健 師協議会研修会	養父市社協が取り組む小 地域福祉活動について	太子町役場	30

**活動項目 2 小地域福祉懇談会の開催**

懇談会の開催はありませんでした。次年度も引き続き働きかけを行います。

**活動項目 3 自治協議会との連携**

養父市は「住民同士の支え合い体制」をつくるために、平成 28 年度から養父市全域(第 1 層:市 職員)に 1 人、中学校区ごと(第 2 層:社協職員)に 4 人の生活支援コーディネーターを配置しました。

生活支援コーディネーターは、支え合い活動の推進役として住民のみなさんとともに地域づくりをすすめます。平成 28 年度に「生活支援に関する地域自治組織訪問調査」を実施。関宮地域は 28 年度に、八鹿・養父・大屋地域は今年度、自治協議会を訪問し調査結果の報告をしました。

関宮地域は 4 自治協議会から支部運営委員として委員会に参画。安心地区推進協議会の委員としても活動しています。

No. 項目	地域	訪問先地域自治組織	訪問年月日	参加者数(人)
1	八鹿地域	八鹿地区自治協議会	平成 29 年 5 月 9 日	4
2		小佐地区自治協議会	平成 29 年 5 月 10 日	3
3		高柳地区自治協議会	平成 29 年 5 月 19 日	5
4		伊佐校区自治協議会	平成 29 年 5 月 9 日	4
5		宿南地区自治協議会	平成 29 年 5 月 24 日	4
6	養父地域	建屋校区自治協議会	平成 29 年 6 月 9 日	2
7		三谷校区自治協議会	平成 29 年 6 月 7 日	3
8		浅野校区自治協議会	平成 29 年 6 月 7 日	3
9		広谷校区自治協議会	平成 29 年 6 月 9 日	3
10		養父校区自治協議会	平成 29 年 6 月 6 日	3
11	大屋地域	口大屋自治協議会	平成 29 年 6 月 27 日	4
12		大屋地区自治協議会	平成 29 年 6 月 29 日	4
13		南谷自治協議会	平成 29 年 6 月 30 日	3
14		西谷自治会	平成 29 年 6 月 28 日	4

**活動項目 4 限界集落化していく地域への福祉的支援**

ふれあいサロン・ふれあい喫茶などの企画・調整支援を行うとともに、職員が参加してレクリエーションを実施したり、取材したりするなど働きかけを行い、福祉活動をとおして地域で暮らしつづけるための支援に取り組みました。



## 活動項目5 小地域で集う場の開催支援

地域住民が主体的に実施するふれあいサロンやふれあい喫茶の企画・調整、チラシの作成やレクリエーション用具の貸し出しなどで開催を支援しています。開催する行政区・回数は年々増えています。

地域	実施区数（区）	実施回数（概数）（区）		
		ふれあいサロン・喫茶	ミニデイサービス	計
八鹿	37	196	28	224
養父	36	112	61	173
大屋	18	194	0	194
関宮	30	163	0	163
計	121	665	89	754

### ■レクリエーション用品・備品等の貸出

各区のふれあいきいきサロン、ふれあい喫茶、交流事業などでみんなが楽しむことができるレクリエーション用品やDVDプレーヤー、スクリーン等を無料で貸し出しました。

貸出件数合計	本部・八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
199件	65件	38件	40件	56件

## 活動項目6 保健・医療・福祉関係者と連携した地域ケアの推進

地域包括ケアシステムによる医療・看護・介護・リハビリテーション・保健・予防・住まい・生活支援・福祉サービスが包括的に確保される体制づくりの構築に向けて、平成28年度に市から第2層の生活支援コーディネーターの設置業務を受託し、各支部に1人、計4人を配置。誰もが住み続けられる豊かな地域社会づくりに取り組みました。

### ■地域包括ケアシステムに関連する会議に参加

- ・養父市介護保険運営協議会ならびに養父市地域包括支援センター運営協議会
- ・養父市地域ケア推進会議
- ・養父市高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク会議
- ・養父市認知症支援ネットワーク会議

## 活動項目7 地域・企業・行政・NPOなどとのネットワークづくり

平成28年度に実施した、「ゆるやかな見守りサービストライアル」（情報通信技術を活用し日常の安否確認を行うことで、ひとり暮らし高齢者等の見守り強化をはかる事業）に引き続き、（株）ケイ・オプティコムと、協議、研究を継続しました。

また、生活協同組合コープこうべが行う事業「地球のステージ」の後援を行ったほか、情報交換等にも努めました。

### ■安心見守りネットワーク事業

高齢者、障害者、子ども等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、市、市民、市民団体、企業・事業者が相互に連携を図り、地域全体での見守りを行い、高齢者等の異変、心身状況の変化を察知したとき、早期に的確な対応をはかるための見守りネットワークを構築する、養父市安心見守りネットワーク事業を市と連携しすすめています。

平成29年度は、民生委員・児童委員、ボランティアなどから10件の連絡を受け付け、訪問して見守りを行いました。

### ■ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦等防火訪問

南但消防本部と関西電力、養父市社協各支部で、ひとり暮らし高齢者・高齢夫婦世帯等を対象に、安心・安全に生活ができるよう春と秋の火災予防運動にあわせ、火の元の点検訪問を行いました。

支部	実施年月日	訪問世帯数 (件)	訪問者
八鹿	平成 29 年 11 月 21 日	5	消防署職員、民生委員・児童委員、社協職員、実習生
	平成 30 年 3 月 14 日	4	消防署職員、民生委員・児童委員、関西電力職員、社協職員
養父	平成 29 年 11 月 28 日	4	消防署職員、民生委員・児童委員、社協職員
	平成 30 年 3 月 19 日	4	消防署職員、民生委員・児童委員、社協職員
大屋	平成 29 年 11 月 20 日	3	消防署職員、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、社協職員
	平成 30 年 3 月 15 日	4	消防署職員、民生委員・児童委員、社協職員
関宮	平成 29 年 11 月 13 日	4	消防署職員、民生委員・児童委員、社協職員
	平成 30 年 3 月 22 日	4	消防署職員、区長、民生委員・児童委員、社協職員

### 3 推進目標

福祉目標「ささえあう心で 笑顔あふれる 福祉のまちづくり～みんなでつくる みんなのしあわせ～」を実現するために3つの推進目標を設定しました。推進目標は、第2次地域福祉推進計画でめざすべき目標であるとともに、基本的な視点と活動です。相互に重なりながら福祉目標の実現に向かうものです。

**推進目標① だれもが大切にされるまちづくり**

**推進目標② みんなが参加し、つながりあう地域づくり**

**推進目標③ その人らしい暮らしをささえるしくみづくり**

### 4 基本活動・活動項目

#### 基本活動1 総合的な相談支援のしくみをつくる

##### 活動項目1 生活支援相談窓口の設置

生活様式の変化によって地域社会・家庭の様相は大きく変わり、地域における生活福祉課題が多様化・深刻化しています。住民が困った時は“まずは社協に!!”と思える相談窓口の設置をすすめました。

##### ■福祉総合相談(心配ごと相談) ※結婚相談と同時開設

開設日 場所	毎月第1金曜日	八鹿支部	開設時間	13時30分～16時
	毎月第2金曜日	養父支部	相談員数	8人
	毎月第3金曜日	大屋支部	開設日数	45日
	毎月第4金曜日	関宮支部	相談件数	8件

##### ■結婚相談事業 ※福祉総合相談と同時開設

開設日 場所	毎月第1金曜日	八鹿支部	開設時間	13時30分～16時
	毎月第2金曜日	養父支部	相談員数	8人
	毎月第3金曜日	大屋支部	開設日数	45日
	毎月第4金曜日	関宮支部	相談件数	4件

■養父市結婚相談所連絡会（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

年月日	内 容	出席者数(人) (養父市相談員数)
平成 29 年 4 月 11 日	情報交換	10 (6)
5 月 29 日	情報交換	7 (6)
7 月 19 日	全但結婚相談連絡協議会第 1 回交流研修会について	9 (6)
9 月 26 日	情報交換	8 (6)
12 月 12 日	情報交換	8 (6)

■全但結婚相談連絡協議会

全但結婚相談連絡協議会の事務局（平成 28・29 年度の 2 年間）として、積極的に婚活事業に取り組みました。

年月日	内 容	出席者数(人) (養父市相談員数)
平成 29 年 6 月 21 日	全但結婚相談連絡協議会総会	15 (1)
7 月 14 日	全但結婚相談連絡協議会 7 月例会	14 (1)
8 月 28 日	全但結婚相談連絡協議会第 1 回交流研修会	43 (5)
9 月 12 日	全但結婚相談連絡協議会 9 月例会	15 (2)
11 月 1 日	全但結婚相談連絡協議会第 2 回交流研修会	49 (6)
11 月 11 日	婚活イベント “スイーツでパズル” 理想の相手をカフェ＆スイーツで…	23 (3)
12 月 6 日	全但結婚相談連絡協議会 12 月例会	15 (2)
平成 30 年 3 月 7 日	全但結婚相談連絡協議会 3 月例会（役員会）	14 (2)

■結婚相談員の活動状況

新規受付	24 件
紹介・相談	120 件
見合い	32 件
成婚	0 組

■法律相談

兵庫県弁護士会との委託契約により、弁護士による無料法律相談を開設しました。

年月日	会場	相談件数(件)	弁護士名
平成 29 年 5 月 17 日	地域交流センター「福祉の杜」	4	笥 宗憲 氏
7 月 19 日	養父支部	5	菅村朋子 氏
9 月 20 日	大屋保健センター	4	與語信也 氏
11 月 15 日	関宮ふれあいの郷	4	大下和茂 氏
平成 30 年 1 月 17 日	地域交流センター「福祉の杜」	4	谷垣竹夫 氏
3 月 20 日	養父支部	5	野崎奈央子 氏

◇相談の内訳

相談分類	相談内容	件数(件)
家事	離婚 親権・扶養・認知 遺言相談・遺産分割 その他	10
不動産	土地・建物登記請求 土地・建物所有権確認請求 境界・相隣関係紛争 その他	8
損害賠償	傷害 医療過誤 公害 その他	4
債権・債務	金銭貸借 売却金 売買代金請求 手形・小切手 執行 その他	4
倒産	破産 民事再生 任意整理 その他	0
労働	解雇無効・地位保全 給料・賃金・退職金請求 労災 その他	0
知的財産権等	特許権 著作権 商標権 意匠権 実用新案権 その他	0
渉外	身分関係 財産関係 商事 その他	0
交通事故	被害者 加害者 第三者	0
サラ金・クレジット	自己破産 任意整理 管財事件 債務不存在 個人再生 その他	1
消費者	証券・保険・銀行 製造物責任 霊視・靈感商法 先物取引 その他	0
刑事	刑事裁判の対象となる事件	0
その他	行政 税務 その他いずれにも分類できないもの	0
合計(1件あたり複数の相談内容となる場合があるため相談件数とは異なる)		27

■くらしの法律相談

弁護士と直接相談をする法律相談とは別に、社協事務局をとおして相談担当弁護士の矢形幸之助氏に相談するくらしの法律相談を行い、6件の相談を受け問題解決のお手伝いをしました。

◇相談の内訳

相談分類	相談内容	件数(件)
家事	離婚 親権・扶養・認知 遺言相談・遺産分割 その他	—
不動産	土地・建物登記請求 土地・建物所有権確認請求 境界・相隣関係紛争 その他	—
損害賠償	傷害 医療過誤 公害 その他	—
債権・債務	金銭貸借 売却金 売買代金請求 手形・小切手 執行 その他	1
倒産	破産 民事再生 任意整理 その他	—
労働	解雇無効・地位保全 給料・賃金・退職金請求 労災 その他	1
知的財産権等	特許権 著作権 商標権 意匠権 実用新案権 その他	—
渉外	身分関係 財産関係 商事 その他	—
交通事故	被害者 加害者 第三者	—
サラ金・クレジット	自己破産 任意整理 管財事件 債務不存在 個人再生 その他	—
消費者	証券・保険・銀行 製造物責任 霊視・靈感商法 先物取引 その他	—
刑事	刑事裁判の対象となる事件	—
その他	行政 税務 その他いずれにも分類できないもの	4
合計		6

■法律相談セミナー

平成29年度は権利擁護セミナーとし、「障害者差別解消法について考える」をテーマに、障がいのある人の特性やそれぞれの場面・状況に応じた対応をする「合理的配慮」について学び、障がいのある人もない人も、みんなが安心して暮らし続けられる地域づくりについて考えました。

年月日	会場	内容	参加者数(人)
平成30年 2月23日	養父公民館	テーマ 障害者差別解消法について考える 講演 「共に暮らせる社会をめざして」 グループワーク：「みんな考えよう」 ～障がい者に対してどう対応するか～ 講師：S I N法律労務事務所 弁護士 福島健太 氏	33

■但馬地域消費者問題連絡会議への参加

但馬地域の消費者問題に尽力するとともに、多様化する消費者問題の解決に向けて、関係機関の連携を密にして取り組むための情報交換の場である但馬地域消費者問題連絡会議（構成員は警察署、市町の消費生活担当・福祉担当、市町社協、兵庫県但馬県民局）へ参加しました。

年月日	会場	内容	社協参加者数(人)
平成 29 年 8 月 25 日	豊岡総合庁舎	但馬地域消費者問題連絡会議（全体会議）	1
12 月 20 日	豊岡総合庁舎	消費生活セミナー 刀根 治久氏 講演会	1

## 基本活動 2 当事者の支援と権利擁護活動をすすめる

養父市でも、低所得による生活困窮世帯、ひきこもり、外国出身者、ゴミ屋敷と呼ばれる状態になっている世帯など、さまざまな課題（=生きづらさ）や、社会的な孤立を抱える世帯が見られます。

関係機関とネットワークをつくりながら当事者が持つ力を引き出し、また権利を擁護する活動を行います。

### 活動項目 1 生きづらさを抱える人への相談支援機能の強化

養父市生活困窮者のための共助の基盤づくり事業を市から受託。ふれあい訪問員による訪問活動を中心に、ひとり暮らし・高齢者夫婦世帯をはじめ、生活困窮者等の見守りと安否確認、福祉・生活課題の把握を行い、自立相談支援機関と連携して事業をすすめました。

■ふれあい訪問員によるニーズの把握

区分	八鹿地域	養父地域	大屋地域	関宮地域	合計
ひとり暮らし高齢者世帯(件)	215	76	43	232	566
高齢夫婦世帯(件)	103	28	23	93	247
その他世帯(件)	57	7	0	79	143
訪問件数(件)	375	111	66	404	956

■地域包括支援センターと福祉事務所とふれあい訪問員連絡会（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

回	年月日	出席者数(人)
1	平成 29 年 5 月 29 日	13
2	7 月 24 日	6
3	9 月 25 日	7
4	11 月 27 日	8
5	平成 30 年 1 月 29 日	7
6	3 月 19 日	7

■事業評価（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

年月日	協議内容	構成員	出席者(人)
平成 30 年 3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動集計結果報告</li> <li>ふれあい訪問員活動報告</li> <li>生活支援相談窓口実績報告</li> <li>次年度に向けた意見交換</li> </ul>	学識経験者	4
		養父市社会福祉課職員	3
		社会福祉協議会役職員	8

■生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯に対して必要な資金を貸し付け、経済的自立や社会参加の促進を図る制度として実施しました。

資金名	相談件数 (件)	新規貸付件数 (件)	新規貸付金額 (円)
総合支援資金	2	0	0
福祉資金	16	0	0
教育支援資金	26	0	0
不動産担保型生活資金	0	0	0
合計	44	0	0

◇貸付状況

資金名	種類	件数 (件)	貸付元金 (円)	償還残額 (円)
総合支援資金	生活支援資金 18 件 一時生活再建費 3 件	21	17,260,000	12,377,520
福祉資金	福祉費	2	742,000	376,081
教育支援資金	教育支援費 20 件 修学支度費 12 件	32	39,310,200	25,750,690
合計		55	57,312,200	38,504,291

◇償還状況

区分	件数 (件)	償還残額 (円)
償還中	53	35,124,291
据置期間	2	3,380,000
償還免除	1	454,940
完了	6	4,769,450

◇償還率

29 年度	89.62%
28 年度	60.37%
27 年度	74.61%
26 年度	54.29%

■善意銀行社会福祉援護資金

窮迫した理由により緊急出費を必要とし、資金の融資が他から受けることのできない低所得者の方に、善意銀行の 1,000,000 円を原資に貸し付けました。

29 年度貸付件数	2 件	前年度末貸付残高	76,000 円
総貸付件数	5 件	29 年度貸付金額	120,000 円
償還中	4 件	29 年度償還金額	50,000 円
償還済	1 件	29 年度償還免除額	0 円
償還免除	0 件	貸付残高累計	146,000 円

■ひきこもり対策事業検討会への参加

市が開催するひきこもり対策事業検討会（構成員は朝来健康福祉事務所、かるべの郷ドリームワークス、市教育委員会学校教育課、市社会福祉課、市社協、市健康課）に参加し、情報提供と共有を行いながら関係機関と連携し今後の支援の検討を行いました。

年月日	開催場所	内容
平成 29 年 7 月 20 日	養父市役所	・課題の抽出 ・平成 29 年度の取り組みについて ・相談窓口（リーフレット）について
12 月 12 日	養父公民館	ひきこもりを考えるセミナー 講演 「不登校・ひきこもりの理解と支援」 講師：兵庫県立大学看護学部准教授 船越明子 氏
平成 30 年 1 月 12 日	養父公民館	ひきこもりを考えるセミナー 講話 「当事者の声」 講師：ドリーム相談所 ピアサポーター 生田 定敏 氏 講演 「上手なコミュニケーションのとり方」 講師：ドーナツの会臨床心理士 田中博之 氏
3 月 15 日	養父市役所	・平成 29 年度事業報告 ・各機関より情報提供 ・課題・今後の取り組みについて

## 活動項目2 アウトリーチによる支援体制づくり

■課題をもつ世帯へ出向き課題解決に寄り添った「アウトリーチ」の支援体制づくり  
ふれあい訪問員による訪問活動（アウトリーチ）を中心に、ひとり暮らし・高齢者夫婦世帯をはじめ、生活困窮者等の見守りと安否確認、福祉・生活課題の把握を行い、共助の基盤づくりに取り組みました。また、2ヶ月に1回、福祉事務所、地域包括支援センター、ふれあい訪問員による情報共有と協議の場をもち活動に取り組みました。

## 活動項目3 介護者への学習機会の提供

■介護者の会の支援を継続  
市と連携し要介護認定を受けた方の介護者に案内チラシを送付するとともに、広報紙での情報提供に努めました。

### ◇第11回養父市介護者のつどい

年月日	場所	内容	参加者数(人)
平成29年 11月10日	但馬楽座 養父神社	講話と対談「認知症について語る」 講師：山崎敬一氏 キクさん 会食会 養父神社で紅葉を楽しむ	30

### ◇八鹿支部 介護者の会「なごみ（和み）」（介護者のつどい）

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成29年 6月26日	八鹿ふれあい 倶楽部	・今年度の計画づくり ・交流昼食会 ・出張「坂本区ふれあいカフェ」大谷和子氏	11
2	7月19日	福祉の杜	八鹿・養父地域合同 花の寄せ植え講座 講師：高木園芸 高木規之氏	2
3	9月20日	湯村温泉 魚と屋	小旅行 ・湯村「魚と屋」で昼食会 ・湯村を散策	9
4	平成30年 1月24日	湯葉料理中村屋 八鹿ふれあい 倶楽部	・昼食会 ・講演「どんな時も楽しく」 講師：ファイナンシャルプランナー 井戸弘美氏	12
5	3月14日	養父支部	八鹿・養父地域合同勉強会 ・交流昼食会 ・お薬についてのお話「おくすりとの上手なつきあい方」 講師：なでしこ薬局八鹿店 李光枝氏	9
合計				43

### ◇養父支部 ひまわりの会（介護者のつどい）

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成29年 5月22日	神鍋高原アグ リガーデン	ミニドライブ ・「アグリガーデン」で食事をしながら情報交換 ・道の駅「神鍋高原」でお買い物	8
2	7月19日	福祉の杜 会議室	「なごみ（和み）」「ひまわりの会」合同開催 ・花の寄せ植え講習会 講師：高木園芸 高木規之氏	6
3	9月25日	養父支部 会議室ほか	・『認知症と向き合う』DVD観賞 ・「スシロー和田山店」で食事をしながら情報交換 ・「海鮮せんべい但馬」でお買物	7

4	平成 30 年 1 月 22 日	ポポロの杜 出石ほか	・「ドライブイン出石」で食事をしながら情報交換 ・「ポポロの杜出石」を施設見学	10
5	3 月 14 日	養父支部 会議室	「なごみ（和み）」「ひまわりの会」合同開催 ・交流食事会 ・講習会「おくすりとの上手なつきあい方」 講師：なでしこ薬局八鹿店 薬剤師 李 光枝 氏	9
合計				40

◇大屋支部 野ぎくの会（当事者組織）年会費 1,200 円及び実費

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成 29 年 4 月 13 日	夜久野高原	お花見会	6
2	5 月 11 日	地域ふれあいの 家「たまり場」	施設見学 ・認知症カフェ「ここあん」	6
3	6 月 29 日	大屋保健 センター	花の寄せ植え講習会① 講師：高木園芸 高木規之 氏	9
4	7 月 27 日	大屋保健 センター	介護講習会 「日常生活支援総合事業、介護予防体操について」 講師：養父市地域包括支援センター保健師 藤井整子 氏	7
5	8 月 24 日	大屋保健 センター	調理実習①「家庭でできる食べやすい工夫」 講師：養父市健康課 栄養士 寺田美恵 氏	5
6	9 月 28 日	大屋地域	関宮介護者の会「たんぼぼの会」との交流会 ・木彫フォークアートおおや見学 ・おおやアート村 BIG LABO にて藍染体験	5
7	10 月 26 日	渡辺水産 湯村温泉	小旅行 ・会食、買い物と湯村温泉散策	6
8	12 月 14 日	大屋保健 センター	花の寄せ植え講習会② 講師：高木園芸 高木規之 氏	6
9	平成 30 年 1 月 25 日	大屋ふれあ いの家	調理実習②「作りやすく、食べやすいおかず」 講師：養父市健康課 栄養士 寺田美恵 氏	4
10	2 月 15 日	大屋保健 センター	介護講習会「おむつの当て方・体に負担のない介護」 講師：王子ネピア株式会社 矢倉 勉 氏	7
11	3 月 22 日	まんど市 であいの里	食事をしながら交流会 ・一年の振り返りと次年度の計画、であいの里ひな まつり見学	6
合計				67

◇関宮支部 たんぼぼの会（当事者組織）会費 1 回 100 円及び実費

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成 29 年 4 月 20 日	関宮ふれあ いの郷	「介護なんでも相談」 講師：養父市社協 介護支援専門員 福祉用具専門相談員	12
2	5 月 18 日	日高町 神鍋高原	食事会と神鍋高原散策	11
3	6 月 15 日	関宮ふれあ いの郷	養父市出前講座 「こけない体づくり」 講師：養父市包括支援センター 藤原優子 氏 介護予防サポーターようか	11
4	7 月 20 日	関宮ふれあ いの郷	「介護ワンポイント研修」 体に負担のない介護、おむつの当て方等 講師：王子ネピア株式会社 矢倉 勉 氏	11



5	8月24日	関宮ふれあいの郷	手芸品づくり	9
6	9月28日	おおや農村公園 ビッグラボ	「野ぎくの会」との交流会 食事会と染織体験	10
7	10月19日	関宮ふれあいの郷	レクリエーション大会	7
8	12月21日	関宮ふれあいの郷	「絵手紙教室」～絵手紙の年賀状を楽しく作ってみませんか～ 講師：ペンクラブ	10
9	平成30年 1月18日	関宮ふれあいの郷	新年会 ～お鍋を囲んで楽しいひと時を～ ボランティアによる手作りお鍋で懇親会	7
10	2月15日	関宮ふれあいの郷	知って得するお話～介護者の健康を保つためには～ 講師：せきのみや薬局 薬剤師 藤原重寿 氏	6
11	3月15日	但馬長寿の郷 道の駅「ようか但馬蔵」	福祉用具の見学 食事と買い物ツアー	5
合計				99

#### 活動項目4 当事者の組織化と支援

##### ■当事者グループの自主的な活動を支援

開催会場の提供や職員の派遣など「認知症カフェここあん」（毎月第2木曜日開設）、「出会いカフェ」（毎月第4水曜日開設）、「ありんこの会」（毎月第4月曜日開設）の活動の支援を行いました。

##### ◇認知症カフェここあん

年月日	参加者数（人）						合計（人）
	介護者	当事者	家族の会	一般	ボランティア	職員等	
平成29年4月13日	7	2	1	0	4	2	16
5月11日	13	3	1	4	4	3	28
6月8日	6	3	2	6	4	4	25
7月13日	12	2	0	8	2	6	30
8月10日	6	1	0	0	5	2	14
9月14日	10	5	0	1	5	5	26
10月12日	10	3	0	1	4	4	22
11月9日	9	2	0	1	4	3	19
12月14日	9	1	0	1	5	1	17
平成30年1月11日	9	1	0	1	4	1	16
2月8日	9	0	0	3	6	2	20
3月8日	9	0	0	4	5	2	20
合計	109	23	4	30	52	35	253

##### ◇出会いカフェ

年月日	参加者数（人）						合計（人）
	介護者	当事者	家族の会	一般	ボランティア	職員等	
平成29年6月28日	3	0	2	1	1	4	11
7月26日	4	0	2	1	0	4	11
8月23日	8	1	0	0	0	1	10
9月27日	4	1	3	1	1	2	12
10月25日	4	0	3	0	0	4	11

11月22日	5	0	2	4	1	4	16
12月27日	4	0	1	2	1	1	9
平成30年1月24日	2	0	4	0	2	3	11
2月28日	3	1	3	1	1	1	10
3月28日	3	2	5	2	3	0	15
合計	40	5	25	12	10	24	116

◇視察・見学受け入れ

年月日	受入先	参加者(人)
平成29年5月11日	のぎくの会	7
平成29年6月8日	宝塚市社会福祉協議会	3
平成29年7月13日	香美町村岡支所	11
平成29年9月14日	兵庫県社会福祉協議会	3
平成29年10月12日	朝来市地域包括支援センター	1

◇会議・研修会等への参加

年月日	実施場所	内容	参加者(人)
平成29年10月13日	福祉の杜、地域ふれあいの家「たまり場」	平成29年度「若年性認知症とともに歩むひょうごの会」地域会	28

■認知症啓発映画「徘徊～ママリン 87歳の夏」上映会

養父市には認知症の人やその家族、地域の人など誰でも参加できる「認知症カフェ」が5カ所で開設されています。今回の映画会は、このカフェを運営する介護者やボランティアなど19人が「実行委員会」を立ち上げ、賛同者を募り開催しました。

年月日	平成30年1月27日
場 所	養父市立ビバホール
内 容	映画「徘徊～ママリン 87歳の夏」
参加者	250人
主 催	認知症カフェここあん／オレンジカフェまごころ／オレンジカフェおおや／ほのぼのカフェ／出会いカフェ
賛同法人・事業所	社会福祉法人但馬福祉園／社会福祉法人かるべの郷福祉会／社会福祉法人あそろ／社会福祉法人関寿会／社会福祉法人養父市社会福祉協議会／医療法人社団絹和会但馬病院／有限会社真愛

■ひとり暮らし高齢者のつどい

◇八鹿支部 75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象につどいを開催しました。

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成29年11月30日	お食事処「夢邸」 コープデイズ (豊岡市)	・豊岡で会食会 ・コープこうべの取り組む、生活支援事業の紹介 ・コープデイズにて買い物	31
2	平成30年2月28日	八鹿老人福祉センター	・童和こども園園児のみなさんとの交流会 ・昼食会 ・講話「認知症を予防しよう」 講師：養父市地域包括支援センター 保健師	40

◇養父支部 ひとり暮らし高齢者の会を年輪の会と名付けています。

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成 29 年 7 月 11 日	出石・豊岡 方面	夏の年輪の会 ・出石城山ガーデンでお食事とお買い物 ・県立コウノトリの郷公園で見物とお買い物	32
2	11 月 14 日	やぶ温泉 但馬楽座	秋の年輪の会 ・昼食後広谷こども園園児との交流 ・たんたん落語会による寄席	50

◇大屋支部 各地区のボランティアが主催して地区ごとにつどいや友愛訪問を行いました。

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成 29 年 6 月 20 日	大屋ふれあ いの家	大屋地区ひとり暮らし高齢者のつどい ・会食とレクリエーションを楽しむ	12
2	7 月 6 日	大屋地域内	ひとり暮らし高齢者友愛訪問 ・花とメッセージカードを届ける	65
3	9 月 17 日	南谷地区	南谷地区ひとり暮らし高齢者友愛訪問 ・プレゼントを届けて訪問	20
4	9 月 29 日	西谷地区	西谷地区ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦友愛訪問 ・手作り弁当を届けて友愛訪問	39
5	11 月 14 日	南谷ふるさ とセンター	大屋ひとり暮らし高齢者のつどい ・ボランティア手作りの会食や、お楽しみ会で 子どもたちとふれあう	44
6	12 月 12 日	大屋地域内	ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦友愛訪問 ・手作りおはぎを届けて訪問	104
7	12 月 13 日	口大屋地区	口大屋地区高齢者のつどい ・会食とレクリエーションを楽しむ	38
8	平成 30 年 2 月 23 日	南谷地区	南谷地区ひとり暮らし高齢者友愛訪問 ・プレゼントを届けて訪問	17
9	3 月 2 日	西谷地区	西谷地区ひとり暮らし高齢者・高齢者夫婦友愛訪問 ・手作り弁当を届けて友愛訪問	37

◇関宮支部 65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象につどいを開催しました。

回	年月日	実施場所	内容	参加者数(人)
1	平成 29 年 6 月 8 日	豊岡市	食事と買い物 城崎街道「海の駅」	36
2	11 月 9 日	出石・但東町	出石そばと「安国寺」のドウダンツツジ見学	29

ひとり暮らし高齢者の当事者組織「ほのぼの会」は 28 年度末で解散し、いきいきサロン関宮へ移行しました。

## 活動項目 5 福祉サービス利用援助事業の推進

### ■福祉サービス利用援助事業の推進

判断能力に不安のある高齢者や障害者等が安心して生活していくための日常的な金銭管理や、福祉サービスの利用手続きなどを支援する事業です。基幹的社協として専門員を置き事業に取り組んでいます。

相談件数	契約前	230 件	新規契約件数	3 件	利用延人数	20 人
	契約後	1,979 件	解約件数	1 件	年度末利用実人数	19 人

### 基本活動3 ボランティア・市民活動の活性化を図る

福祉コミュニティづくりに向けて、当事者、住民の自発性を引き出し、多くの人々がまちづくりの主体として社会参加できるように支援をすすめます。

また、ボランティア活動者の養成とボランティア・市民活動センター運営機能を強化し、活動の促進を図ります。さらに地域住民、ボランティア、行政、学校、企業、NPOを含めた幅広い市民活動との連携、協働により地域の生活福祉課題を解決するためのしくみづくりに取り組みます。

#### 活動項目1 ボランティア・市民活動センター運営機能強化

本部にボランティア・市民活動センターを設置し、12人のボランティア・市民活動センター運営委員により運営しています。

##### ■ボランティア・市民活動センター運営委員会(開催場所:地域交流センター「福祉の杜」)

年月日	協議内容	出席者数(人)
平成 29 年 8 月 2 日	・平成 28 年度事業報告について ・平成 29 年度事業計画について ・ボランティアグループ活動助成金について ・しあわせフェスタ 2017 について	11
10 月 12 日	・しあわせフェスタ 2017 について ・その他	8

##### ■ボランティアステーション連絡会(代表者会議等)

##### ◇八鹿支部(開催場所:地域交流センター「福祉の杜」)

年月日	協議内容	出席者数(人)
平成 29 年 5 月 15 日	・平成 28 年度八鹿ボランティアのつどいについて ・養父市社会福祉協議会八鹿支部運営委員の選出について ・平成 29 年度八鹿ボランティアのつどいについて ・平成 29 年度ボランティアグループ活動助成金について ・平成 29 年度介護予防サポーター研修について	18
平成 30 年 2 月 1 日	・平成 29 年度養父市ボランティア・市民活動センターの活動について ・しあわせフェスタについて ・平成 29 年度八鹿ボランティアのつどいについて ・平成 29 年度ボランティアグループ活動助成金について	20

##### ◇養父支部(開催場所:養父支部会議室)

年月日	協議内容	出席者数(人)
平成 29 年 6 月 5 日	・平成 28 年度ボランティア・市民活動センター事業報告について ・平成 29 年度ボランティア・市民活動センター事業計画について ・ボランティアグループ活動助成金について ・養父ボランティア交流のつどいについて ・情報交換	8

##### ◇大屋支部(開催場所:大屋保健センター)

年月日	協議内容	出席者数(人)
平成 29 年 5 月 16 日	・平成 28 年度大屋支部ボランティアステーション活動報告について ・平成 29 年度ボランティア・市民活動センター事業計画について ・養父市社会福祉協議会支部運営委員選任について ・ボランティアグループ活動助成金について	18

10月3日	・平成29年度前期各グループの活動報告について ・平成29年度前期大屋支部ボランティアステーション活動報告について ・平成29年度後期活動について ・しあわせフェスタ2017について	16
11月8日	・平成29年度大屋ひとり暮らし高齢者のつどいについて ・平成29年度ひょうごボランティア基金について	19
平成30年 2月27日	・平成29年度後期各グループの活動報告について ・平成29年度大屋支部ボランティアステーション活動報告について ・平成30年度事業及び活動について ・平成30年度ボランティア登録について ・ボランティアグループ活動助成金について	17

◇関宮支部(開催場所：関宮ふれあいの郷)

年月日	協議内容	出席者数(人)
平成29年 5月11日	・ボランティアグループ活動助成金の申請について ・平成29年度の活動・事業計画について	11
平成30年 3月19日	・平成29年度事業報告について ・平成30年度事業計画について、サロン食事作り当番編成	11

■ボランティアのつどい

地域	年月日	開催場所	内容	参加者数(人)
本部	平成29年 10月28日	養父 公民館	養父市ボランティアのつどい(しあわせフェスタ2017と共催して実施) バザー8団体 体験コーナー協力3団体 パネル展示 25団体	約500
八鹿	平成30年 3月2日	八鹿老人 福祉セン ター	ボランティアグループ活動紹介 ・下八木ちよつとたのまれ隊 講演「ボランティア活動を活かす笑いとおしゃれ」 講師：認知症予防教室一輪会 代表 田中孝史 氏	90
養父	平成29年 6月27日	広谷ふれ あいセン ター	平成29年度養父ボランティア交流のつどい 講話と実技指導 「脳と身体を鍛えて健康づくり」 講師：養父市地域包括支援センター 保健師 谷垣 知美 氏 グループに分かれて茶話会	23
大屋	平成30年 3月6日	大屋市民 センター	平成29年度大屋ボランティア交流のつどい 講座「笑って健康！ラフターヨガ」 ～幸せを呼ぶみんなの笑いヨガ～ 講師：笑顔ファシリテーター 田中宏枝 氏 ボランティアステーション活動報告 養父市社協職員 ボランティアグループ活動発表「宮本ボラン ティアグループ」 お楽しみ抽選会	66
関宮	平成30年 3月27日	関宮ふれ あいの郷	平成29年度関宮支部ボランティアのつどい 「心と身体を健康に保つためには」 講師：心理カウンセラー 山根富美子 氏	15

## ■ボランティアステーション活動状況

### ①コーディネート件数

対象		八鹿支部		養父支部		大屋支部		関宮支部	
		コーディネート件数	ボランティア活動者数	コーディネート件数	ボランティア活動者数	コーディネート件数	ボランティア活動者数	コーディネート件数	ボランティア活動者数
在宅	高齢者	919件	2,163人	535件	1,105人	601件	1,611人	235件	1,221人
	障害者	8件	10人	12件	70人	4件	20人	0件	0人
	その他	5件	6人	2件	2人	9件	9人	13件	49人
施設・病院		56件	303人	6件	19人	154件	394人	45件	363人
行政機関		13件	56人	27件	77人	17件	70人	4件	5人
市民活動団体		42件	121人	2件	52人	22件	103人	3件	2人
学校		25件	34人	8件	9人	6件	14人	0件	0人
その他		7件	9人	57件	235人	51件	120人	28件	22人
合計		1,075件	2,702人	649件	1,569人	864件	2,341人	328件	1,662人

### ②相談依頼者

相談依頼者	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
一般住民	233件	82件	49件	60件	42件
ボランティア・市民活動団体	421件	117件	106件	120件	78件
施設(福祉事業者等)・病院	52件	36件	1件	9件	6件
行政機関	60件	38件	8件	12件	2件
社協	37件	10件	16件	11件	0件
福祉団体	57件	41件	5件	11件	0件
学校・教育機関	56件	38件	7件	10件	1件
その他	17件	9件	6件	2件	0件
合計	933件	371件	198件	235件	129件

### ■ボランティア災害共済加入状況

加入者	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
ボランティア(人)	608	330	71	96	111
行政関係(人)	229	87	54	46	42
その他(人)	96	13	45	38	0
合計	933	430	170	180	153

### ■天災ボランティア保険・災害特例型加入状況

加入者	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
天災ボランティア保険(人)	0	0	0	0	0
災害特例型(人)	1	1	0	0	0
合計	1	1	0	0	0

### ■ふれあい郵便実施状況

80歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、郵便による激励訪問と郵便局の日常的な集配業務を通じ、安否確認を行います。

区分	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
発送枚数(枚)	4,942	1,685	1,228	1,108	921
利用実人数(人)	462	150	117	121	74

■ボランティア講師の登録と調整

地域で実施されるふれあいいきいきサロン・ふれあい喫茶・子育てサロンなどで、自分の特技や趣味を活かしたボランティア活動ができるよう、ボランティア講師を登録し、調整・派遣等のコーディネートを行いました。講師登録数は23団体でした。

活動項目2 地域ニーズにあったボランティアの養成

■点字フォローアップ教室（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

回	年月日	内容	出席者数(人)
1	平成29年 7月22日	・点字の打ち方、50音や分かち書きなど点字のルール ・短文の点訳 講師：さざなみの会 尾畑恭子氏	7
2	8月5日	・前回のおさらい ・短文の点訳 講師：さざなみの会 尾畑恭子氏	9

■手話フォローアップ教室（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

回	年月日	内容	出席者数(人)
1	平成29年 8月4日	開講式 ①挨拶の手話 ②家族を表す手話 ③指文字 講師：但馬聴覚障害者センター 山崎賢次郎氏 通訳：但馬聴覚障害者センター 小野山敦子氏	7
2	8月18日	①数字を表す手話 ②時を表す手話 ③指文字 講師：但馬聴覚障害者センター 山崎賢次郎氏 通訳：但馬聴覚障害者センター 小野山敦子氏	8
3	8月25日	①地名を表す手話 ②職業を表す手話等 ③指文字 講師：但馬聴覚障害者センター 山崎賢次郎氏 通訳：但馬聴覚障害者センター 小野山敦子氏	9

■災害ボランティア養成講座（開催場所：地域交流センター「福祉の杜」）

回	年月日	内容	出席者数(人)
1	平成29年 12月1日	開講式 講義 「養父市で想定される災害と、必要な備え」 講師：養父市危機管理監 西田浩次氏 実践報告 「広谷地区自治会自主防災組織の取り組み」 報告者：広谷自主防災会会長 上山正男氏	18
2	12月15日	講座 「災害にも強い地域づくり、人づくりをめざして～災害ボランティアの心得と役割について～」 講師：佛教大学福祉教育開発センター 後藤至功氏 演習 グループワーク 「災害に備えて、今私たちに何ができるのか、地域で必要な取り組みを考えてみよう」 閉講式(修了証交付)	16

■介護予防サポーター研修（開催場所：八鹿文化会館）

回	年月日	内容	出席者数(人)
1	平成29年 6月2日	介護予防に関する総論 ～介護予防の全体像・何を予防したらいいのか～	14
2	6月16日	各論①簡単にできる基本的な体操方法・介助法 集団レク・やぶからぼうたいそう等 ～いつからでも、どこでもできる～	15

3	6月30日	各論②認知症の理解と地域でできる頭を使ったゲーム ～あなたも認知症サポーターになれる！～	13
4	7月14日	各論③口腔機能について・肺炎予防・お口の体操等	15
5	7月28日	各論④栄養について～おいしく安全に食べるための工夫～	11
6	8月4日	グループワーク～地域に必要なものは、今から何ができるか～ 研修修了式	13

■介護予防サポーターフォローアップ研修（開催場所：八鹿文化会館）

年月日	内容	出席者数(人)
平成30年2月22日	お話「認知症施策の方向性～認知症の方の支援について～」 養父市地域包括支援センター 谷垣知美 氏 情報提供・認知症カフェの紹介 情報交換・グループワーク	46

■介護予防サポーター修了生の会（フォローアップ研修）大屋

年月日	開催場所	内容	出席者数(人)
平成29年 5月30日	大屋保健 センター	養父市介護予防サポーター 第1回大屋地域修了生の 会	8
9月26日	大屋保健 センター	養父市介護予防サポーター 第2回大屋地域修了生の 会	6
平成30年 1月30日	大屋保健 センター	養父市介護予防サポーター 第3回大屋地域修了生の 会	13

■精神保健ボランティア養成講座（開催場所：やぶ保健センター ※1回目は養父公民館）

回	年月日	内容	出席者数(人)
1	平成29年 9月21日	開講式 講演 こころの病気の理解 講師：高石医院 高石俊一院長	13
2	10月6日	講演「傾聴の基本と障害のある方への接し方」 講師：生活支援センターほおずき 精神保健福祉士 田中里未 氏	14
3	10月20日	講演 地域で安心して暮らすために～QOLを上げて考える～ 講師：生活支援センターほおずき 精神保健福祉士 田中里未 氏	14
4	11月10日	養父市障がい者（児）福祉事業利用手引きから 説明：養父市健康福祉部 社会福祉課 田中貴樹 氏 生活支援センターほおずき 精神保健福祉士 田中里未 氏 日常生活自立支援事業について 説明：養父市社協職員 ドリームワークス作業所について 説明：春名るみ 氏	13
5	11月13・15 ・20・22日	ドリームワークス作業所の見学及び実習 (4班に分かれ1回参加)	15
6	12月1日	ピアサポーターのお話 講師：生活支援センターほおずき 精神保健福祉士 田中里未 氏 養父市社協の活動とボランティア活動について 説明：養父市社協職員 修了式	12

活動項目3 ボランティア活動の情報発信

広報紙かけはしに、ボランティアグループや市民活動団体等を紹介するコーナー「まちのボランティアSun's」を4ヶ月に1回設けるとともに、ホームページやフェイスブックで活動の紹介に努めました。



#### 活動項目4 ボランティア活動への助成

今年度、養父市ボランティア・市民活動センターに登録したボランティアグループは90グループ(1,538人)でした。そのうち、会員5人以上で年6回以上ボランティア活動を行っているグループのなかから、活動助成金の申請のあった49グループに902,000円を助成しました。

#### 活動項目5 地域通貨の検討

関宮地域の安心地区推進協議会(区長、民生委員・児童委員、介護保険事業者など10人で構成)は、安心して暮らせる地域づくりを協議しています。地域自治組織と連携し、買物などの生活支援をワンコインで提供する仕組みづくりについても話し合いました。

### 基本活動4 地域・学校での福祉学習をすすめる

「誰もが大切にされ共に生きる地域づくり」をすすめるための根幹となる『福祉学習』の取り組みを推進します。

地域・学校などのあらゆる場で、住民や児童・生徒の気づきや学びを、一つひとつ紡いでいき、相互理解を深めていくことで、一人ひとりが尊重され、孤立や排除の無い社会、養父市の「ふくし(=ふだんのくらしのしあわせ、みんなのしあわせ)」をともに育てていきます。

#### 活動項目1 区や福祉連絡会などで地域住民が学びあう場づくり

- 地区福祉委員会や福祉連絡会研修会など、地域住民が学びあう場の提供

今年度の福祉連絡会研修会は、「住民主体の支え合いによる住みよい地域づくり」をテーマに実施しました。篠山市社会福祉協議会の前田公幸事務局長から「我が事・丸ごとの地域づくりを進めるために」と題した講演と、養父市内の各地域で活発に地域福祉活動を行っている3団体からの実践発表がありました。

#### 活動項目2 小・中・高等学校における福祉学習支援

- 「福祉学習(教育)担当者連絡会」の開催

市内の小・中・高等学校、福祉関係者、社協職員が福祉教育の目的や進め方等について意見・情報交換を行い、連携を深めるとともに共通認識を持つ「福祉学習(教育)担当者連絡会」を8月1日に開催しました。

また、福祉教育・学習の機会を提供し、体験や交流活動を通して福祉の心を育てることを目的に、市内の小・中・高等学校16校を福祉教育指定校として、1校あたり10,000円の活動助成金160,000円を助成しました。

・ 講演 拝啓、ぼくらの「苦労さん」 ～「地域で生活する」という事～

講師 社会福祉法人かるべの郷福祉会 ドリーム相談所  
ピアサポーター 生田定敏氏 藤林智江氏

・ グループワーク 「ストレングス(強み)に着目してすすめる福祉教育について」

#### ■ 福祉学習、ボランティア体験教室等開催状況

支部	回	年月日	学習校	内容	参加数(人)
八鹿	1	平成29年5月12日	八鹿小学校	4年福祉学習 福祉についてオリエンテーション	56
	2	5月25日	八鹿小学校	4年福祉学習 車いす体験	56
	3	5月30日	宿南小学校	4年福祉学習 福祉についてオリエンテーション	8
	4	6月8日	宿南小学校	4年福祉学習 車いす体験	8
	5	9月22日	八鹿小学校	4年福祉学習 点字学習	56
	6	9月26日	伊佐小学校	4年福祉学習 福祉についてオリエンテーション	13
	7	9月28日	伊佐小学校	4年福祉学習 車いす体験	13

八鹿	8	10月10日	伊佐小学校	4年福祉学習 アイマスク体験	13	
	9	10月12日	伊佐小学校	4年福祉学習 視覚障がいを持つ方から話をきく	13	
	10	10月12日	八鹿小学校	4年福祉学習 アイマスク体験	28	
	11	10月13日	八鹿小学校	4年福祉学習 アイマスク体験	28	
	12	10月16日	宿南小学校	4年福祉学習 アイマスク体験	8	
	13	10月17日	八鹿小学校	4年福祉学習 視覚障がいを持つ方から話をきく	56	
	14	10月20日	宿南小学校	4年福祉学習 視覚障がいを持つ方から話をきく	8	
	15	10月31日	宿南小学校	4年福祉学習 点字学習	8	
	16	11月2日	伊佐小学校	4年福祉学習 認知症学習	13	
	17	11月10日	八鹿小学校	4年福祉学習 手話学習	56	
	18	11月24日	八鹿小学校	4年福祉学習 聴覚障がいを持つ方から話をきく	56	
	19	平成30年1月31日	宿南小学校	4年福祉学習 認知症学習	8	
	20	2月2日	高柳小学校	4年福祉学習 福祉についてオリエンテーション	17	
	21	2月5日	高柳小学校	4年福祉学習 車いす体験	17	
	22	2月6日	宿南小学校	4年福祉学習 手話学習	8	
	23	2月19日	高柳小学校	4年福祉学習 アイマスク体験	17	
	24	2月23日	高柳小学校	4年福祉学習 視覚障がいを持つ方から話をきく	17	
	25	2月27日	八鹿小学校	4年福祉学習 認知症学習	56	
	養父	1	平成29年6月23日	建屋小学校	3・4年福祉学習 車いす体験	16
		2	6月30日	建屋小学校	3・4年福祉学習 高齢者疑似体験	16
		3	8月25日	養父中学校	ボランティア部 配食ボランティアに同行して配食体験	2
		4	11月9日	広谷小学校	2年異世代交流 ふれあいいきいきサロンそよ風で利用者との交流	22
		5	11月9日	広谷小学校	4年福祉学習 手話体験	34
		6	11月15日	広谷小学校	4年福祉学習 アイマスク体験	34
		7	11月17日	建屋小学校	3・4年福祉学習 アイマスク体験	16
8		11月24日	広谷小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流会	34	
9		11月28日	建屋小学校	3・4年福祉学習 点字体験	16	
10		12月1日	建屋小学校	3・4年福祉学習 視覚障がい者との交流会	16	
11		平成30年2月16日	養父小学校	4年生福祉学習 点字体験	10	
12		2月21日	養父小学校	4年生福祉学習 アイマスク体験	10	
13		2月28日	養父小学校	4年生福祉学習 視覚障がい者との交流会	10	
大屋	1	平成29年10月20日	大屋中学校	2年福祉学習 認知症学習 高齢者福祉、認知症サポーター養成講座を学習	38	
	2	平成29年10月26日	大屋小学校	4年福祉学習 点字学習 目の不自由な人について、点字を学習し体験	20	
	3	平成29年10月31日	大屋小学校	4年福祉学習 視覚障がい者との交流会	21	
	4	11月14日	大屋小学校	3年ひとり暮らし高齢者との交流会 児童による演舞、合奏と交流	29	
	5	平成30年3月2日	大屋小学校	6年福祉学習 車いす体験 車いす体験を通して、相手を思いやる心を育む	25	
関宮	1	平成29年5月23日	関宮小学校	4年福祉学習 ふれあいの郷見学 社協の仕事について	21	
	2	6月26日	関宮小学校	4年福祉学習 デイサービス利用者との交流会	21	
	3	7月27日	関宮小学校	夏休みボランティア体験教室 ペンクラブの指導で「絵手紙体験 ふれあい郵便」	6	
	4	9月25日	関宮小学校	4年福祉学習 アイマスク体験	21	
	5	平成30年1月23日	関宮小学校	4年福祉学習 点字学習	21	
	6	2月8日	関宮小学校	4年福祉学習 手話学習	21	

### 活動項目3 福祉・人権意識の啓発

■社協広報『かけはし』や、地域・学校などのあらゆる場で、福祉や障がい理解に関する情報を発信

地域住民や社会福祉関係者が一堂に会し、「ささえあう心で笑顔あふれる福祉のまちづくり～みんなでつくる みんなのしあわせ～」の実現と社会福祉の更なる充実をめざすことを目的として、10月28日に開催した「しあわせフェスタ2017」は、約500人の参加がありました。

今年度は、～つなげよう笑顔の輪～をテーマに、手話、点字などの「ボランティア体験コーナー」、介護を体験する「おもいやりらんど」、認知症の方や家族への理解をすすめる「認知症啓発コーナー」などを設けて情報発信を行いました。

## 基本活動5 住みなれた場所で暮らし続けるためのサービスを推進する

誰もが住みなれた場所でその人らしく暮らし続けるため、地域住民と専門職（行政や福祉事業所等）が協働し、地域ケアの仕組みづくりをすすめ、課題解決を図ります。

社協は、現在実施している事業についてはさらなるサービスの質の向上をめざし、制度内の福祉サービスの充実・発展とともに、さまざまな生活課題に対するサービスの開発を推進します。

### 活動項目1 給食サービス事業・移送サービス事業の効果的な運営

#### ■給食サービス事業の実施

市内のひとり暮らし高齢者及び高齢夫婦等へ、業者が調理した弁当を1食400円で配食ボランティアが届け、友愛訪問と安否確認を兼ねたサービスとして実施しました。

区分	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部	
年間利用者数(人)	127	52	14	36	25	
食数(食)	6,863	2,961	982	1,606	1,314	
内訳 (食)	水(51回)	3,472	1,548	537	679	708
	金(50回)	3,391	1,413	445	927	606
配食ボランティア延べ人数(人)	1,571	486	342	289	454	
配食ボランティア実人数(人)	92	17	45	20	10	

#### ■移送サービス事業の効果的な運営

障がい者・要介護高齢者等の移動が困難な方を対象に道路運送法に基づき移送サービス事業を実施しました。

29年度年間登録人数	135人	実施回数	2,198回	利用延べ人数	1,382人	走行距離	17,238km
28年度年間登録人数	159人	実施回数	2,456回	利用延べ人数	1,597人	走行距離	20,228km

#### ■夕食サービス実施の検討

安心地区推進協議会で調理が困難な高齢者への支援について協議を行い、関宮通所介護事業所、いきいきサロン関宮の利用者への夕食サービスを調理ボランティアの協力により平成28年6月から始めています。

回数	9回	食数	75食	延べ利用者数	64人	実利用者数	17人
----	----	----	-----	--------	-----	-------	-----

### 活動項目2 介護予防事業の充実

#### ■高齢者相談センターの運営

地域包括支援センターのランチ（相談窓口）として、大屋・関宮地域の養父市高齢者相談センター業務を受託しました。高齢者に関するさまざまな相談を受け、情報提供や手

続きを行いました。地域における関係者とのネットワークを構築し、連携してその人らしい生活が送れるよう包括的に支援を行いました。

センター名	相談件数 (件)	合計 (件)
高齢者相談センターおおや	新規 103	732
	継続 629	
高齢者相談センターせきのみや	新規 113	666
	継続 553	

#### ■介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防・日常生活支援総合事業を市から受託し、社協が各支部で実施していたふれあいサロンは、通所型生活機能向上サービスへと移行しました。

また、訪問介護事業所は訪問型生活機能向上サービスを行いました。

#### ◇通所型生活機能向上サービス

名称	地域ふれあいの家 いきいきサロンようか	ふれあいきいき サロンそよ風	地域ふれあいの家 いきいきサロン	いきいきサロン 関宮
開設日数	50日	49日	49日	47日
開催日	毎週火曜日	毎週木曜日	毎週水曜日	毎週金曜日
開催場所	地域ふれあいの家 たまり場	ふれあいきいき サロンそよ風	大屋ふれあいの家	関宮ふれあいの郷
利用実人数	757人	505人	495人	825人

#### ◇訪問型生活機能向上サービス

訪問介護事業所から訪問した回数は345回でした。

#### ■地域ふれあいの家たまり場の運営

開設日数	開催日	利用延べ人数	運営協力団体	ボランティア延べ人数
185日	毎週 月・水・木・金曜日	2,643人	地域ふれあいの家 「ほっとハート」	597人

### 活動項目3 介護保険事業の充実

#### ■介護保険事業所の実績

居宅介護支援事業	利用件数	4,542件
訪問介護事業	訪問回数	26,552回
通所介護事業（大屋）	延べ利用人数	7,979人
通所介護事業（関宮）	延べ利用人数	6,580人
訪問入浴サービス事業	訪問回数	113回
福祉用具貸与事業	延べ利用件数	8,700件

### 活動項目4 障がい者相談支援事業の推進

#### ■障がい者とその家族のさまざまな相談に応じ情報提供

南但馬自立支援協議会、精神障害者地域移行・地域定着支援会議、但馬圏域障害者相談支援事業担当者連絡会議、但馬地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議などに参画し、事業所や地域住民と連携しながら障がい者が地域で安心して生活が送れるよう総合的、継続的に支援しました。

#### ◇障害福祉サービス

相談支援事業	活動件数	延べ利用人数	627人
	計画相談支援	延べ利用人数	4,106人
居宅介護(訪問介護)	訪問回数		2,537回

## 活動項目5 知的障害児託児事業（放課後クラブ）の推進

### ■養父市知的障害者託児所(放課後クラブ)運営事業

平成30年3月、市内に障害者総合支援法による放課後等デイサービス事業所の開設が決まったため、今年度末をもち事業終了となりました。

利用実児童・生徒数	5人	延べ利用人数	555人	利用時間	1,821時間
-----------	----	--------	------	------	---------

## 活動項目6 空き家を活用した共同生活ハウス設立・運営の支援

### ■空き家などを利用した交流の場、居場所づくりの支援

空き家を利用したコミュニティづくりについてコープこうべと協議を行いました。

## 活動項目7 さまざまな生活課題に対するサービスの開発・実施

### ■地域の現状を把握し、買い物・移動・除雪・掃除等、暮らしを守る柔軟なサービスの開発

関宮地域では、いきいきサロン関宮の利用者への夕食サービスの実施。地域自治組織と連携し、買物などの生活支援をワンコインで提供する仕組みづくりの協議など、安心地区推進協議会による話し合いのなかから助け合いのサービスが生まれてきています。

市と生活支援コーディネーターによる協議体の設置を各地域に広げ、住民の協議から生活支援サービスを開発する仕組みづくりが求められます。

### ■介護用品あっせん事業

区分	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
あっせん件数(件)	1,216	244	112	517	343
利用実人数(人)	214	78	11	60	65
利用延人数(人)	935	215	72	387	261

### ■福祉用具貸出事業

区分	合計	八鹿支部	養父支部	大屋支部	関宮支部
ベッド(件)	23	23	0	0	0
車いす(件)	70	49	8	5	8
松葉杖(件)	14	4	7	2	1
ポータブルトイレ(件)	21	13	0	3	5
その他(件)	5	5	0	0	0

## 基本活動6 災害に強いまちづくりをすすめる

震災や近年多発している集中豪雨による水害や土砂災害は、地域を問わず、甚大な被害をもたらしています。その復旧の担い手として災害救援ボランティア活動が大きな力を発揮し、ボランティアが果たす重要な役割の一つとなっています。

### 活動項目1 災害ボランティアセンター運営マニュアルの作成

#### ■災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づいた災害ボランティアの養成

平成29年度も養父市、やぶ防災士会の協力のもと、災害ボランティア養成講座を開催しました。(詳細は基本活動3 活動項目2 地域ニーズにあったボランティアの養成に掲載)

### 活動項目2 福祉防災マップづくりの推進

#### ■全ての行政区で福祉防災マップを作成

福祉連絡会で福祉防災マップ、ささえあい要援護者登録申請書兼カードを整備・更新す

るなかで、防災情報や支援の必要な人などを把握するとともに、各区では福祉防災マップの情報を養父市一斉避難訓練へ活用しました。

また、社協職員は養父市一斉避難訓練の各地域のモデル地区へ要介護者の搬送訓練などで参加しました。(詳細は2全市的重点目標 ■福祉防災マップづくり掲載)

◇地域住民を災害等から守る連絡会への参加

地域	年月日	開催場所	出席者数(人)
八鹿	平成29年7月20日	養父市役所	2
	11月14日	八鹿公民館	2
養父	平成29年7月5日	養父公民館	0
	10月31日	養父公民館	2
大屋	平成29年8月25日	大屋地域局	1
関宮	平成29年6月20日	関宮公民館	1
	11月21日	関宮公民館	1

## 基本活動7 地域で子育て支援をすすめる

核家族化が進み、育児に不安やストレスを感じている人や手助けを必要としている子育て世帯が増えています。誰もが安心して子どもを育てられるよう、地域に住む子どもや子育て世帯を地域全体で見守り、ともに育てていく活動を支援します。

### 活動項目1 子育てサロンへの支援

■子育て支援ボランティアの交流と情報交換ができる場づくり

市内の子育て支援に関わるボランティアや各種団体が連携・協働する体制をつくり、子育て支援活動を支援しました。

■子育てサロンそよ風

子育てサロンそよ風サポーターが自主運営する子育てサロンを支援しました。

運営主体	ボランティアグループ「そよ風サポーター」 社協
開設日	毎週月曜日 10:00~11:30
年間施設利用料	1人 500円
登録人数	7人
ボランティア数	6人
ボランティア活動回数	サロンでの見守り44回

■子育てサロンの支援

子育てボランティアグループや地域自治協議会が主体となって開催するサロンへ、チラシ作成や研修会の開催など自主運営の支援を行いました。

◇市内の子育てサロン実施状況

サロン名	運営主体	開催日・時間	活動回数
子育てサロン伊佐	伊佐校区自治協議会	毎月第1月曜日 10:30~11:30	12回
子育てサロン高柳	高柳地区自治協議会	毎月第4水曜日 10:30~11:30	12回
子育てサロンすくすく	関宮子育て支援 ボランティアグループ	毎月第2火曜日 10:30~11:30	11回

子育てサロン関宮	場所開放	毎月第4月曜日 10:30～11:30	11回
手作り広場ほわほわ	自主サークル	毎月1～2回 10:00～13:00	12回

■多胎児サークル「ピーナッツ」の開催

双子や三つ子をもつ家族が、情報交換を行うなかで、仲間づくりやリフレッシュする場として、子育て支援ボランティアの協力を得て開催しました。

4回開催し10組16人の参加がありました。

■まちの子育てひろば「まるわかりガイド」の発行

今年度も、子育てに関する情報を集めた「子育て支援情報誌まるわかりガイド」を更新し発行しました。

◇配付状況

発行月	発行部数	配付先
平成29年7月	1,100部	こども園、保育所、公民館、地域自治協議会、地域局等

活動項目2 親育ちの機会づくり

■子育て支援ネットワーク会議による連携

地域で活動する子育て支援に関わるボランティアやグループがつながり、協働することを目的に、社協と教育委員会が連携して子育て支援ネットワーク会議を立ち上げました。

◇子育て支援ネットワーク会議

回	年月日	内容	場所	参加者
1	平成29年 10月10日	・講演：発達障害について ～困った子ではなく困っている子 講師：一般社団法人トータルハーモニー 理事 武田さゆり氏	養父公民館	22人
2	平成30年 2月26日	・講演：紙皿シアター まんまるちゃん ～遊びゴコロで笑顔をつなごう～ 講師：おもちゃコンサルタント 杉山春菜氏	養父市子育て・移住サポートセンター	26人

■どならない子育て練習講座、子育て支援ボランティア養成講座の実施

おこったり、どなったりせず、ほめて伸ばす子育ての方法を学ぶ講座を市教育委員会と連携して行いました。どの講座も託児ボランティアの協力を受け実施しました。

講座名等	講座回数	延べ参加者数
どならない子育て練習講座2歳児編	2回	11人
どならない子育て練習講座実践編	4回	27人
どならない子育て練習講座フォロー講座	1回	3人

■元気ひょうご!!早ね早おき朝ごはんフォーラム

子どもの生活習慣をテーマに、親と子が劇や歌などの体験型の講座を通して一緒に考え楽しく学ぶフォーラムに参加しました。(主催:兵庫県教育委員会、「早寝早起き朝ごはん」兵庫県フォーラム実行委員会)

年月日	内容	場所	参加者
平成 29 年 12 月 9 日	・うたとあそびのぶんちゃか座ファミリーコンサート ～おっちょこ忍者とひみつの巻物～ ・学びのテーマパーク 体験型プログラムブース(紙芝居、バルーンパフォーマンス、絵本パフォーマンス、親子で朝ごはんづくり、ちくたくもりもり～おもちゃで遊ぼう～、親子あそび、ひょうごの宝こうのとりをかんじてみよう、おはしリンピックなど)を開設	ビバホール 養父公民館	400 人

**活動項目 3 子どもの冒険ひろば(放課後プレーパーク)の推進**

■地域の人が見守るなか、自由な遊びなどを通して子どもたちの生きる力を育む「子どもの冒険ひろば(放課後プレーパーク)」を継続実施

放課後プレーパークを大屋・関宮地域で実施しています。大屋小学校で開設する大屋放課後プレーパークは養父市から委託を受け、養父市放課後子ども教室「おおやっこ教室」として開催しました。今年度は、夏休み・春休みプレーパークへボランティアスタッフとして子育て支援に関わるNPO法人や男女共同参画センター、コープこうべ、子育て支援センターが加わり冒険ひろばへの理解を深めていただきました。

また、冒険ひろば事業を安定して行うため、2017(平成 29) 年度年賀寄附金配分事業に車両購入の申請を行い配分が決定し車両を購入しました。

◇放課後プレーパーク(子どもの冒険ひろば)実施状況

開催場所	区分	回数	参加者数
関宮健康増進施設軒下 (4月から12月) まちづくり交流センター「関の館」 (1月から3月)	放課後プレーパーク	23回	334人
大屋小学校	おおやっこ教室	20回	212人
はさまじ里山の森公園	夏休みプレーパーク(7/29)	1回	119人
養父公民館	しあわせフェスタ プレーパーク(10/28)	1回	74人
八鹿公民館	文化祭プレーパーク(11/4)	1回	41人
はさまじ里山の森公園	春休みプレーパーク(3/24)	1回	380人
合計		47回	1,160人



## 強化活動

### 1 組織・人材

#### 組織（経営機能の強化）

##### ■拠点整備

関宮高齢者総合保健福祉センター（ふれあいの郷）指定管理業務

区分	合計
年間利用延べ人数	3,497人
年間利用延べ回数	312回
開設日数	138日
1日平均利用延べ人数	25人

##### ■理事会開催状況

回	年月日	主な協議内容	出席理事数(人)	出席監事数(人)
1	平成29年 4月21日	議案第1号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について 報告事項(1) 新理事・監事及び支部運営委員の選任について 報告事項(2) ボランティアグループ活動助成金の助成額について 報告事項(3) 平成29年度職員人事について 報告事項(4) 平成29年度年間予定について	11	2
2	5月26日	議案第2号 平成28年度社会福祉法人養父市社会福祉協議会事業報告書、決算書(財産目録、貸借対照表及び収支計算書)について 議案第3号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会理事・監事の選任について 議案第4号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会支部運営委員の選任について 議案第5号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 議案第6号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会会員規程の一部を改正する規程の制定について 議案第7号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の制定について 議案第8号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会自家用自動車の借上げ使用に関する規程の制定について 協議事項(1) 養父支部事務所（無償貸与）の譲渡協議の申し入れについて 報告事項(1) 平成29年度資金計画について 報告事項(2) 社会福祉充実財産の算定について	11	1
3	6月16日	議案第9号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選任について 議案第10号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会部会設置規程の一部を改正する規程の制定について 議案第11号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会部会の構成について	11	2

		<p>議案第 12 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>議案第 13 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の設置について</p> <p>協議事項(1) 役員等の退任にともなう表彰について</p> <p>報告事項(1) 社会福祉法人養父市社会福祉協議会評議員の選任について</p> <p>報告事項(2) 平成 29 年度第 1 回地区福祉委員会について</p>		
4	7月21日	<p>議案第 14 号 平成 29 年度社会福祉法人養父市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)[第 1 次補正]について</p> <p>議案第 15 号 平成 29 年度共同募金「地域目標額」「期間拡大目標額」「地域歳末目標額」設定に係る事業充当計画について</p> <p>議案第 16 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会部会設置規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>報告事項(1) 職員の人事異動について</p>	10	2
5	9月29日	<p>協議事項(1) しあわせフェスタ 2017 について</p> <p>協議事項(2) 平成 29 年度歳末たすけあい運動について</p> <p>協議事項(3) 平成 30 年度新規(新卒)職員の採用について</p> <p>報告事項(1) 平成 29 年度高齢者保健福祉月間事業について</p> <p>報告事項(2) 兵庫県最低賃金の引き上げに伴う非常勤職員の時給単価について</p> <p>報告事項(3) 第 66 回兵庫県社会福祉大会における表彰者について</p> <p>報告事項(4) 兵庫県共同募金会顕彰による表彰者・感謝状贈呈者について</p>	9	1
6	10月19日	<p>報告事項(1) しあわせフェスタ 2017 について</p> <p>報告事項(2) 指定介護保険サービス事業者に対する実地指導の結果について</p> <p>報告事項(3) 「第 5 回町内・集落福祉全国サミット in 淡路市」への参加について</p>	10	1
7	11月21日	<p>協議事項(1) 平成 29 年度歳末たすけあい運動市内障害者通所施設訪問について</p> <p>報告事項(1) 平成 30 年度新規職員の採用について</p> <p>報告事項(2) 平成 29 年度赤い羽根共同募金運動(戸別募金)中間実績報告について</p> <p>報告事項(3) 土地の贈与について</p>	9	2
8	12月22日	<p>協議事項(1) 養父市知的障害児託児所運営事業(放課後クラブ)について</p> <p>報告事項(1) 平成 29 年度第 2 回監査会(上半期)監査報告について</p> <p>報告事項(2) 指定介護保険サービス事業者に対する実地指導の追加指導について</p> <p>報告事項(3) しあわせフェスタ 2017 について</p> <p>報告事項(4) 第 2 回地区福祉委員会について</p>	11	2
9	平成 30 年 1 月 26 日	<p>協議事項(1) 人材確保のための「正規職員・嘱託職員」内部登用試験の実施について</p> <p>報告事項(1) 平成 29 年度上半期職務執行状況報告について</p> <p>報告事項(2) 「ひきこもり支援のための居場所づくり」について</p>	9	2

10	2月27日	報告事項(1) 故 関本勢以子氏の遺贈について 報告事項(2) 平成 30 年度正規職員・嘱託職員採用試験について 報告事項(3) 平成 29 年度共同募金運動実績報告について 報告事項(4) 第 3 回地区福祉委員会について	8	2
11	3月22日	議案第 17 号 平成 30 年度兵庫県共同募金会受配金に係る事業及び配分額(案)について 議案第 18 号 平成 30 年度社会福祉法人養父市社会福祉協議会事業計画(案)及び資金収支予算(案)について 報告事項(1) 平成 29 年度資金収支決算の見込みについて 報告事項(2) 平成 29 年度第 3 回監査会(10 月～12 月)監査報告について 報告事項(3) 平成 29 年度共同募金運動実績報告について	9	2

#### ■評議員会開催状況

回	年月日	主な協議内容	出席評議員数(人)	出席理事数(人)	出席監事数(人)
37	平成 29 年 4 月 21 日	協議事項(1) 社会福祉法人養父市社会福祉協議会理事・監事及び支部運営委員の選任について	12	2	—
38 定時	6月16日	議案第 1 号 平成 28 年度社会福祉法人養父市社会福祉協議会事業報告、計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 議案第 2 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会理事・監事の選任について 議案第 3 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会会員規程の一部を改正する規程の制定について 議案第 4 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会役員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程の制定について	14	5	1
39	平成 30 年 3 月 30 日	議案第 5 号 平成 29 年度社会福祉法人養父市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について 議案第 6 号 平成 30 年度兵庫県共同募金会受配金に係る事業及び配分額(案)について 議案第 7 号 平成 30 年度社会福祉法人養父市社会福祉協議会事業計画(案)及び資金収支予算(案)について	12	6	2

#### ■監査会開催状況

回	年月日	監査内容	出席監事数(人)
1	平成 29 年 5 月 19 日	1 平成 28 年度事業報告について 2 平成 28 年度決算について 3 監査結果の講評	2
2	平成 29 年 12 月 8 日	1 社会福祉協議会の監事監査について 2 平成 29 年度 4 月～9 月(上半期)事業について 3 平成 29 年度 4 月～9 月(上半期)会計について 4 監査結果の講評	2
3	平成 30 年 3 月 9 日	1 平成 29 年度 10 月～12 月(第 3 四半期)会計について 2 監査結果の講評	2

■評議員選任・解任委員会開催状況

回	年月日	主な協議内容	出席委員数(人)
2	平成 29 年 5 月 31 日	議案第 3 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の議長選任について 議案第 4 号 社会福祉法人養父市社会福祉協議会評議員の選任について	5

■支部運営委員会全体会

回	年月日	主な協議内容	出席委員数(人)
1	平成 29 年 6 月 29 日	●養父市社会福祉協議会の事業について(スライド) 協議事項(1) 正副委員長の選任について 協議事項(2) 各支部で協議	32

■企画経営部会・ふくしのまちづくり部会（合同開催）

回	年月日	主な協議内容	出席委員数(人)	
			企画経営	まちづくり
1	平成 29 年 9 月 29 日	協議事項(1) 企画経営部会・ふくしのまちづくり部会の方針について[意識合わせ]	4	5
2	11 月 7 日	協議事項(1) 組織経営基盤の強化に向けて議論を深める	4	4
3	11 月 21 日	協議事項(1) 組織経営基盤の強化に向けて議論を深める 協議事項(2) 今後の予定について確認と協議	5	4
4	12 月 14 日	協議事項(1) 市内指定管理施設の今後の方向性について 現地調査 デイサービスセンター「ふれあい」 関宮高齢者総合保健福祉センター	4	4
5	平成 30 年 1 月 26 日	協議事項(1) 市指定管理施設の今後の方向性について * 前回の振り返りと課題の共有 * 指定管理施設の経営上の環境分析	4	3
6	2 月 27 日	協議事項(1) 市指定管理施設の今後の方向性について * 環境分析から見た今後の方向性 * 公共建築事業に基づく今後の進め方について	3	3

※部会構成 企画経営部会 5 人、ふくしのまちづくり部会 5 人

■ふくしのまちづくり部会（単独開催）

回	年月日	主な協議内容	出席委員数(人)
7	平成 30 年 3 月 16 日	●養父市生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業運営会議（養父市福祉事務所主催） (1) 養父市生活困窮者等のための共助の基盤づくり事業について (2) 平成 29 年度事業活動集計結果報告 (3) ふれあい訪問員活動報告 (4) 次年度に向けた意見交換等	4

■支部運営委員会開催状況

◇八鹿支部

回	年月日	主な協議内容	出席委員数 (人)
1	平成 29 年 4 月 25 日	【八鹿支部運営委員・役員選考委員合同会議】 協議事項(1) 八鹿支部運営委員の選任方法について 協議事項(2) 八鹿支部運営委員の選出 【第 1 回八鹿支部運営委員会】 報告事項 平成 29 年度事業方針及び予算について	6
2	5 月 18 日	報告事項 支部運営委員候補者選考経過報告	7
3	6 月 29 日	協議事項(1) 支部運営委員長、支部運営副委員長の選任について 協議事項(2) 第 1 回地区福祉委員会について 協議事項(3) 平成 29 年度八鹿支部運営委員会の予定について	9
4	9 月 21 日	協議事項(1) 平成 29 年度赤い羽根共同募金運動について	7
5	12 月 20 日	協議事項(1) 賛助会費、特別会費の募集について	6
6	平成 30 年 2 月 16 日	協議事項(1) 各種相談員等の改選について 協議事項(2) 第 3 回地区福祉委員会について 意見交換 八鹿地域に必要な助け合い活動について(グループワーク)	10

◇養父支部

回	年月日	主な協議内容	出席委員数 (人)
1	平成 29 年 5 月 8 日	協議事項(1) 支部運営委員の選任について 協議事項(2) 養父支部運営委員の構成について	6
2	6 月 29 日	協議事項(1) 校区福祉委員会の開催について	5
3	9 月 12 日	協議事項(1) 赤い羽根共同募金運動の実施について	5
4	11 月 16 日	協議事項(1) 校区福祉委員会の開催について	7
5	平成 30 年 2 月 21 日	協議事項(1) 校区福祉委員会の開催について	9

◇大屋支部

回	年月日	主な協議内容	出席委員数 (人)
1	平成 29 年 5 月 10 日	協議事項(1) 役員選任について	7
2	6 月 29 日	協議事項(1) 今後の支部運営について	7
3	9 月 13 日	協議事項(1) 赤い羽根共同募金運動について	7
4	11 月 30 日	協議事項(1) 地区福祉委員会について	6
5	平成 30 年 2 月 28 日	協議事項(1) 地区福祉委員会について	6

◇関宮支部

回	年月日	主な協議内容	出席委員数 (人)
1	平成 29 年 5 月 9 日	協議事項(1) 役員等の選出について	7
2	6 月 29 日	協議事項(1) 正副委員長の選任について	8
3	9 月 5 日	協議事項(1) 平成 29 年度赤い羽根共同募金について 協議事項(2) 福祉連絡会研修会について	7
4	11 月 27 日	協議事項(1) 平成 29 年度歳末たすけあい運動について 協議事項(2) 地区福祉委員会について	7
5	平成 30 年 3 月 14 日	協議事項(1) 地区福祉委員会について	7

人財（人事労務管理）

◇職員研修

実施日	参加者	内容
平成 29 年 8 月 9 日	主任級以上	・学習会 「組織経営基盤の強化（組織経営基盤計画の意識合わせ）」について 「職場全体で取り組む人材育成の仕組みづくりについて」 地域福祉課 吉田明博 課長
平成 30 年 3 月 9 日	正規職員、嘱託職員	・研修 「我が事・丸ごと地域共生社会について」 地域福祉課 吉田明博 課長

◇地域福祉政策研究会

地域福祉の基盤づくりを進めていくための方向性と市町社協が地域福祉のコーディネーターとしての役割を發揮していくための具体的な対応方策について、集中的に協議を行う研究会に委員として参画しました（主催：兵庫県社協）

研究会	全 4 回	作業部会	全 3 回
座長	関西学院大学教授 藤井 博志 氏		
委員	社 協／伊丹市、豊岡市、養父市、淡路市、宝塚市 行 政／芦屋市、たつの市 その他／兵庫県、丹波市社会福祉法人、明石市 N P O 伊丹市民生委員児童委員協議会		

◇資格取得の状況

資格名	取得者数(人)
社会福祉士	11
精神保健福祉士	4
介護福祉士	60
看護師	19
介護支援専門員	30
社会福祉主事任用資格	21
福祉用具専門相談員	4
栄養士	4
調理師	11

◇実習指導者資格取得状況

資格名	取得者数(人)
社会福祉士実習指導者	4
介護福祉士実習指導者	9

## 2 財政(健全財政と効率化)

### ■ 会員会費

◇一般会費 年額 1,200 円 総額 8,888,400 円

支部	29 年度	28 年度	比較
八鹿	3,706,800 円 3,089 世帯	3,720,000 円 3,100 世帯	△ 13,200 円 △ 11 世帯
養父	2,481,600 円 2,068 世帯	2,498,400 円 2,082 世帯	△ 16,800 円 △ 14 世帯
大屋	1,309,200 円 1,091 世帯	1,305,600 円 1,088 世帯	3,600 円 3 世帯
関宮	1,390,800 円 1,159 世帯	1,414,800 円 1,179 世帯	△ 24,000 円 △ 20 世帯
合計	8,888,400 円 7,407 世帯	8,938,800 円 7,449 世帯	△ 50,400 円 △ 42 世帯

◇賛助会費 一口 1,000 円 総額 1,256,000 円

支部	29 年度	28 年度	比較
八鹿	299,000 円 88 件	302,000 円 90 件 (87 人)	△ 3,000 円 △ 2 件
養父	126,000 円 47 件	139,000 円 49 件	△ 13,000 円 △ 2 件
大屋	453,000 円 104 件	378,000 円 101 件 (88 人)	75,000 円 3 件
関宮	378,000 円 64 件	324,000 円 69 件	54,000 円 △ 5 件
合計	1,256,000 円 303 件	1,143,000 円 309 件 (293 人)	113,000 円 △ 6 件

◇特別会費 一口 1,000 円 総額 401,000 円

支部	29 年度	28 年度	比較
八鹿	237,000 円 36 件	271,000 円 40 件	△ 34,000 円 △ 4 件
養父	151,000 円 19 件	174,000 円 23 件	△ 23,000 円 △ 4 件
大屋	13,000 円 3 件	15,000 円 3 件	△ 2,000 円 0 件
関宮	0 円 0 件	13,000 円 2 件	△ 13,000 円 △ 2 件
合計	401,000 円 58 件	473,000 円 68 件	△ 72,000 円 △ 10 件

## ■ 善意銀行事業

### ◇ 金銭預託

内容	件数(件)	金額(円)
香典返し	128	4,070,000
供養	2	60,000
忌明志	3	150,000
善意の寄附	51	471,072
善意の日の寄附	3	42,629
お礼	2	12,000
福祉機器借用お礼	5	19,000
志	1	50,000
バザー等収益金	5	45,796
指定預託	1	108,000
歳末たすけあい指定預託	6	147,776
預金利息	0	0
合計	207	5,176,273

### ◇ 払出

内容	件数(件)	金額(円)
<b>事業費</b> ・ 高齢者保健福祉月間事業お祝い品 ・ 貸出用松葉杖 ・ ランドセルカバー ・ 歳末たすけあい指定預託 ・ 火災見舞金	5	318,961
<b>事務費</b> ・ 広報紙「かけはし」印刷代 ・ 広報紙「かけはし」図書カード ・ 善意の日啓発グッズ ・ 児童月間・老人月間ポスター ・ 4地域夏まつり協賛金 ・ 物品寄附申込書印刷 ・ 線香	7	358,988
<b>助成金</b> ・ 但馬地区里親会	1	12,000
拠点区分間繰入金	1	3,000,000
合計	14	3,689,949

### ◇ 物品預託

支部受付	寄附件数	内容
八鹿	82件	福祉用具…スライディングボード、シャワーチェア、車いす シルバーカーなど
養父	28件	電気器具…テレビ、電子レンジ、扇風機、炊飯器、たこ焼器 トースター、電気ポットなど
大屋	70件	食料品…米、野菜、菓子、お茶、くだものなど
関宮	92件	生活・文化用品…紙おむつ、衣類、寝具、タオル類、ゴミ袋 座布団、医療用品、洗剤、文具、調理用具 食器など
合計	272件	



- 新入生入学祝い品ランドセルカバーの贈呈事業  
市内のランドセルカバーの贈呈人数は 162 人でした。

■善意の日啓発事業

支部	場所	内容
八鹿	養父市役所本庁舎、福祉の杜ほか	善意の日啓発募金活動
大屋	大屋地域局周辺グリーンベルト	大屋民生委員児童委員協議会による清掃活動
	大屋こども園周辺の農道や河川	大屋こども園園児によるゴミ拾い
関宮	関宮ふれあいの郷	ボランティアによる草取り等奉仕作業

### 3 事業

■地域福祉推進計画

第2次地域福祉推進計画の進行管理を行うとともに第4次地域福祉計画（行政計画）との策定年度統一の働きかけを行いました。

■広報紙「かけはし」の発行

No.	発行月	主な内容
154	4月	平成29年度事業の方針と予算 評議員を新たに選任
155	5月	平成29年度養父市社会福祉協議会一般会費にご協力お願いします 職員配置
156	6月	これからも住み慣れた地域で健やかに 高齢者相談センターを開設
157	7月	平成28年度事業報告・決算報告
158	8月	新体制でスタート（理事・監事、評議員、評議員選任・解任委員、支部運営委員の紹介）
159	9月	インタビューボランティア活動に一步踏み出して（佐藤正己氏） 平成29年度ボランティアグループ一覧
160	10月	福祉連絡会研修会 高齢者保健福祉月間事業(最高齢夫婦)、しあわせフェスタ2017案内
161	11月	しあわせフェスタ2017、歳末たすけあい運動
162	12月	生活支援コーディネーターNo.2 第5回町内・集落福祉全国サミット、一般会費報告
163	1月	ふくしのまちへ新しい風、会長新年のあいさつ
164	2月	筏区福祉連絡会の取り組み(宍粟市社協視察)、赤い羽根共同募金報告、賛助・特別会費報告、古切手収集(H29.2.16~H30.1.15)
165	3月	日常生活自立支援事業 歳末たすけあい運動報告、赤い羽根共同募金報告訂正のお知らせ

■インターネットによる情報発信

ホームページアクセス	29年度アクセス数	3,585件(アクセス数は概数)
	総アクセス数	53,047件(平成30年3月31日現在)
子育てブログの更新	更新数	47件
フェイスブックの活用	投稿数	75件
You Tube(ユーチューブ)	アクセス数	160件

■しあわせフェスタ 2017 ～つなげよう笑顔の輪～

月日	内容	場所	参加者
10月28日	<p><b>オープニングセレモニー</b>                      オープニングコーラス「こころの花ばたけ」                      式典 表彰伝達                      映像で紹介「つなげようボランティアの輪」                      オープニングコンサート「養父小学校金管バンドクラブ」</p> <p><b>パネル展示コーナー</b>                      ボランティアグループ活動紹介</p> <p><b>バザーコーナー・赤い羽根マルシェ</b>                      カフェ・バス (HABATAKE Sweets Cafe)                      フランクフルト (さつき福祉会)                      餅、漬物ほか特産品 (出合校区協議会)                      豚汁 (ほっとハート)                      焼きそば (おだきさん家の八鹿豚)                      米粉たこやき (もっちりたこ焼き)                      八鹿豚丼 (カフェレストランベリッタ)                      唐揚げ、炊き込みごはん (喫茶 With)</p> <p><b>ボランティア体験コーナー</b>                      話してみよう「手話」(八鹿手話サークル)                      打ってさわって「点字」(点訳ボランティアあかり)                      季節の「絵手紙」(さくら会)</p> <p><b>啓発・相談コーナー</b>                      認知症啓発コーナー (養父市地域包括支援センター)                      DVD 上映「認知症と向き合う」(認知症の人と家族の会)                      コープこうべ活動紹介ブース (コープこうべ)                      おもいやりらんど ※アロマセラピー、介護体験などはたらくるま (福祉版)</p> <p><b>参加型お楽しみコーナー・パフォーマンス</b>                      スティールパン演奏「Big Roof Panz」                      つながりアート「しあわせの輪」                      プレーパーク</p> <p><b>エンディングセレモニー</b>                      エンディング ダンスライブ「えむきっど」                      お楽しみ抽選会</p>	養父市立 公民館・ ビバホール	約 500 人

## 赤い羽根共同募金事業

### 1 平成 29 年度共同募金実績

目標額	実績額
7,561,000 円	7,131,725 円

※平成 30 年度、地区福祉事業配分金として実績額の約 92%が養父市の福祉活動のために使われます

### 2 共同募金配分金

共同募金地域福祉事業配分金(受配額)

29 年度共同募金配分額	6,966,000 円
--------------	-------------

◇平成 29 年度共同募金配分金充当事業一覧

区 分	金額 (単位: 円)
高齢者支援	1,031,875
給食サービス	446,680
ふれあい郵便	242,158
ひとり暮らし高齢者のつどい	141,063
認知症カフェ、認知症啓発映画会	51,974
老人クラブ連合会支援	150,000
障害児・者支援	239,000
身体障害者福祉会支援	174,000
手をつなぐ育成会支援	30,000
手をつなぐ育成会「希望の旅」助成	35,000
児童・青少年支援	202,212
福祉教育活動支援	172,212
子ども会育成連絡協議会支援	30,000
課題を抱える人の支援	353,470
無料法律相談	233,470
くらしの法律相談	120,000
地域福祉全般	5,089,701
小地域福活動(福祉委員活動)	2,369,421
ボランティアグループ活動支援	902,000
しあわせフェスタ 2017	348,898
広報活動※	1,096,901
権利擁護セミナー	48,941
手話教室	32,670
点字教室	13,476
傾聴ボランティア養成講座	1,394
婦人共励会活動支援	52,000
民生委員・児童委員活動支援(調査費)	224,000
災害対応・防災	49,742
災害ボランティア養成講座	49,742
合 計	6,966,000

※広報費支出 2,031,509 円のうち 1,096,901 円を共同募金から支出

### 3 期間拡大募金

「災害用資機材の購入」をテーマに、募金運動期間を1月～3月の3か月間拡大して実施しました。募金目標額320,000円に対し282,953円のご寄付をいただきました。

募金方法内訳	金額 (円)	件数・回数
街頭募金	1,400	延べ実施回数 1回
職域募金	27,423	協力職域数 4件
イベント募金	10,566	実施回数 1回
個人募金	218,260	募金件数 100件
ふるさとサポート募金	9,700	募金件数 3件
その他の募金	15,604	募金件数 5件
実績額合計	282,953	

## 歳末たすけあい運動実績報告

### 1 家事援助サービス

- (1) 実施世帯数 12世帯 (※昨年度申し込み 13世帯、最終実績数 13世帯)  
 (2) 地域別内訳

(単位：件)

地域	29年度		28年度		増減
	申込	最終実績	申込	最終実績	
八鹿	6	5	3	3	2
養父	8	8	8	8	0
大屋	1	1	0	0	1
関宮	2	2	2	2	0
合計	17	16	13	13	3

### 2 年末灯油配達サービス ※平成29年度新規事業

- (1) 実施世帯数 70世帯  
 (2) 地域別内訳

(単位：件)

地域	29年度	
	申込	最終実績
八鹿	38	37
養父	3	3
大屋	7	6
関宮	24	24
合計	72	70

### 3 市内障害者通所施設訪問 ※平成29年度新規事業

- (1) 訪問施設数 9施設  
 ・たんぼぼワーク ・第2ドリームワークス ・オンサルデ ・ドリームワークス  
 ・さわらびライフ ・ことびきライフ ・おおやワーク ・ポランピアライフ  
 ・おおやライフ

#### 4 ひとり親家庭等ランドセル購入助成事業

※平成 29 年度新規事業

- (1) 実施世帯数 2 世帯  
 (2) 地域別内訳

地域	29 年度	
	最終実績 (件)	
八 鹿	1	
養 父	0	
大 屋	0	
関 宮	1	
合 計	2	

#### 5 子育てサロン事業

- (1) 申請サロン数 5 サロン (昨年度実績 5 サロン)  
 ・NPO 法人 りとるめいと ・子育てサロン高柳 ・子育てサロン伊佐  
 ・子育てサロン「そよ風」サポーター ・手作り広場 ほわほわ

#### 6 見舞金贈呈事業

##### ■要援護世帯

- 1 対象世帯 89 世帯 135 人 (※昨年度…78 世帯 120 人)  
 2 地域別内訳

地域	29 年度		28 年度		増減	
	世帯	人数	世帯	人数	世帯	人数
八 鹿	41 世帯	59 人	39 世帯	60 人	2 世帯	△ 1 人
養 父	23 世帯	34 人	18 世帯	25 人	5 世帯	9 人
大 屋	5 世帯	9 人	6 世帯	10 人	△ 1 世帯	△ 1 人
関 宮	20 世帯	33 人	15 世帯	25 人	5 世帯	8 人
合 計	89 世帯	135 人	78 世帯	120 人	11 世帯	15 人

##### ■障がい者 (児)

- 1 対象者 ※平成 29 年度 事業廃止 (※昨年度…77 人)

##### 2 施設別内訳

施設名	29 年度	28 年度
おおやワーク		11 人
たんぼぼワーク		11 人
和生園		2 人
第 2 和生園		1 人
多機能型事業所 R a k u R a k u (出石精和園)	廃	1 人
ドリームワークス		49 人
あさごふれあいの郷あさひ (旧あさひ作業所)	止	1 人
ライフステーション (旧ワークホーム大地)		—
ロマンハウス		—
総合支援センターひまわり		1 人
合 計		77 人

## 7 年未年始地域ふれあい事業について

(1) 実施行政区数 96 地区 (※昨年度 95 地区)

(2) 地域別内訳

地域	29 年度			28 年度 実施区	増減
	実施区	行政区	申請率		
八 鹿	34	66	52%	36	△ 2
養 父	24	40	60%	23	1
大 屋	20	23	87%	20	0
関 宮	18	34	53%	16	2
合 計	96	163	59%	95	1

(3) 対象項目 A ふれあい交流事業 95 区

B 学習事業 1 区

(4) 申請履歴 A はじめて 2 区

B 2 回目以上 94 区

(5) 事業の種類 A 新しい事業 4 区

B 今まで実施していた事業 14 区

C 歳末の地域ふれあい事業から実施 78 区

## 8 レクリエーション用品の購入

※平成 29 年度新規事業

(1) 購入物品品目 7 品目

・シャッフル&ゴルフセット ・安全ソフトダーツ ・開運お手玉ボード

・公式ワナゲ用リング ・釣りっこ ・点鳥ルーレット ・ふらばーる ・回想かるた

## 9 決算報告

◇収入

【単位：円】

区分	29 年度	28 年度	差異	備考
戸別募金	2,770,065	2,791,440	△ 21,375	6,877 世帯
その他	147,776	59,700	88,076	歳末たすけあい指定預託等
繰越金	46,087	25,269	20,818	前期繰越金 46,087 円
合 計	2,963,928	2,876,409	87,519	

◇支出

【単位：円】

区分	29 年度	28 年度	増減	備考
家事援助サービス	78,000	65,000	13,000	16 世帯
年末灯油配達サービス	190,689	—	190,689	70 世帯
市内障害者施設訪問	75,400	—	75,400	9 施設
ひとり親家庭等ランドセル購入助成事業	40,000	—	40,000	2 世帯
子育てサロン事業	45,186	47,446	△ 2,260	5 サロン
見舞金贈呈事業 要援護者(児)世帯	675,000	600,000	75,000	@5,000×135 人
障がい者(児)	—	385,000	△ 385,000	
年未年始地域ふれあい事業	1,368,000	1,342,000	26,000	96 行政区
レクリエーション用品購入	193,910	—	193,910	8 種類
配分経費(事務費)	92,049	90,876	1,173	事務用消耗品、通信運搬費等
繰越金	108,619	46,087	62,532	次年度繰越金
地域福祉事業費配分充当金	97,075	300,000	△ 202,925	
合 計	2,963,928	2,876,409	87,519	

# 平成 29 年度決算報告

- ◇平成 29 年度決算の概要
  - ◇資金収支計算書（第 1 号の 1 様式）
  - ◇資金収支内訳表（第 1 号の 3 様式）
  - ◇事業活動計算書（第 2 号の 1 様式）
  - ◇事業活動内訳表（第 2 号の 3 様式）
    - ◇貸借対照表（第 3 号の 1 様式）
- ◇財務諸表に対する注記（法人全体用）
  - ◇基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細表
    - ◇寄附金収益明細書
    - ◇補助金事業等収益明細書
- ◇事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書
  - ◇基本金明細書
- ◇国庫補助金等特別積立金明細書
  - ◇積立金・積立資産明細書
  - ◇引当金明細書
  - ◇財産目録

## 監事監査報告書

- ◇監査報告書
- ◇監査報告について





平成29年度決算の概要  
 (社会福祉法人養父市社会福祉協議会)

平成30年3月31日 現在

I. 貸借対照表の状況

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率
総資産	537,324,385円	473,115,128円	64,209,257円	113.6%
総負債	225,237,772円	225,147,121円	90,651円	100.0%
純資産	312,086,613円	247,968,007円	64,118,606円	125.9%

\*前年度(H28)末対比で、総資産113.6%、総負債100.0%、純資産125.9%となっている

\*資産の主要科目増減では、現金預金が21,238,401円増、事業未収金(主に介護保険収入)が1,806,492円増、建物が316,123円減(減価償却分)、車両運搬具が2,007,827円減(廃車、減価償却分)、器具及び備品が1,292,991円減(減価償却分)、全社協退職給付引当資産が8,048,210円減、財政調整基金積立資産12,060,544円減(基金の取崩しによる)、故関本勢以子さん所有の山林(399㎡)の評価額5,253円(所有権移転手続き…H29.12.07)を土地資産として計上、遺贈金を地域福祉基金積立資産として計上したことから、63,716,224円増となっている

\*負債の主要科目増減では、事業未払金が3,566,446円増、職員預り金が2,236,173円増、全社協退職給付引当金が8,092,170円減、県社協退職給付引当金が2,284,552円増となっている。リース資産の対応負債として、1年以内返済予定リース債務(流動負債)612,992円増、リース債務(固定負債)447,888円減となっている

◆要約貸借対照表

単位 円

科目	本年度末	総資産比	前年度末	増減	増減率
流動資産	146,290,722	27.2%	122,848,151	23,442,571	119.1%
固定資産	391,033,663	72.8%	350,266,977	40,766,686	111.6%
資産合計	537,324,385	—	473,115,128	64,209,257	113.6%
流動負債	36,065,026	6.7%	29,718,869	6,346,157	121.4%
固定負債	189,172,746	35.2%	195,428,252	△ 6,255,506	96.8%
負債合計	225,237,772	—	225,147,121	90,651	100.0%
純資産	312,086,613	58.1%	247,968,007	64,118,606	125.9%
負債・純資産合計	537,324,385	—	473,115,128	64,209,257	113.6%

\*流動資産 - 流動負債 + 賞与引当金(5,484,134円) + 1年以内返済予定リース債務(3,390,603円) = 当期末支払資金残高 119,100,433円

II. 事業活動計算書の状況

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率
総収益	536,548,849円	476,421,948円	60,126,901円	112.6%
総費用	471,803,798円	486,365,062円	-14,561,264円	97.0%
当期増減差額	64,745,051円	-9,943,114円	74,688,165円	—

\*総収益は前年度比112.6%、総費用は同97.0%となっている

\*サービス活動増減の部における収益のうち、故関本勢以子さんの遺贈金を拝受し、寄附金収益が73,426,168円増となっている。市受託金収益で、高齢者相談センター(2地域)の受託と関宮地域の通所型機能向上サービス基準利用者の増により7,850,850円増となっている。

事業収益は1,618,570円減(主に給食サービス・移送サービス利用の減)、介護保険事業収益は1,905,159円減となっている

\*サービス活動増減の部における費用のうち、人件費 11,212,894円減、事業費 1,739,238円減、事務費 1,215,130円減となっている

◆要約事業活動計算書

単位 円

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率	
サービス活動増減	収益	535,108,853	473,530,262	61,578,591	113.0%
	費用	471,577,645	486,204,898	△ 14,627,253	97.0%
	増減差額	63,531,208	△ 12,674,636	76,205,844	—
サービス活動外増減	収益	438,743	553,687	△ 114,944	79.2%
	費用	226,144	160,164	65,980	141.2%
	増減差額	212,599	393,523	△ 180,924	54.0%
経常増減差額	63,743,807	△ 12,281,113	76,024,920	—	
特別増減	収益	1,001,253	2,337,999	△ 1,336,746	42.8%
	費用	9	0	9	—
	増減差額	1,001,244	2,337,999	△ 1,336,755	42.8%
当期活動増減差額	64,745,051	△ 9,943,114	74,688,165	—	
前期繰越活動増減差額	92,305,446	90,904,400	1,401,046	101.5%	
当期末繰越活動増減差額	157,050,497	80,961,286	76,089,211	194.0%	
積立金取崩額	58,345,525	11,347,182	46,998,343	514.2%	
積立金積立額	110,001,205	3,022	109,998,183	3640013.4%	
次期繰越活動増減差額	105,394,817	92,305,446	13,089,371	114.2%	

III. 資金収支計算書の状況

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率
総収入	630,906,755円	532,828,882円	98,077,873円	118.4%
総支出	613,178,953円	541,319,824円	71,859,129円	113.3%
当期資金収支差額	17,727,802円	-8,490,942円	26,218,744円	—

単位 円

H29補正後予算	執行率
491,937,000	128.2%
484,263,000	126.6%
7,674,000	—

◆要約資金収支計算書

単位 円

科目	本年度末	前年度末	増減	増減率	
事業活動収支	収入	535,547,596	474,083,949	61,463,647	113.0%
	支出	486,323,317	524,420,088	△ 38,096,771	92.7%
	収支差額	49,224,279	△ 50,336,139	99,560,418	—
施設整備等収支	収入	1,005,390	2,338,000	△ 1,332,610	43.0%
	支出	5,408,431	4,502,848	905,583	120.1%
	収支差額	△ 4,403,041	△ 2,164,848	△ 2,238,193	—
その他の活動収支	収入	94,353,769	56,406,933	37,946,836	167.3%
	支出	121,447,205	12,396,888	109,050,317	979.7%
	収支差額	△ 27,093,436	44,010,045	△ 71,103,481	—
予備費支出	0	0	0	—	
当期資金収支差額	17,727,802	△ 8,490,942	26,218,744	—	
前期末支払資金残高	101,372,631	109,863,573	△ 8,490,942	92.3%	
当期末支払資金残高	119,100,433	101,372,631	17,727,802	117.5%	

単位 円

H29補正後予算	執行率
472,275,000	113.4%
468,115,000	103.9%
4,160,000	—
996,000	100.9%
4,805,000	112.6%
△ 3,809,000	—
51,666,000	182.6%
44,343,000	273.9%
7,323,000	—
500,000	—
7,174,000	—
101,373,000	100.0%
108,547,000	109.7%

資金収支計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	会費収入	11,400,000	10,545,400	854,600	
	一般会費収入	9,000,000	8,888,400	111,600	7,407世帯×1,200円
	賛助会費収入	2,400,000	1,657,000	743,000	賛助 1,256千円、特別 401千円
	寄附金収入	5,160,000	78,485,042	△73,325,042	
	一般寄附金収入	0	73,308,769	△73,308,769	故関本勢以子氏遺贈金
	善意銀行寄附金収入	5,160,000	5,176,273	△16,273	寄附件数 206件
	経常経費補助金収入	25,272,000	25,493,841	△221,841	
	都道府県補助金収入	500,000	500,000	0	
	補助金収入	500,000	500,000	0	子どもの冒険ひろば補助金
	市区町村補助金収入	11,980,000	11,980,000	0	
	補助金収入	11,980,000	11,980,000	0	移送、福祉活動専門員設置費ほか
	その他の補助金収入	3,130,000	3,130,000	0	
	その他の補助金収入	3,130,000	3,130,000	0	生活福祉資金体制整備事業ほか
	共同募金配分金収入	9,662,000	9,883,841	△221,841	
	一般募金配分金収入	6,875,000	6,966,000	△91,000	H28 配分金
	歳末たすけあい配分金収入	2,787,000	2,917,841	△130,841	歳末たすけあい運動
	受託金収入	58,992,000	59,868,700	△876,700	
	市区町村受託金収入	57,151,000	58,171,750	△1,020,750	
	受託金収入	57,151,000	58,171,750	△1,020,750	生活支援C〇設置業務ほか
	都道府県社協受託金収入	1,841,000	1,696,950	144,050	
	受託金収入	1,841,000	1,696,950	144,050	日常生活自立支援事業ほか
	事業収入	14,939,000	13,112,565	1,826,435	
	参加費収入	1,508,000	1,133,798	374,202	介護者の会、ひとり暮らしのつどいほか
	利用料収入	9,131,000	8,357,405	773,595	
	利用料収入	8,821,000	8,093,405	727,595	給食、移送、サロン利用料ほか
	登録料収入	310,000	264,000	46,000	移送登録料
	賃貸料収入	1,305,000	1,196,850	108,150	保険外福祉用具利用料
	手数料収入	20,000	28,000	△8,000	指定ごみ袋販売手数料
	介護用品斡旋収入	2,975,000	2,396,512	578,488	介護用品斡旋
	介護保険事業収入	335,435,000	325,258,846	10,176,154	
	居宅介護料収入	260,774,000	256,411,543	4,362,457	
	(介護報酬収入)	231,926,000	228,670,140	3,255,860	
	介護報酬収入	214,703,000	214,149,391	553,609	介護報酬収入
	介護予防報酬収入	17,223,000	14,520,749	2,702,251	介護予防報酬収入
	(利用者負担金収入)	28,848,000	27,741,403	1,106,597	
	介護負担金収入(公費)	331,000	453,983	△122,983	利用者負担金(生活保護)
	介護負担金収入(一般)	26,519,000	25,468,638	1,050,362	利用者負担金
	介護予防負担金収入(公費)	96,000	231,709	△135,709	介護予防利用者負担金(生活保護)
	介護予防負担金収入(一般)	1,902,000	1,587,073	314,927	介護予防利用者負担金
	居宅介護支援介護料収入	63,026,000	58,350,050	4,675,950	
	居宅介護支援介護料収入	58,794,000	52,900,950	5,893,050	居宅介護支援介護料収入
	介護予防支援介護料収入	4,232,000	5,449,100	△1,217,100	介護予防支援介護料収入
	利用者等利用料収入	11,635,000	10,497,253	1,137,747	
	食費収入(一般)	11,498,000	10,438,400	1,059,600	通所介護事業 給食費
	その他の利用料収入	137,000	58,853	78,147	区域外交通費、キャンセル料
	障害福祉サービス等事業収入	15,801,000	16,026,204	△225,204	
自立支援給付費収入	11,341,000	11,628,308	△287,308		
介護給付費収入	8,354,000	7,246,838	1,107,162	居宅介護事業給付金	
計画相談支援給付費収入	2,987,000	4,381,470	△1,394,470	相談支援事業給付金	
利用者負担金収入	50,000	21,746	28,254	居宅介護事業利用者負担金	
その他の事業収入	4,410,000	4,376,150	33,850		
受託事業収入	4,405,000	4,371,050	33,950	障害者相談支援、移動支援	
その他の事業収入	5,000	5,100	△100	移動支援事業利用者負担金	
受取利息配当金収入	36,000	55,849	△19,849		
その他の収入	5,240,000	6,701,149	△1,461,149		
受入研修費収入	100,000	103,184	△3,184		
雑収入	5,140,000	6,597,965	△1,457,965		
退職手当積立基金預け金差益	3,788,000	4,376,440	△588,440	退職手当預け金差益	
自動販売機売上収入	416,000	279,710	136,290	自動販売機売上金	
雑収入	936,000	1,941,815	△1,005,815	費用弁償受入れ、保険金ほか	
事業活動収入計(1)	472,275,000	535,547,596	△63,272,596		

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
支出	人件費支出	343,843,000	369,322,762	△25,479,762	
	役員報酬支出	2,074,000	1,761,973	312,027	役員(理事・監事)報酬
	職員給料支出	173,075,000	175,806,500	△2,731,500	常勤職員 給料、諸手当
	職員賞与支出	35,928,000	35,866,435	61,565	常勤職員 賞与
	非常勤職員給与支出	72,341,000	76,366,532	△4,025,532	非常勤 給料、諸手当、賞与
	派遣職員費支出	503,000	509,067	△6,067	運転業務派遣ほか
	退職給付支出	22,408,000	40,217,582	△17,809,582	全社協、県社協退職給付
	法定福利費支出	37,514,000	38,794,673	△1,280,673	社会保険料ほか
	事業費支出	67,342,000	65,265,670	2,076,330	
	諸謝金支出	719,000	552,534	166,466	講師謝金、謝礼ほか
	旅費交通費支出	1,249,000	866,000	383,000	配食V活動費、講師旅費ほか
	給食費支出	10,915,000	9,688,655	1,226,345	通所給食材料費ほか
	保健衛生費支出	1,016,000	2,023,979	△1,007,979	福祉用具洗浄消毒料ほか
	医療費支出	0	9,600	△9,600	利用者事故に伴う受診料
	教養娯楽費支出	433,000	357,818	75,182	介護者の会昼食、新聞購読料ほか
	水道光熱費支出	12,342,000	12,584,162	△242,162	電気、ガス、水道料金
	燃料費支出	1,077,000	1,237,619	△160,619	灯油代
	消耗器具備品費支出	3,838,000	2,885,364	952,636	事業消耗器具備品費
	保険料支出	1,158,000	1,428,430	△270,430	車輛任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料支出	20,819,000	17,594,854	3,224,146	車輛リース、会場使用料ほか
	車輛費支出	10,011,000	12,757,917	△2,746,917	車輛管理費、車輛燃料代
	斡旋介護用品購入支出	2,660,000	2,097,273	562,727	介護用品購入費用
	給付金支出	1,105,000	983,689	121,311	歳末たすけあい見舞金ほか
	雑支出	0	197,776	△197,776	歳末たすけあい指定預託払出
	事務費支出	50,976,000	45,657,794	5,318,206	
	福利厚生費支出	978,000	708,240	269,760	健康診断、予防接種ほか
	職員被服費支出	681,000	642,156	38,844	職員活動着
	旅費交通費支出	5,463,000	5,264,334	198,666	出張旅費ほか
	研修研究費支出	823,000	835,124	△12,124	研修参加費
	事務消耗品費支出	2,863,000	2,330,464	532,536	事務消耗品費
	印刷製本費支出	4,446,000	3,550,497	895,503	資料・封筒等印刷経費
	水道光熱費支出	4,438,000	4,272,751	165,249	電気、ガス、水道料金
	燃料費支出	543,000	688,876	△145,876	A重油ほか
	修繕費支出	1,361,000	610,047	750,953	特殊浴槽、温水器ほか修理
	通信運搬費支出	6,192,000	5,132,422	1,059,578	電話料金、郵券料ほか
	会議費支出	24,000	6,714	17,286	会議用お茶ほか
	広報費支出	2,401,000	2,031,509	369,491	かけはし発行、チラシ折込み
	業務委託費支出	7,939,000	6,954,392	984,608	施設警備、公認会計士委託料ほか
	手数料支出	634,000	583,369	50,631	口座振替、書類発行手数料
	保険料支出	1,140,000	1,465,940	△325,940	車輛任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料支出	4,066,000	3,334,723	731,277	車輛、OA機器リースほか
	土地・建物賃借料支出	3,002,000	3,019,330	△17,330	福祉の杜、駐車場賃借料ほか
	租税公課支出	1,619,000	2,008,400	△389,400	福祉用具貸与事業消費税ほか
	保守料支出	1,279,000	951,696	327,304	事務機器保守料
	渉外費支出	150,000	111,986	38,014	慶弔交際費
	諸会費支出	134,000	134,000	0	県老協、老協協、ヘルパー協ほか
	雑支出	800,000	1,020,824	△220,824	受入費用弁償支払ほか
	共同募金配分金事業費支出	150,000	229,607	△79,607	
	歳末たすけあい配分金事業支出	0	70,000	△70,000	歳末たすけあい 事務費
	返還金支出	150,000	159,607	△9,607	歳末たすけあい 返還金
	分担金支出	186,000	185,000	1,000	
	分担金支出	186,000	185,000	1,000	県社協分担金
助成金支出	5,545,000	5,399,000	146,000		
助成金支出	5,545,000	5,399,000	146,000		
各種団体助成金支出	5,545,000	5,399,000	146,000	歳末ふれあい事業、V活動助成金ほか	
負担金支出	27,000	17,000	10,000		
負担金支出	27,000	17,000	10,000	全社協地域福祉推進委員会	
支払利息支出	0	208,284	△208,284	リース債務支払利息	
その他の支出	46,000	38,200	7,800		
雑支出	46,000	38,200	7,800		
退職手当積立金預け金差損	46,000	28,810	17,190	退職手当預け金差損	
雑支出	0	9,390	△9,390	車輛リサイクル料	
事業活動支出計(2)	468,115,000	486,323,317	△18,208,317		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,160,000	49,224,279	△45,064,279		
施設整備	収入				
	施設整備等補助金収入	996,000	996,000	0	
	施設整備等補助金収入	996,000	996,000	0	2017年度年賀寄附金配分金
	固定資産売却収入	0	9,390	△9,390	
車輛運搬具売却収入	0	9,390	△9,390	車輛リサイクル料	

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考		
等による収支	施設整備等収入計(4)	996,000	1,005,390	△9,390			
	支出	固定資産取得支出	1,662,000	2,065,675	△403,675		
		建物取得支出	0	194,000	△194,000	ガス給湯器	
		車両運搬具取得支出	1,662,000	1,863,425	△201,425	2017年度年賀寄附金配分金	
		その他の固定資産取得支出	0	8,250	△8,250	車両リサイクル料	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	3,143,000	3,342,756	△199,756	ファイナンスリース支払	
	施設整備等支出計(5)	4,805,000	5,408,431	△603,431			
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△3,809,000	△4,403,041	594,041			
	その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	18,666,000	77,148,787	△58,482,787	
			退職給付引当資産取崩収入	18,666,000	18,803,262	△137,262	退職給付引当金取崩
地域福祉基金積立資産取崩収入			0	46,283,776	△46,283,776	地域福祉基金取崩	
その他の積立資産取崩収入			0	12,061,749	△12,061,749	財政調整基金取崩	
拠点区分間繰入金収入			33,000,000	31,000,000	2,000,000	地域福祉、ボランティア、介護予防事業	
その他の活動による収入		0	17,204,982	△17,204,982			
その他の活動収入計(7)		18,666,000	94,353,769	△75,687,769			
支出		積立資産支出	11,343,000	121,447,205	△110,104,205		
		退職給付引当資産支出	11,339,000	11,446,000	△107,000	退職積立基金掛金	
		財政調整基金積立資産支出	4,000	1,205	2,795	定期預金利息分	
	地域福祉基金積立資産支出	0	110,000,000	△110,000,000	地域福祉基金積立		
	拠点区分間繰入金支出	33,000,000	31,000,000	2,000,000	善意銀行、介護保険事業		
その他の活動支出計(8)	11,343,000	121,447,205	△110,104,205				
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	7,323,000	△27,093,436	34,416,436				
予備費支出(10)	500,000	0	500,000				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,174,000	17,727,802	△10,553,802				
前期末支払資金残高(12)		101,373,000	101,372,631	369			
当期末支払資金残高(11)+(12)		108,547,000	119,100,433	△10,553,433			



## 事業活動計算書

( 自 平成29年 4月 1日 至 平成30年3月31日 )

法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サー ビス 活動 増減 の 部	収益	会費収益	10,545,400	10,554,800	△9,400	
		一般会費収益	8,888,400	8,938,800	△50,400	7,407世帯×1,200円
		賛助会費収益	1,657,000	1,616,000	41,000	賛助 1,256千円、特別 401千円
		寄附金収益	78,485,042	5,058,874	73,426,168	
		一般寄附金収益	73,308,769	0	73,308,769	故関本勢以子氏
		善意銀行寄附金収益	5,176,273	5,058,874	117,399	寄附件数 206件
		經常経費補助金収益	25,493,841	25,199,409	294,432	
		都道府県補助金収益	500,000	400,000	100,000	
		補助金収益	500,000	400,000	100,000	子どもの冒険ひろば補助金
		市区町村補助金収益	11,980,000	11,980,000	0	
		補助金収益	11,980,000	11,980,000	0	移送、福祉活動専門員設置費ほか
		その他の補助金収益	3,130,000	3,160,000	△30,000	
		補助金収益	3,130,000	3,160,000	△30,000	生活福祉資金体制整備事業ほか
		共同募金配分金収益	9,883,841	9,659,409	224,432	
		一般募金配分金収益	6,966,000	6,854,000	112,000	H28 配分金
		歳末たすけあい配分金収益	2,917,841	2,805,409	112,432	歳末たすけあい運動
		受託金収益	59,868,700	52,164,167	7,704,533	
		市区町村受託金収益	58,171,750	50,320,900	7,850,850	
		受託金収益	58,171,750	50,320,900	7,850,850	生活支援C O設置業務ほか
		都道府県社協受託金収益	1,696,950	1,841,399	△144,449	
		受託金収益	1,696,950	1,841,399	△144,449	日常生活自立支援事業ほか
		事業収益	13,112,565	14,731,135	△1,618,570	
		参加費収益	1,133,798	1,429,970	△296,172	介護者の会、ひとり暮らしのつどいほか
		利用料収益	8,357,405	8,969,375	△611,970	
		利用料収益	8,093,405	8,651,375	△557,970	給食、移送、サロン利用料ほか
		登録料収益	264,000	318,000	△54,000	移送登録料
		賃貸料収益	1,196,850	1,275,450	△78,600	保険外福祉用具利用料
		手数料収益	28,000	19,200	8,800	指定ごみ袋販売手数料
		介護用品斡旋収益	2,396,512	3,037,140	△640,628	介護用品斡旋
		介護保険事業収益	325,258,846	327,164,005	△1,905,159	
		居宅介護料収益	256,411,543	252,871,119	3,540,424	
		(介護報酬収益)	228,670,140	225,196,512	3,473,628	
		介護報酬収益	214,149,391	208,750,683	5,398,708	介護報酬収入
		介護予防報酬収益	14,520,749	16,445,829	△1,925,080	介護予防報酬収入
		(利用者負担金収益)	27,741,403	27,674,607	66,796	
		介護負担金収益(公費)	453,983	325,658	128,325	利用者負担金(生活保護)
		介護負担金収益(一般)	25,468,638	25,430,355	38,283	利用者負担金
		介護予防負担金収益(公費)	231,709	97,226	134,483	介護予防利用者負担金(生活保護)
		介護予防負担金収益(一般)	1,587,073	1,821,368	△234,295	介護予防利用者負担金
		居宅介護支援介護料収益	58,350,050	63,210,870	△4,860,820	
	居宅介護支援介護料収益	52,900,950	59,057,770	△6,156,820	居宅介護支援介護料収入	
	介護予防支援介護料収益	5,449,100	4,153,100	1,296,000	介護予防支援介護料収入	
	利用者等利用料収益	10,497,253	11,082,016	△584,763		
	食費収益(一般)	10,438,400	10,966,200	△527,800	通所介護事業 給食費	
	その他の利用料収益	58,853	115,816	△56,963	区域外交通費、キャンセル料	
	障害福祉サービス等事業収益	16,026,204	16,034,076	△7,872		
	自立支援給付費収益	11,628,308	11,629,046	△738		
	介護給付費収益	7,246,838	7,654,336	△407,498	居宅介護事業給付金	
	計画相談支援給付費収益	4,381,470	3,974,710	406,760	相談支援事業給付金	
	利用者負担金収益	21,746	44,380	△22,634	居宅介護事業利用者負担金	
	その他の事業収益	4,376,150	4,360,650	15,500		
	受託事業収益	4,371,050	4,358,400	12,650	障害者相談支援、移動支援	
	その他の事業収益	5,100	2,250	2,850	移動支援事業利用者負担金	
	その他の収益	6,318,255	22,623,796	△16,305,541		
	その他の収益	6,318,255	22,623,796	△16,305,541		
	退職手当預け金差益	4,376,440	17,999,712	△13,623,272	退職手当預け金差益ほか	
	その他の収益	1,941,815	4,624,084	△2,682,269	費用弁償受入れ、保険金ほか	
	サービス活動収益計(1)	535,108,853	473,530,262	61,578,591		
	費用	346,328,558	357,541,452	△11,212,894		
	役員報酬	1,761,973	1,896,000	△134,027	役員(理事・監事)報酬	
	職員給料	175,806,500	179,771,711	△3,965,211	常勤職員 給料、諸手当	
	職員賞与	30,400,697	31,544,060	△1,143,363	常勤職員 賞与	

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
	非常勤職員給与	76,366,532	70,231,626	6,134,906	非常勤 給料、諸手当、賞与
	派遣職員費	509,067	537,957	△28,890	運転業務派遣ほか
	退職給付費用	17,204,982	29,111,124	△11,906,142	全社協、県社協退職給付
	法定福利費	38,794,673	38,983,236	△188,563	社会保険料ほか
	賞与引当金繰入費用	5,484,134	5,465,738	18,396	H30.6月賞与引当金
	事業費	65,265,670	67,004,908	△1,739,238	
	諸謝金	552,534	587,100	△34,566	講師謝金、謝礼ほか
	旅費交通費	866,000	985,370	△119,370	配食V活動費、講師旅費ほか
	給食費	9,688,655	10,028,302	△339,647	通所給食材料費ほか
	保健衛生費	2,023,979	932,206	1,091,773	福祉用具洗浄消毒料ほか
	医療費	9,600	0	9,600	利用者事故に伴う受診料
	教養娯楽費	357,818	346,783	11,035	介護者の会昼食、新聞購読料ほか
	水道光熱費	12,584,162	12,442,461	141,701	電気、ガス、水道料金
	燃料費	1,237,619	1,083,523	154,096	灯油代
	消耗器具備品費	2,885,364	2,840,588	44,776	事業消耗器具備品費
	保険料	1,428,430	1,132,010	296,420	車輛任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料	17,594,854	20,156,490	△2,561,636	車輛リース、会場使用料ほか
	車輛費	12,757,917	12,467,580	290,337	車輛管理費、車輛燃料代
	斡旋介護用品購入費	2,097,273	2,892,795	△795,522	介護用品購入費用
	給付費	983,689	1,050,000	△66,311	歳末たすけあい見舞金ほか
	雑費	197,776	59,700	138,076	歳末たすけあい指定預託払出
	事務費	45,657,794	46,872,924	△1,215,130	
	福利厚生費	708,240	721,487	△13,247	健康診断、予防接種ほか
	職員被服費	642,156	614,840	27,316	職員活動着
	旅費交通費	5,264,334	4,598,435	665,899	出張旅費ほか
	研修研究費	835,124	358,480	476,644	研修参加費
	事務消耗品費	2,330,464	2,247,856	82,608	事務消耗品費
	印刷製本費	3,550,497	3,784,589	△234,092	資料・封筒等印刷経費
	水道光熱費	4,272,751	4,283,657	△10,906	電気、ガス、水道料金
	燃料費	688,876	545,958	142,918	△重油ほか
	修繕費	610,047	891,243	△281,196	特殊浴槽、温水器ほか修理
	通信運搬費	5,132,422	4,266,720	865,702	電話料金、郵券料ほか
	会議費	6,714	17,546	△10,832	会議用お茶ほか
	広報費	2,031,509	2,329,290	△297,781	かけはし発行、チラシ折込み
	業務委託費	6,954,392	8,444,924	△1,490,532	施設警備、公認会計士委託料
	手数料	583,369	574,711	8,658	口座振替、書類発行手数料
	保険料	1,465,940	1,227,710	238,230	車輛任意保険、総合補償掛金ほか
	賃借料	3,334,723	4,800,412	△1,465,689	車輛、O A機器リース料ほか
	土地・建物賃借料	3,019,330	2,987,365	31,965	福祉の杜、駐車場賃借料ほか
	租税公課	2,008,400	1,704,200	304,200	福祉用具貸与事業消費税ほか
	保守料	951,696	1,230,984	△279,288	事務機器保守料
	渉外費	111,986	95,800	16,186	慶弔交際費
	諸会費	134,000	134,000	0	県老協、老施協、ヘルパー協ほか
	雑費	1,020,824	1,012,717	8,107	受入費用弁償支払ほか
	共同募金配分金事業費	229,607	346,087	△116,480	
	歳末たすけあい配分金事業費	70,000	0	70,000	歳末たすけあい 事務費
	返還金費用	159,607	346,087	△186,480	歳末たすけあい 返還金
	分担金費用	185,000	186,000	△1,000	
	分担金費用	185,000	186,000	△1,000	県社協分担金
	助成金費用	5,399,000	5,674,732	△275,732	
	助成金費用	5,399,000	5,674,732	△275,732	
	各種団体助成金費用	5,399,000	5,674,732	△275,732	歳末ふれあい事業、V活動助成金ほか
	負担金費用	17,000	17,000	0	
	負担金費用	17,000	17,000	0	全社協地域福祉推進委員会
	減価償却費	9,092,651	7,759,718	1,332,933	建物、車輛運搬具、器具及び什器費ほか
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△626,445	△638,737	12,292	車輛運搬具
	その他の費用	28,810	1,440,814	△1,412,004	
	その他の費用	28,810	1,440,814	△1,412,004	
	退職手当積立基金預け金差損	28,810	1,440,814	△1,412,004	退職手当預け金差損
	サービス活動費用計(2)	471,577,645	486,204,898	△14,627,253	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	63,531,208	△12,674,636	76,205,844	
サービ	収益				
ス活動	受取利息配当金収益	55,849	46,731	9,118	預金利息
外増	その他のサービス活動外収益	382,894	506,956	△124,062	
	受入研修費収益	103,184	97,246	5,938	
	雑収益	279,710	409,710	△130,000	
	自動販売機売上金収益	279,710	404,310	△124,600	自動販売機売上金
	雑収益	0	5,400	△5,400	弁償代(ヘッドスリッパ破損)
	サービス活動外収益計(4)	438,743	553,687	△114,944	

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考	
増減の部	費用					
	支払利息	208,284	142,744	65,540		
	その他のサービス活動外費用	17,860	17,420	440		
	雑損失	17,860	17,420	440	車両リサイクル料	
	サービス活動外費用計(5)	226,144	160,164	65,980		
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	212,599	393,523	△180,924		
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	63,743,807	△12,281,113	76,024,920		
特別増減の部	収益					
	施設整備等補助金収益	996,000	1,960,000	△964,000		
	施設整備等補助金収益	996,000	1,960,000	△964,000	2017年度年賀寄附金配分金	
	固定資産受贈額	5,253	0	5,253		
	固定資産受贈額	5,253	0	5,253	山林(故関本勢以子氏遺贈)	
	固定資産売却益	0	377,999	△377,999		
	車両運搬具売却益	0	377,999	△377,999	マイクロバス売却益	
	特別収益計(8)	1,001,253	2,337,999	△1,336,746		
	費用					
	固定資産売却損・処分損	9	0	9		
	車両運搬具売却損・処分損	2	0	2		
	器具及び備品売却損・処分損	7	0	7		
	拠点区分間繰入金費用	31,000,000	10,900,000	20,100,000	善意銀行、介護保険事業	
特別費用計(9)	9	0	9			
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,001,244	2,337,999	△1,336,755		
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	64,745,051	△9,943,114	74,688,165		
繰越活動増減差額の部						
		前期繰越活動増減差額(12)	92,305,446	90,904,400	1,401,046	
		当期活動増減差額(13)=(11)+(12)	157,050,497	80,961,286	76,089,211	
		基本金取崩額(14)	0	0	0	
		その他の積立金取崩額(15)	58,345,525	11,347,182	46,998,343	
		財政調整基金積立金取崩額	12,061,749	11,347,182	714,567	財政調整基金取崩
		地域福祉基金積立金取崩額	46,283,776	0	46,283,776	
		その他の積立金積立額(16)	110,001,205	3,022	109,998,183	
		財政調整基金積立金積立額	1,205	3,022	△1,817	定期預金 受取利息
		地域福祉基金積立金積立額	110,000,000	0	110,000,000	故関本氏地域福祉基金積立
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	105,394,817	92,305,446	13,089,371		





貸借対照表  
平成30年3月31日現在

法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	H30.3月末	H29.3月末	増減		H30.3月末	H29.3月末	増減
流動資産	146,290,722	122,848,151	23,442,571	流動負債	36,065,026	29,718,869	6,346,157
現金預金	76,517,288	55,278,887	21,238,401	短期運営資金借入金	0	0	0
現金	143,250	127,459	15,791	事業未払金	23,736,310	20,169,864	3,566,446
預金	76,374,038	55,151,428	21,222,610	その他の未払金	0	0	0
有価証券	0	0	0	支払手形	0	0	0
事業未収金	68,071,988	66,265,496	1,806,492	1年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0
未収金	0	0	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
未収補助金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	3,390,603	2,777,611	612,992
未収収益	0	0	0	1年以内返済予定事業区分間長期借入金	0	0	0
受取手形	0	0	0	1年以内返済予定拠点区分間長期借入金	0	0	0
貯蔵品	30,400	8,400	22,000	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
医薬品	0	0	0	未払費用	0	0	0
給食用材料	0	0	0	預り金	360,000	447,850	△ 87,850
商品・製品	0	0	0	職員預り金	3,093,979	857,806	2,236,173
立替金	770,938	1,078,526	△ 307,588	前受金	0	0	0
前払金	784,108	140,842	643,266	前受収益	0	0	0
前払費用	0	0	0	事業区分間借入金	0	0	0
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0	拠点区分間借入金	0	0	0
1年以内回収予定事業区分間長期貸付金	0	0	0	仮受金	0	0	0
1年以内回収予定拠点区分間長期貸付金	0	0	0	賞与引当金	5,484,134	5,465,738	18,396
短期貸付金	116,000	76,000	40,000	その他の流動負債	0	0	0
事業区分間貸付金	0	0	0				
拠点区分間貸付金	0	0	0				
仮払金	0	0	0				
その他の流動資産	0	0	0				
徴収不能引当金	0	0	0				
固定資産	391,033,663	350,266,977	40,766,686	固定負債	189,172,746	195,428,252	△ 6,255,506
基本財産	4,000,000	4,000,000	0	設備資金借入金	0	0	0
土地	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
建物	0	0	0	リース債務	8,954,910	9,402,798	△ 447,888
定期預金	4,000,000	4,000,000	0	事業区分間長期借入金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0	拠点区分間長期借入金	0	0	0
その他の固定資産	387,033,663	346,266,977	40,766,686	全社協退職給付引当金	177,457,820	185,549,990	△ 8,092,170
土地	5,253	0	5,253	県社協退職給付引当金	2,760,016	475,464	2,284,552
建物	7,369,289	7,685,412	△ 316,123	長期未払金	0	0	0
構築物	0	0	0	長期預り金	0	0	0
機械及び装置	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
車輛運搬具	8,592,537	10,600,364	△ 2,007,827				
器具及び備品	4,787,221	6,080,212	△ 1,292,991				
建設仮勘定	0	0	0				
有形リース資産	5,991,743	3,990,596	2,001,147	負債の部合計	225,237,772	225,147,121	90,651
権利	0	0	0				
ソフトウェア	0	0	0	純 資 産 の 部			
無形リース資産	6,212,650	8,124,231	△ 1,911,581	基本金	4,000,000	4,000,000	0
投資有価証券	11,200	11,200	0	国庫補助金等特別積立金	885,610	1,512,055	△ 626,445
長期貸付金	0	0	0	その他の積立金	201,806,186	150,150,506	51,655,680
事業区分間長期貸付金	0	0	0	財政調整基金積立金	0	12,060,544	△ 12,060,544
拠点区分間長期貸付金	0	0	0	地域福祉基金積立金	201,806,186	138,089,962	63,716,224
全社協退職給付引当資産	148,443,500	156,491,710	△ 8,048,210	その他の積立金	0	0	0
県社協退職給付引当資産	3,361,984	2,671,036	690,948	次期繰越活動増減差額	105,394,817	92,305,446	13,089,371
財政調整基金積立資産	0	12,060,544	△ 12,060,544	(うち当期活動増減差額)	64,745,051	△ 9,943,114	74,688,165
地域福祉基金積立資産	201,806,186	138,089,962	63,716,224				
その他の積立資産	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	452,100	461,710	△ 9,610	純資産の部合計	312,086,613	247,968,007	64,118,606
資産の部合計	537,324,385	473,115,128	64,209,257	負債及び純資産の部合計	537,324,385	473,115,128	64,209,257

財務諸表に対する注記（法人全体用）  
法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

1. 継続の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券：償却原価法（定額法）によっている。
- ②上記以外の有価証券で時価のあるもの：決算日の市場価格に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産（リース資産を除く）：定額法によっている。
- ②無形固定資産（リース資産を除く）：定額法によっている。

③リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

当法人で採用する退職給付制度は、以下のとおりとなっている。

- (1) 全国社会福祉団体職員退職手当積立基金
- (2) 兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人が作成する財務諸表は以下のとおりとなっている。

- (1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）
- (2) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）
- (3) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
  - ①法人運営事業
    - ・法人運営事業
  - ②共同募金配分金事業
    - ・共同募金配分
    - ・歳末たすけあい募金配分

- ③善意銀行運営事業
  - ・善意銀行
  - ・社会福祉援護資金
- ④地域福祉活動推進事業
  - ・地域福祉（本部）
  - ・地域福祉（養父）
  - ・地域福祉（大屋）
  - ・地域福祉（関宮）
  - ・給食サービス
  - ・移送サービス
  - ・子育て支援
  - ・生活福祉資金
  - ・福祉サービス利用援助
  - ・総合相談
- ⑤ボランティア・市民活動センター運営事業
  - ・ボランティア・市民活動センター(本部)
  - ・ボランティアステーション(養父)
  - ・ボランティアステーション(大屋)
  - ・ボランティアステーション(関宮)
- ⑥介護予防・地域支援事業
  - ・いきいきサロン八鹿
  - ・いきいきサロン「そよ風」
  - ・いきいきサロン大屋
  - ・いきいきサロン関宮
  - ・地域住民グループ支援
- ⑦介護保険事業
  - ・訪問介護
  - ・通所介護（大屋）
  - ・通所介護（関宮）
  - ・訪問入浴介護
  - ・福祉用具貸与
  - ・居宅介護支援
- ⑧障害福祉サービス
  - ・居宅介護
  - ・相談支援
  - ・移動支援
  - ・知的障害児託児所

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容は以下のとおりとなっている。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	4,000,000	0	0	4,000,000
合計	4,000,000	0	0	4,000,000

7. 会計基準第3章第4（4）及び（6）の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

(単位：円)

	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国庫補助金等特別積立金	1,512,055	0	626,445	885,610
合 計	1,512,055	0	626,445	885,610

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は以下のとおりとなっている。

(単位：円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
土地	5,253	0	5,253
建物	10,901,231	3,531,942	7,369,289
車輛運搬具	83,153,002	74,560,465	8,592,537
器具及び備品	35,706,574	30,919,353	4,787,221
有形リース資産	8,112,396	2,120,653	5,991,743
無形リース資産	9,557,921	3,345,271	6,212,650
合 計	147,436,377	114,477,684	32,958,693

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産

の状況を明らかにするための必要事項

該当なし

## 基本財産及びその他の固定資産(有形・無形固定資産)の明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

資産の種類及び名称	期首帳簿価額(A)		当期増加額(B)		当期減価償却額(C)		当期減少額(D)		期末帳簿価額(E=A+B-C-D)		減価償却累計額(F)		期末取得原価(G=E+F)		摘要
	うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		うち国庫補助金等の額		
基本財産(有形固定資産)															
定期預金	4,000,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000	0	
基本財産合計	4,000,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000	0	
その他の固定資産(有形固定資産)															
土地	0	0	5,253	0	0	0	0	0	5,253	0	0	0	5,253	0	
建物	7,685,412	0	194,000	0	510,123	0	0	0	7,369,289	0	3,531,942	0	10,901,231	0	
車輛運搬具	10,600,364	1,512,055	1,863,425	0	3,871,250	626,445	2	0	8,592,537	885,610	74,560,465	4,064,390	83,153,002	4,950,000	
器具及び備品	6,080,212	0	0	0	1,292,984	0	7	0	4,787,221	0	30,919,353	0	35,706,574	0	
有形リース資産	3,990,596	0	3,507,860	0	1,506,713	0	0	0	5,991,743	0	2,120,653	0	8,112,396	0	
その他の固定資産(有形固定資産)計	28,356,584	1,512,055	5,570,538	0	7,181,070	626,445	9	0	26,746,043	885,610	111,132,413	4,064,390	137,878,456	4,950,000	
その他の固定資産(無形固定資産)															
無形リース資産	8,124,231	0	0	0	1,911,581	0	0	0	6,212,650	0	3,345,271	0	9,557,921	0	
その他の固定資産(無形固定資産)計	8,124,231	0	0	0	1,911,581	0	0	0	6,212,650	0	3,345,271	0	9,557,921	0	
基本財産及びその他の固定資産計	36,480,815	1,512,055	5,570,538	0	9,092,651	626,445	9	0	32,958,693	885,610	114,477,684	4,064,390	147,436,377	4,950,000	
将来入金予定の償還補助金の額	40,480,815	1,512,055	5,570,538	0	9,092,651	626,445	9	0	36,958,693	885,610	114,477,684	4,064,390	151,436,377	4,950,000	
差引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差	40,480,815	1,512,055	5,570,538	0	9,092,651	626,445	9	0	36,958,693	885,610	114,477,684	4,064,390	151,436,377	4,950,000	

(注) 1. 「うち国庫補助金等の額」については、設備資金元金償還補助金がある場合には、償還補助金総額を記載した上で、国庫補助金取崩計算を行うものとする。  
 ただし、「将来入金予定の償還補助金の額」欄では、「期首帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」はマイナス表示し、実際に補助金を受けた場合に「当期増加額」の「うち国庫補助金等の額」をプラス表示することにより、「差引」欄の「期末帳簿価額」の「うち国庫補助金等の額」が貸借対照表上の国庫補助金等特別積立金残高と一致することが確認できる。

2. 「当期増加額」には減価償却控除前の増加額、「当期減少額」には当期減価償却額を控除した減少額を記載する。

## 寄附金収益明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

寄附者の属性	区分	件数	寄附金額	うち基本金組入額	寄附金額の拠点区分ごとの内訳	
					法人運営事業	善意銀行運営事業
その他	経常	207	78,485,042	0	73,308,769	5,176,273
区分小計		207	78,485,042	0	73,308,769	5,176,273
合計		207	78,485,042	0	73,308,769	5,176,273

(単位：円)

(注) 1. 寄附者の属性の内容は、法人役員、利用者本人、利用者の家族、取引業者、その他とする。

2. 「寄附金額」欄には、寄附物品を含めるものとする。「区分欄」には、経常経費寄附金収益の場合は「経常」、長期運営資金借入金元金償還寄附金収益の場合は「償還」、固定資産受贈額の場合は「固定」と、寄附金の種類がわかるように記入すること。

3. 「寄附金額」の「区分小計」欄は、拠点区分事業活動計算書の勘定科目の金額と原則として一致するものとする。また、「寄附金額の拠点区分ごとの内訳」の「区分小計」欄は、拠点区分事業活動計算書の勘定科目の金額と原則として一致するものとする。

**補助金事業等収益明細書**

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	補助金事業に係る利用者からの取益	交付金額等合計	うち国庫補助金等特別積立金額	交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳			
						法人運営事業	共同募金配分金事業	地域福祉活動推進事業	ボランティア・市民活動センター運営事業
兵庫県/子どもの冒険ひろば事業	県	500,000	60,040	560,040	0	0	560,040	0	0
区分 小計		500,000	60,040	560,040	0	0	560,040	0	0
養父市/子どもの冒険ひろば事業	市	400,000	0	400,000	0	0	400,000	0	0
養父市/地域福祉活動専門員設置費		4,500,000	0	4,500,000	0	0	4,500,000	0	0
養父市/福祉有償運送事業		5,000,000	2,296,800	7,296,800	0	0	7,296,800	0	0
養父市/結婚相談事業		580,000	0	580,000	0	0	580,000	0	0
養父市/ボランティアセンター運営事業		1,500,000	69,400	1,569,400	0	0	0	1,569,400	0
区分 小計		11,980,000	2,366,200	14,346,200	0	0	12,776,800	1,569,400	0
県社協/生活福祉資金貸付事業	県社協	2,130,000	0	2,130,000	0	0	2,130,000	0	0
県社協/災害ボランティア活動サポート事業		1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0
区分 小計		3,130,000	0	3,130,000	0	0	2,130,000	1,000,000	0
県共募/一般募金配分金	県共募	6,966,000	0	6,966,000	0	0	6,966,000	0	0
県共募/歳末たすけあい運動配分金		2,917,841	0	2,917,841	0	0	2,917,841	0	0
区分 小計		9,883,841	0	9,883,841	0	0	9,883,841	0	0
合 計		25,493,841	2,426,240	27,920,081	0	0	15,466,840	2,569,400	0

(単位：円)



事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

1) 事業区分間繰入金明細書

事業区分名		繰入金の財源 (注)	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			

(注) 繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

2) 拠点区分間繰入金明細書

拠点区分名		繰入金の財源 (注)	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			
介護保険事業	法人運営事業	介護保険収入	12,000,000	事業活動費として繰入
善意銀行運営事業	地域福祉活動推進事業	運用収入	3,000,000	事業活動費として繰入
介護保険事業	地域福祉活動推進事業	介護保険収入	9,000,000	事業活動費として繰入
介護保険事業	ホムステイ・市民活動センター運営事業	介護保険収入	4,000,000	事業活動費として繰入
介護保険事業	介護予防・地域支援事業	介護保険収入	3,000,000	事業活動費として繰入

(注) 繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

## 基本金明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

前年度末残高	区分並びに組入れ及び取崩し事由	合計	各拠点区分ごとの内訳	
			法人運営事業	(単位：円)
	第一号基本金	4,000,000		4,000,000
	当期組入金	0		0
	当期取崩額	0		0
当期末残高	第一号基本金	4,000,000		4,000,000

(注) 1. 「区分並びに組入れ及び取崩しの事由」の欄に該当する事項がない場合には、記載を省略する。

2. ①第一号基本金とは、注解(注12)(1)に規定する基本金をいう。
- ②第二号基本金とは、注解(注12)(2)に規定する基本金をいう。
- ③第二号基本金とは、注解(注12)(3)に規定する基本金をいう。

3. 従前及び今回の改正において特例により第一号基本金・第二号基本金の内訳を示していない法人では、合計額のみ記載するものとする。

**国庫補助金等特別積立金明細書**

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

区分並びに積立て及び取崩しの事由	補助金の種類			合計	各拠点区分の内訳	
	国庫補助金	地方公共団体補助金	その他の団体からの補助金		地域福祉活動推進事業	介護保険事業
前期繰越額				1,512,055	1,193,305	318,750
当期積立額				0	0	
当期積立額合計	0	0	0	0	0	0
サービス活動費用の控除項目として計上する取崩額				626,445	410,820	215,625
特別費用の控除項目として計上する取崩額				0	0	0
当期取崩額				0	0	0
当期取崩額合計				626,445	410,820	215,625
当期末残高				885,610	782,485	103,125

(注) サービス活動費用の控除項目として計上する取崩額には、国庫補助金等特別積立金の対象となった固定資産の減価償却相当額等の取崩額を記入し、特別費用の控除項目として計上する取崩額には、国庫補助金等特別積立金の対象となった固定資産が売却または、廃棄された場合の取崩額を記入する(注10)参照)。

積立金・積立資産明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

区 分	前期末残高	当期増減額	当期減少額	期末残高	摘 要
財政調整基金積立金	12,060,544	1,205	12,061,749	0	
地域福祉基金積立金	138,089,962	110,000,000	46,283,776	201,806,186	
計	150,150,506	110,001,205	58,345,525	201,806,186	

区 分	前期末残高	当期増減額	当期減少額	期末残高	摘 要
財政調整基金積立資産	12,060,544	1,205	12,061,749	0	
地域福祉基金積立資産	138,089,962	110,000,000	46,283,776	201,806,186	
計	150,150,506	110,001,205	58,345,525	201,806,186	

## 引当金明細書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

社会福祉法人名：社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	5,465,738	5,484,134	5,465,738	0	5,484,134	
全社協 退職給付引当金	185,549,990	14,920,430	23,012,600	0	177,457,820	
県社協 退職給付引当金	475,464	2,284,552	0	0	2,760,016	
計	191,491,192	22,689,116	28,478,338	0	185,701,970	

(注)

1. 引当金明細書には、引当金の種類ごとに、期首残高、当期増加額、当期減少額及び期末残高の明細を記載する。
2. 目的使用以外の要因による減少額については、その内容及び金額を注記する。
3. 都道府県共済会または法人独自の退職給付制度において、職員の転職または拠点間の異動により、退職給付の支払を伴わない退職給付引当金の増加または減少が発生した場合は、当期増加額又は当期減少額（その他）の欄に括弧書きでその金額を内数として記載するものとする。

# 財 産 目 録

(平成30年3月31日現在)

別紙4

(単位 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金預金						76,517,288
現金						143,250
預金						76,374,038
普通預金						72,509,505
	但馬銀行	－	運転資金として	－	－	46,129,037
	但馬信用金庫	－	運転資金として	－	－	18,295,947
	たじま農業協同組合	－	運転資金として	－	－	6,176,195
	みなと銀行	－	運転資金として	－	－	36,262
	ゆうちょ銀行	－	運転資金として	－	－	1,872,064
定期預金						3,864,533
	たじま農業協同組合	－	運転資金として	－	－	3,864,533
事業未収金		－	介護報酬収入、利用料ほか	－	－	68,071,988
貯蔵品		－	ごみ袋	－	－	30,400
立替金		－	雇用保険料	－	－	770,938
前払金		－	平成30年度月刊誌購読料ほか	－	－	784,108
短期貸付金		－	社会福祉援護資金貸付金	－	－	116,000
流 動 資 産 合 計						146,290,722
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
定期預金	但馬銀行	－	基本財産として指定されているもの	－	－	4,000,000
基 本 財 産 合 計						4,000,000
<b>(2) その他の固定資産</b>						
土地	山林	2017年度	故関本勢以子氏遺贈	5,253	0	5,253
建物				10,901,231	3,531,942	7,369,289
	プレハブ物置	1998年度	法人(社協)の運営に使用	540,960	540,959	1
	事務所玄関上文字看板	2009年度		283,185	140,079	143,106
	物置	2012年度		230,000	172,672	57,328
	椅子式階段昇降機	2016年度	第2種社会福祉事業である知的障害児託児所事業に使用	1,960,000	175,093	1,784,907
	八鹿サロン改修	2011年度	第2種社会福祉事業である	1,163,820	357,864	805,956
	ふれあいの郷改修	2012年度	いきいきサロン事業に使用	5,000,000	938,705	4,061,295
	洗面カウンター	2002年度	第2種社会福祉事業である	430,500	396,060	34,440
	物置	2006年度	通所介護事業に使用	730,000	729,999	1
	ガス給湯器一式	2014年度		368,766	76,179	292,587
	ガス給湯器一式	2017年度		194,000	4,332	189,668
車輛運搬具	トヨタ シエンタ 他46台	－	利用者送迎用ほか活動車輛	83,153,002	74,560,465	8,592,537
器具及び備品	介護用ベッド他	－	社会福祉法人の事業等で使用	35,706,574	30,919,353	4,787,221
有形リース資産	ほのぼのNEXT サーバー	－	第2種社会福祉事業である	8,112,396	2,120,653	5,991,743
無形リース資産	ほのぼのNEXT ソフトウェア	－	訪問介護事業等に使用	9,557,921	3,345,271	6,212,650
投資有価証券		－	車輛任意保険加入に伴う出資金	－	－	11,200
全社協退職給付引当資産		－	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金預け金	－	－	148,443,500
県社協退職給付引当資産		－	兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済預け金	－	－	3,361,984
財政調整基金						0
	但馬銀行	－	将来にわたり財政の健全な運営と不時の支出に備えるため積み立てたもの	－	－	0
	但馬信用金庫	－		－	－	0
地域福祉基金						201,806,186
	但馬銀行	－	増大する住民の福祉需要に	－	－	10,000,000
	但馬信用金庫	－	対応し、地域福祉事業の安	－	－	20,000,000
	ゆうちょ銀行	－	定的な発展を図るため積立	－	－	10,000,000
	みなと銀行	－	てたもの	－	－	10,000,000
	近畿労金金庫	－		－	－	10,000,000
	但陽信用金庫	－		－	－	10,000,000
	たじま農業協同組合	－		－	－	21,806,186
	たじま農業協同組合	－	寄附者の遺志により地域福祉事業に供するために積み立てたもの	－	－	110,000,000
その他の固定資産		－	公用車 リサイクル料	－	－	452,100
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計						387,033,663
固 定 資 産 合 計						391,033,663
資 産 合 計						537,324,385

財 産 目 録  
(平成30年3月31日現在)

別紙4  
(単位 円)

II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	退職共済預け金ほか	—	/	—	—	23,736,310
1年以内返済予定リース債務	介護保険システムほか	—		—	—	3,390,603
預り金	利用料預り金	—		—	—	360,000
職員預り金	雇用保険料ほか	—		—	—	3,093,979
賞与引当金		—		—	—	5,484,134
流 動 負 債 合 計						36,065,026
2 固定負債						
リース債務	介護保険システムほか	—	/	—	—	8,954,910
退職給与引当金						180,217,836
	全社協退職給付 引当金	—		—	—	177,457,820
	県社協退職給付 引当金	—		—	—	2,760,016
固 定 負 債 合 計						189,172,746
負 債 合 計						225,237,772
差 引 純 資 産						312,086,613

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目については控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載は要しない
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具には、会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

# 監査報告書

平成30年5月22日

社会福祉法人養父市社会福祉協議会  
会長 小林 哲夫 様

監事

上江 敦之



監事

西村 禮治



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### ① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### ② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。



## 監査報告書

社会福祉法人 養父市社会福祉協議会  
会長 小林哲夫 様

平成 29 年度決算について監査を実施したので結果を次のとおり報告します。

1、 監査の実施日  
平成 30 年 5 月 22 日

2、 監査の種別  
決算監査

3、 監査を実施した監事名  
西村禮治 土江敦之

4、 監査内容

### ① 会計監査

- ・松田公認会計士事務所による監査報告書
- ・平成 29 年度 3 月月次残高確認表
- ・平成 30 年 3 月 31 日現在貸借対照表・財産目録・固定資産管理台帳
- ・小口現金出納帳・事業未収金明細表・貯蔵品明細表・立替金明細表
- ・前払金明細表・貸付金台帳・事業未払金明細表・1 年以内返済予定リース負債明細表・預り金明細表・職員預り金明細表・リース負債明細表・拠点区分間繰入金収益明細表・拠点区分間繰入金費用明細表
- ・雑損失明細表・固定資産増減明細表
- ・平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日事業活動計算書・資金収支計算書

### ② 業務監査

- ・平成 29 年度社協事業の実施状況（業務全般）
- ・理事会議事録、評議員会議事録

## 5、 監査意見

### ① 会計監査

- ・会計事務は適正に処理されている。
- ・貸借対照表による残高と資金収支計算書当期末支払資金残高の一致を確認した。
- ・サービス活動収益計 535,108 千円は、前年比 61,578 千円増加しているが、これは故関本氏遺贈金 73,308 千円の寄付金収益計上によるものである。これを一過性と厳しく見た場合、収益は 461,800 千円で前年比 11,730 千円の減少となる。サービス活動費用は 471,577 千円であり、サービス活動増減差額（営業利益）63,531 千円は実質 9,777 千円の営業損失となっている。  
また、経常増減差額（経常利益）63,743 千円についても実質 9,565 千円の経常損失となっている。
- ・水道光熱費（事業費）12,584 千円の節減については、養父市より回答あり、平成 31 年度において LED 化が実施予定と聴取した。
- ・平成 29 年度において財政調整基金積立金 12,061 千円を取崩しした。
- ・平成 30 年度においては故関本夫妻の遺贈金計 119,592 千円と地域福祉基金（関本基金）110,000 千円との差額 9,592 千円を財政調整基金に繰入することを聴取した。
- ・故関本氏より遺贈された山林 399 m<sup>2</sup>については固定資産管理台帳に未計上である。養父市社会福祉協議会に所有権の移転登記は完了しており資産計上することを指摘した。
- ・社会福祉充実財産の算定については、活用可能な財産 307,195 千円が年間事業活動支出 486,323 千円を下回っており該当しないことを確認した。

### ② 業務監査

#### ・基本活動

養父市社協では、第 2 次地域福祉推進計画で 3 つの推進目標を掲げてきた。厚労省の進める地域づくりの 3 本柱とほぼ同じ内容のもので、国より 6 年先行して実施している。

#### ・福祉教育指定校制度

福祉教育担当者連絡会を設置したことにより、各校の福祉教育担当教諭と養父市社協との意見交換・連携が深まり、学校間の温度差は見られなくなった。車イスやアイマスク体験など初歩的な学習から

手話・点字・認知症学習へより緻密な教育が行われ、家庭や地域の福祉理解を醸成している。

- ・結婚相談

29年度の成婚はゼロであるが、新規受付と紹介・相談・見合い件数は前年度より大幅に増加している。制度の認知が高まってきており今後の成果を期待したい。

- ・介護保険事業の充実（介護保険事業所の実績）

居宅介護支援事業（利用件数）4,542件（H28同期比5件増）

訪問介護事業（訪問回数）26,552回（H28同期比1,217回増）

通所介護事業（大屋）利用人数7,979人（H28同期比725人減）

通所介護事業（関宮）利用人数6,580人（H28同期比781人減）

訪問入浴サービス事業（訪問回数）113回（H28同期比28回増）

福祉用具貸与事業（利用件数）8,700件（H28同期比564件減）

- ・障害者相談支援事業の推進（障害福祉サービス）

相談支援事業（活動件数）627人（H28同期比254人増）

同（計画相談支援）4,106人（H28同期比326人増）

居宅介護（訪問介護回数）2,537回（H28同期比137回減）

養父市社協は非営利団体として地域福祉の充実を図っているところであるが、訪問介護事業の利用者は増加傾向にある一方で、営利や医療を背景とした他の事業者の新規参入もあるため、非採算となっている事業は、経営上において検討と見直しが必要と思える。

- ・地域連携

地域福祉推進の受け皿として自治協と連携してきたが、自治協間との温度差が懸念される。福祉委員会設置をすべての行政区に広げることも必要であるが、事業推進が期待できる行政区をモデル指定するなど新たな取組みも検討されたい。

- ・理事会、評議員会

理事会議事録、評議員会議事録は適正に作成されていることを確認した。

- ・役員任期について

評議員は住民や各種団体からの選任もあるが、当該団体の事情で任期途中の交代も見受けられる。地域福祉活動推進の上からも団体等の理解を得、任期を全うしていただくよう理解を求めたい。

- ・補助金の確保と会費の検討

行財政改革により補助金の大幅カットから10年。養父市社協は体質改善に努めてきたが、県下社協中補助金は最下位であるため、市

とのねばり強い交渉が求められる。また一般会費は合併前の最低金額に準じて以来 15 年間据置きされてきた。改定に向け関係団体との折衝を進めることも検討されたい。

・会員会費の現状

一般会費 年額 1,200 円 総額 8,888,400 円  
(H28 同期比 50,400 円減、42 世帯減)

賛助会費 一口 1,000 円 総額 1,256,000 円  
(H28 同期比 113,000 円増、6 件減)

特別会費 一口 1,000 円 総額 401,000 円  
(H28 同期比 72,000 円減、10 件減)

・善意銀行 207 件 総額 5,176,273 円  
(H28 同期比 117,399 円増 30 件増)

平成 30 年 5 月 22 日

監 事 西 村 禮 治



監 事 土 江 敦 之



## 独立監査人の監査報告書

平成 30 年 5 月 22 日

社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

会長 小林 哲夫 殿

松田公認会計士事務所

公認会計士 松田 理明



私は、社会福祉法人養父市社会福祉協議会の平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 会計年度の財務諸表、すなわち、資金収支計算書（資金収支内訳表、事業区分資金収支内訳表及び拠点区分資金収支計算書を含む。）、事業活動計画書（事業活動内訳表、事業区分事業活動内訳表及び拠点区分事業活動計算書を含む。）、貸借対照表（貸借対照表内訳表、事業区分貸借対照表内訳表及び拠点区分貸借対照表を含む。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書並びに財産目録（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

### 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して、社会福祉法人養父市社会福祉協議会の平成 29 会計年度の資金収支及び事業活動の状況並びに同会計年度末日現在の財政状態を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

社会福祉法人養父市社会福祉協議会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



## 監査報告について

平成29年4月1日から同30年3月31日の帳簿の監査結果を下記の通り報告いたします。

### 記

I 残高試算表(貸借対照表、事業活動・資金収支計算書)の各勘定科目の残高について証明書類と照合した結果、合致いたしました。

#### A 流動資産

- 現金金 . . . . . 現金については実残は確認しておりませんが、各支部の小口現金出納簿と小口現金受取書にて補給額を確認し、現金残高金種表と照合、合致いたしました。
- 預貯金 . . . . . 金融機関発行の残高証明と照合した結果、合致いたしました。
- 事業未収金・立替金・前払金・短期貸付金 . . . . . 各明細書と照合した結果、合致いたしました。
- 貯蔵品 . . . . . 明細書と照合した結果、合致いたしました。また評価についても最終仕入原価法により処理されてきました。

#### B 固定資産

- 基本財産特定預金 . . . . . 金融機関発行の残高証明と照合した結果、合致いたしました。
- 減価償却資産 . . . . . 固定資産管理台帳と照合した結果、期末簿価と合致いたしました。
- 全社協退職給付引当資産 . . . . . 全社協の加入職員明細表の掛金累計額と照合した結果、合致いたしました。
- 県社協退職給付引当資産 . . . . . 内訳書の事業主掛金累計額と照合した結果、合致いたしました。
- 地域福祉基金積立資産 . . . . . 金融機関発行の残高証明と照合した結果、合致いたしました。
- その他の固定資産 . . . . . 自動車リサイクル料について個別に管理され

ており明細書と照合し、合致いたしました。

- 投資有価証券 ・ ・ ・ ・ 固定資産に表示されておりました。

※但馬信用金庫の出資証券については5月21日に証券原本を確認させていただきました。（金額は10,000円）

#### C 流動負債

- 事業未払金 ・ ・ ・ ・ 明細書と照合した結果、合致いたしました。

- 預り金、職員預り金 ・ ・ ・ ・ 貸金台帳及び明細書と照合した結果、合致いたしました。 諸謝金等の源泉についても正しく処理されておりました。

- 1年以内返済予定リース債務 ・ ・ ・ ・ 明細表と照合した結果、合致いたしました。

- 賞与引当金 ・ ・ ・ ・ 賞与引当金計算書と照合した結果、合致いたしました。

#### D 固定負債

- リース債務 ・ ・ ・ ・ 明細表と照合した結果、合致いたしました。

- 全社協退職給付引当金 ・ ・ ・ ・ 平成30年3月末全社協資料の要支給額と照合した結果、合致いたしました。

- 県社協退職給付引当金 ・ ・ ・ ・ 平成30年3月末県社協資料の要支給額と照合した結果、合致いたしました。

#### E 純資産

- その他の積立金 ・ ・ ・ ・ 固定資産に同額が預金されていることを確認いたしました。

- 国庫補助金等特別積立金 ・ ・ ・ ・ 固定資産管理台帳と照合した結果、合致いたしました。



F 寄付金収入

- 善意銀行寄付金収益 . . . . . 各支部の台帳と照合した結果、合致いたしました。

G 国庫補助金等特別積立金取崩額

- 国庫補助金等特別積立金取崩額 . . . . . 固定資産管理台帳により金額を確認、正しく処理されていました。

H 人件費支出

- 役員報酬・職員給料・職員賞与・非常勤職員給与 . . . . . 一部旅費交通費・雑費で処理されている金額は、賃金台帳と照合した結果、合致いたしました。  
未払分の計上も正しく処理されていました。

I 減価償却費

- 減価償却費 . . . . . 固定資産管理台帳と照合、当期経費分が正しく計上されていました。

J その他のサービス活動外費用

- 雑損失 . . . . . 明細表と照合した結果、合致いたしました。

II 財務諸表間の相互関係

貸借対照表と資金収支計算書

貸借対照表

流動資産		146,290,722
流動負債	—	36,065,026
賞与引当金	+	5,484,134
1年以内返済予定リース債務	+	3,390,603
A 差引		119,100,433

資金収支計算書

B 当期末支払資金残高	119,100,433
-------------	-------------

A - B =	0
---------	---

貸借対照表と事業活動計算書

貸借対照表

A 次期繰越活動増減差額	105,394,817
--------------	-------------

事業活動計算書

B 次期繰越活動増減差額	105,394,817
--------------	-------------

A - B =	0
---------	---

※資金収支内訳表にて当期末支払資金残高がマイナス表示となっている区分がありますが、経理区分毎の三表間に影響はありません。



# 平成 30 年度事業計画



# 社会福祉法人養父市社会福祉協議会 平成 30 年度事業方針

## 社会福祉を取り巻く情勢

現在、社会福祉の分野では、『地域共生社会』の実現に向けた議論が活発になっています。

国では、一億総活躍プランが掲げる『地域共生社会』の理念の実現を図るため、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を設置し、支援を要する人たちの多様で複合的な生活・福祉課題の解決に向けて、住民参加による包括的な支援体制を構築していくための検討が進められています。

地域社会では、格差や貧困問題、引きこもり・孤立などの問題が広がっています。市町社協、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設など、関係する組織や関係者等が連携・協働し、総合的な相談支援の体制を整えつつ、課題解決に向けて自立支援や就労支援などをさらに進めていく必要があります。

介護・医療、そして障害福祉サービスの分野では、在宅や地域生活を重視する制度見直しが進められ、平成 30 年度には、こうした視点に立った報酬改定が行われます。

「生活困窮者自立支援法」も施行 3 年目の見直しが行われることになり、介護保険制度における「新しい総合事業」とともに、地域の多様な資源を活かした、地域生活を継続するための仕組みづくりがより一層求められます。

加えて、子どもの貧困対策や虐待防止を含めた子育て支援策、子ども家庭福祉や社会的養護などの充実も喫緊の課題となっています。

これらの福祉事業推進の中核となる社会福祉法人は、平成 29 年度から本格施行された改正社会福祉法により、一層の経営管理体制の強化、事業運営の透明性の向上とともに、「地域における公益的な取組」の推進が求められ、県内では、市区町域での「社会福祉法人連絡協議会」の設置促進等が進められています。

福祉分野の課題の中でも、福祉人材の確保は、福祉関係者に共通する喫緊の課題です。将来にわたり、福祉サービスを安定的に継続するには、福祉サービスを提供する職員の資質の向上と処遇改善のほか、多様な人材の参入を促進するための対策をさらに積極的に推進していかなければなりません。

このように、地域福祉に関連する施策が相次いで打ち出される中、これまで地域福祉を進める中核的機関とされてきた社会福祉協議会の存在意義が改めて問われ、地域共生社会の実現に向けて大きく舵を切っていくことが求められています。

しかしながら、社会福祉協議会の組織経営をめぐる課題は山積しており、特に近年では福祉・介護人材の確保難や介護保険サービス等の収益減による財政状況の悪化が早急な対応を要する深刻な課題となっています。地域福祉のコーディネーター役としての組織基盤強化のあり方が問われています。

## 組織経営の方針

養父市社会福祉協議会は、住民活動主体の原則に基づき、「地域が抱えているさまざまな生活・福祉課題を地域全体の課題として捉え、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることにより、福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進をめざす」組織です。

だれもが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命とする社協には、地域の潜在化した課題や制度の狭間にある課題に対し、それを受け止め、地域住民やボランティア、関係機関と連携を図りながら地域福祉を進める仕組みづくりが求められています。制度や分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会（創縁社会）を目指すことが組織経営の方針です。

本会では、日常生活圏域（4地域）の中で、住民が直面している（気づいている）課題に対して、「複合課題丸ごと」、「世帯丸ごと」、相談する先が分からない課題を「とりあえず丸ごと」受け止める場として、『縦割り』の福祉制度の谷間になっている問題をいち早く取り上げていくといった、福祉ニーズを的確に把握する体制が必要です。

また、公共性・公益性の高い地域福祉を推進する養父市社会福祉協議会は、民間団体としての主体的な経営判断を行い、地域に開かれた組織体制を確立するために、平成28年3月に「組織経営基盤計画（組織経営検討委員会報告書）」を発出し、待ったなしの経営基盤の強化を図っています。

養父市社会福祉協議会では、このような社会福祉を取り巻く情勢や動向を踏まえながら、本会の経営課題に対応するため、本年度は「我が事」による地域づくりを進めるために、「第2次地域福祉推進計画」の推進期間を1年間延長します。

平成30年度は重点事業を次のように定め、「第2次地域福祉推進計画」に基づき、全市的重点目標、推進目標、基本活動・活動項目に沿って、住民をはじめボランティア、行政、関係機関等との連携を図りながら活動に取り組みます。

## 平成30年度重点事業

- ① 「我が事・丸ごと」地域共生社会実現に向けた取り組みと組織経営基盤の強化  
⇒社協の強みを活かした多職種連携と地域共生社会実現に向けた組織の改編
- ② 第3次地域福祉推進計画（民間計画）の策定と第4次地域福祉計画（行政計画）の策定・推進に向けた行政との連携  
⇒地域福祉推進の方向性を行政施策に反映できるよう、一年先行型で地域福祉推進計画を策定する  
⇒総合相談支援体制の構築に向けたビジョンを明確に描き、行政との共通認識を図る
- ③ 指定管理施設の有効活用と今後の方向性を具体化し行政へ提言  
⇒関宮ふれあいの郷とデイサービスセンター「ふれあい」を多世代多機能型施設へ転換するための協議をすすめる

## 事業計画

### 1 福祉目標

#### ささえあう心で 笑顔あふれる 福祉のまちづくり

～みんなで作る みんなのしあわせ～

### 2 全市的重点目標

#### 小地域での見守りあい・支え合い活動をみんなですすめましょう

少子高齢化が進み、限界集落化していくなか、地域住民や行政、自治協議会と連携を図りながら福祉活動をすすめ、地域で住み続けられるよう支援します。

区ごとに福祉連絡会を組織し、地域内の連携を深め、地域全体の課題を共有しながら情報交換、見守りあい活動、交流、研修などを行い、互いにたすけあい、つながりを強める福祉のまちづくりをすすめます。

住民が安心して暮らせるよう、地域の潜在化した課題や制度の狭間にある課題を把握し、保健・医療・福祉関係者と連携した対応が必要になってきます。福祉目標を実現するには地域のほか、企業・行政・NPOなどがともに力を合わせる必要があります。社協は、地域福祉活動を推進する中核的な団体として人と人、人と機関をつなぐ役割を担います。

活動項目	主な内容
1 福祉連絡会の活動支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動助成を行い連絡会の友愛訪問、見守りあい活動、交流事業などを支援</li><li>●地域の特性や課題を明らかにする「地域見える化シート」づくりの支援</li><li>●連絡会ごとの活動計画策定を支援</li><li>●福祉委員未設置の区の現状を把握し、新たなささえあいのしくみづくり</li></ul>
2 小地域福祉懇談会の開催	<ul style="list-style-type: none"><li>●地域（市全域、4地域、小学校区、集落）の現状・課題を知り、気づきを共有するための話し合い・学び合いの場として懇談会を実施</li></ul>
3 地域自治協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"><li>●平成28年度に実施した、「生活支援に関する地域自治組織訪問調査」の結果を基に、地域自治協議会との協働による地域づくりの推進</li></ul>
4 限界集落化していく地域への福祉的支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●ふれあいサロン・ふれあい喫茶などの福祉活動をとおして地域で暮らしつづけるための支援</li></ul>
5 小地域で集う場の開催支援	<ul style="list-style-type: none"><li>●ふれあいサロン・ふれあい喫茶等、住民主体の居場所やつどいの場の開催支援</li></ul>
6 保健・医療・福祉関係者と連携した地域ケアの推進	<ul style="list-style-type: none"><li>●地域包括ケアシステムによる医療・看護・介護・リハビリテーション・保健・予防・住まい・生活支援・福祉サービスが包括的に確保される体制づくりの推進</li><li>●安心見守りネットワーク事業の推進</li><li>●地域ケア推進会議や南但馬自立支援協議会等に参加</li></ul>
7 地域・企業・行政・NPOなどとのネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>●地域・企業・行政・NPO等との協議の場を設け、多様な生活福祉課題に対応するネットワークづくり</li><li>●社会福祉法人連絡協議会設立に向けて、市内社会福祉法人(施設)との連携</li><li>●ケイ・オプティコムやコープこうべと連携し、買い物支援や見守りあいのしくみづくりを協議</li></ul>

### 3 推進目標

福祉目標「ささえあう心で 笑顔あふれる 福祉のまちづくり～みんなで作る みんなのしあわせ～」を実現するために3つの推進目標を設定しました。推進目標は、第2次地域福祉推進計画でめざすべき目標であるとともに、基本的な視点と活動です。相互に重なりながら福祉目標の実現に向かうものです。

**推進目標① だれもが大切にされるまちづくり**

**推進目標② みんなが参加し、つながりあう地域づくり**

**推進目標③ その人らしい暮らしをささえるしくみづくり**

### 4 基本活動・活動項目

3つの推進目標を実現するため、第2次地域福祉推進計画の「社協活動の主軸」として7つの基本活動を設定し、活動に取り組みます。また、7つの基本活動を具体的に活動していくために活動項目を設定しました。

#### 基本活動1 総合的な相談支援のしくみをつくる

生活様式の変化によって地域社会・家庭の様相は大きく変わり、地域における生活福祉課題が多様化・深刻化しています。住民が困った時は“まずは社協に!!”と思える相談窓口の設置をすすめます。

活動項目		主な内容
1	生活支援相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福祉総合相談事業の見直し</li> <li>●相談窓口の明確化、アウトリーチ型（出張相談）の相談支援</li> <li>●「高齢者相談センター」の受託運営（2圏域）による総合相談体制</li> <li>●全エリアに介護支援専門員を配置し、制度の狭間にある課題に対し、『丸ごと』受け止める場としての仕組みづくり</li> </ul>
2	結婚相談所と関係機関との連絡会議の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全但結婚相談連絡協議会はもとより、婚活応援者ネットワーク会議への参画による連携の強化</li> </ul>

#### 基本活動2 当事者の支援と権利擁護活動をすすめる

養父市でも、低所得による生活困窮世帯、ひきこもり、外国出身者、“ゴミ屋敷”と呼ばれる状態になっている世帯など、さまざまな課題（＝生きづらさ）や、社会的な孤立を抱える世帯が見られます。

関係機関とネットワークをつくりながら当事者が持つ力を引き出し、また権利を擁護する活動を行います。

活動項目		主な内容
1	生きづらさを抱える人への相談支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活困窮者自立支援事業における自立相談支援機関との連携を強化</li> <li>●貸付制度の実施において民生委員・児童委員や関係機関との連携を強化</li> <li>●貸付制度において、相談、貸付から返済にいたる過程が</li> </ul>



		<p>“自立”につながるよう伴走型の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ひきこもり、外国出身者等の抱える生活福祉課題に対して、関係機関と連携し市内全体像の把握につとめ、今後の支援の検討を行う</li> </ul>
2	アウトリーチによる支援体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題をもつ世帯へ出向き課題解決に寄り添った「アウトリーチ」の支援体制づくり</li> <li>●関係機関や専門職のほか地域とも連動した支援をすすめる“協議の場”づくり</li> <li>●「ふれあい訪問員」活動による共助の基盤づくり</li> </ul>
3	介護者への学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護者の会の支援を継続し、学習機会の提供、情報交換やリフレッシュの場として、学びの場を提供</li> <li>●広報紙等で情報を提供</li> </ul>
4	当事者の組織化と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●当事者グループの自主的な活動を支援</li> <li>●事業実施時の後援や情報の提供、広報での啓発</li> <li>●新たなつながりを求める当事者の声を受け止め、“集いの場”を検討</li> <li>●「認知症カフェここあん」、「出会いカフェ」の運営支援や「ありんこの会」の活動支援</li> </ul>
5	日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助）の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助）」の周知と広報</li> <li>●生活支援員、担当職員の研修会を実施</li> <li>●総合的な相談支援体制の協議・検討の場づくり</li> </ul>

### 基本活動3 ボランティア・市民活動の活性化を図る

福祉コミュニティづくりに向けて、当事者、住民の自発性を引き出し、多くの人々がまちづくりの主体として社会参加できるように支援をすすめます。

また、ボランティア活動者の養成とボランティア・市民活動センター運営機能を強化し、活動の促進を図ります。さらに地域住民、ボランティア、行政、学校、企業、NPOを含めた幅広い市民活動との連携、協働により地域の生活福祉課題を解決するためのしくみづくりに取り組みます。

活動項目		主な内容
1	ボランティア・市民活動センター運営機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民参加によるボランティア・市民活動センター運営委員会の強化</li> <li>●ボランティア活動に関する情報提供や相談窓口、活動拠点の充実等の活動支援や環境整備を推進</li> </ul>
2	地域ニーズにあったボランティアの養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティアニーズを把握し、ボランティア活動者の発掘、養成講座を実施し、修了後の組織化を図る</li> <li>●ボランティア活動の活性化</li> <li>●点訳ボランティアあかり、傾聴ボランティアみみの会、精神保健ボランティアほほえみの活動支援</li> </ul>
3	ボランティア活動の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報紙、ホームページ、Facebook ページ、ケーブルテレビなどで情報提供の強化</li> </ul>
4	ボランティア活動への助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティア・市民活動を行うグループに、規模に応じた活動助成金を交付し支援</li> </ul>
5	地域通貨の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たなささえあいのしくみを検討</li> </ul>

## 基本活動4 地域・学校での福祉学習をすすめる

「誰もが大切にされ共に生きる地域づくり」をすすめるための根幹となる『福祉学習』の取り組みを推進します。

地域・学校などのあらゆる場で、住民や児童・生徒の気づきや学びを、一つひとつ紡いでいき、相互理解を深めていくことで、一人ひとりが尊重され、孤立や排除の無い社会、養父市の「ふくし(=ふだんのくらしのしあわせ、みんなのしあわせ)」をともに育てていきます。

活動項目		主な内容
1	区や福祉連絡会などで地域住民が学びあう場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区福祉委員会や福祉連絡会研修会など、地域住民が学びあう場の提供</li> <li>● 社協の各種事業や個別相談の場で、参加者や住民、関係者が「気づき」「共感する」「話し合う」「行動する」過程を通じ、地域での学びの輪を広げる</li> </ul>
2	小・中・高等学校における福祉学習支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「福祉学習(教育)担当者連絡会」の開催</li> <li>● 各校福祉学習担当者、関係機関との協働</li> <li>● 当事者や地域住民の参加のもと、福祉学習の取り組み</li> </ul>
3	福祉・人権意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社協広報『かけはし』や、地域・学校などのあらゆる場で、福祉や障がい理解に関する情報を発信</li> <li>● 共同募金や善意銀行の活動を通じ、共に助けあい、支えあう意識を醸成</li> </ul>

## 基本活動5 住みなれた場所で暮らし続けるためのサービスを推進する

誰もが住みなれた場所でその人らしく暮らし続けるため、地域住民と専門職(行政や福祉事業所等)が協働し、地域ケアの仕組みづくりをすすめ、課題解決を図ります。

社協は、現在実施している事業についてはさらなるサービスの質の向上をめざし、制度内の福祉サービスの充実・発展とともに、さまざまな生活課題に対するサービスの開発を推進します。

活動項目		主な内容
1	給食サービス事業・移送サービス事業の効果的な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 給食サービス事業の実施</li> <li>● 移送サービス事業の効果的な運営</li> <li>● 夕食サービス事業の実施</li> </ul>
2	介護予防事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護予防について啓発や情報提供</li> <li>● 「訪問型生活機能向上サービス」と「通所型生活機能向上サービス」の実施による、地域で暮らし続けるための取り組み</li> </ul>
3	介護保険事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「利用者主体」と「自立支援」を念頭においたサービスの提供</li> <li>● 組織内連携、地域の福祉資源や関係機関と連携を強化し、可能な限り在宅で暮らすことができるよう支援</li> <li>● 通所介護利用定員の見直しを行い、サービスの充実を図る</li> </ul>
4	障がい者相談支援事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障がい者とその家族のさまざまな相談に応じ情報提供</li> <li>● 地域で安心して生活が送れるよう総合的、継続的に支援</li> </ul>
5	知的障害児託児事業(放課後クラブ)の推進	※平成29年度末で事業終了

6	空き家を活用した共同生活ハウス 設立・運営の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●たまり場（八鹿地域ふれあいの家）を利用した交流の場、居場所づくりの支援</li> <li>●空き家などを利用した、居場所づくりの検討</li> </ul>
7	さまざまな生活課題に対するサー ビスの開発・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の現状を把握し、暮らしを守る柔軟なサービスの開発</li> <li>●生活支援サービスのしくみづくり</li> </ul>

## 基本活動6 災害に強いまちづくりをすすめる

全国各地で繰り返し起こる様々な自然災害。災害種別も、「地震」、「台風」、「豪雨による土砂崩れ」、「噴火」、「豪雪」、「竜巻」など多様であり、毎年、各地に甚大な被害をもたらしています。

その復旧の担い手として災害救援ボランティア活動が大きな力を発揮し、ボランティアが果たす重要な役割の一つとなっています。

活動項目		主な内容
1	災害ボランティアセンター運営マ ニュアルの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づいた災害ボランティアの養成</li> <li>●災害時職員初動マニュアルの作成</li> </ul>
2	福祉防災マップづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全ての行政区で福祉防災マップを作成</li> <li>●福祉連絡会で取り組んでいる福祉防災マップ、ささえあい要援護者登録申請書兼カードを整備・更新</li> <li>●防災情報や支援の必要な人などを把握</li> <li>●養父市一斉災害訓練への参加</li> </ul>

## 基本活動7 地域で子育て支援をすすめる

核家族化が進み、育児に不安やストレスを感じている人や手助けを必要としている子育て世帯が増えています。誰もが安心して子どもを育てられるよう、地域に住む子どもや子育て世帯を地域全体で見守り、ともに育てていく活動を支援します。

活動項目		主な内容
1	子育てサロンへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「子育てサロン」の運営支援や立ち上げ支援</li> <li>●子育て支援ボランティアの交流と情報交換ができる場づくり</li> </ul>
2	親育ちの機会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て支援ネットワーク会議（子育てネット）による連携</li> <li>●どならない子育て練習講座の実施と市教育委員会との連携</li> </ul>
3	子どもの冒険ひろば（放課後プレ ーパーク）の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の人が見守るなか、自由な遊びなどを通して子どもたちの生きる力を育む「子どもの冒険ひろば（放課後プレーパーク）」を継続実施</li> </ul>

## 強化活動

### 1 組織・人材【経営目標：「我が事・丸ごと」の実現に向けて

#### 住民とともにすすめる社協らしい組織経営】

社協は、地域福祉の推進を図る中核的な団体としての役割を期待されています。民間団体としての主体的な経営判断を行い、かつ地域に開かれた組織体制を確立し、公共性と民間性を併せ持つ地域福祉を進める団体として、地域住民とともにすすめる社協らしい組織経営を行います。

#### 組織（経営機能の強化）

##### (1) 地域拠点の整備（本部・支部の拠点整備）

項目	H30(2018)
地域拠点の整備（指定管理施設の有効活用と方向性）	方針の決定

##### (2) 組織改編の実施（総務課・地域福祉課・介護福祉課の統廃合）

項目	H30(2018)
組織改編の実施	組織の改編

##### (3) 評議員・理事・支部運営委員定数と構成の見直し

項目	H30(2018)
理事の定数と選出区分の見直し	H29 見直し
評議員の定数と選出区分の見直し	H29 見直し
支部運営委員の選出方法と選出区分の見直し	H29 見直し

##### (4) 法令遵守（コンプライアンス）の徹底

項目	H30(2018)
法令遵守（コンプライアンス）の徹底	継続
職員行動原則（職員信条）の策定	策定

##### (5) 個人情報の管理の徹底

項目	H30(2018)
個人情報の管理の徹底	継続
特定個人情報（マイナンバー）の周知徹底	継続

##### (6) 経営目標に応じた職員配置（定員管理）

項目	H30(2018)
行政との協議による公費確保のルール化	実行

#### 人材（人事労務管理）

##### (1) 職員採用計画を策定し、将来の経営目標を見据えた職員体制の構築

項目	H30(2018)
職員採用計画の策定	策定

##### (2) 自己目標管理の実施と人事評価制度の導入

項目	H30(2018)
自己目標管理の実施	H29 実施
人事評価制度の導入	実行

##### (3) 職員の質を高める研修体制の確立

項目	H30(2018)
研修カリキュラムの作成（OJTの実践）	実行

### 2 財政（健全財政と効率化）【経営目標：安定的な法人経営のための財政基盤強化】

養父市社会福祉協議会は、社協一般会費、賛助会費・特別会費、善意銀行寄附金、共同募金配分金、基金（財政調整基金、地域福祉基金）財源などの「民間財源」、補助金収入、委託金収入などの「公費財源」、介護報酬などの「事業収入財源」を財源として運営しています。

継続的に適切な事業評価やコスト把握を行い、公費確保のルール化や経営の効率化により、自主財源の確保など、安定的な財務運営を図ります。

(1) コスト削減とコスト意識の徹底—役職員の意識改革—

項 目	H30(2018)
コスト意識の徹底	徹底
数値計画の作成	実行
役員報酬の見直し	H28 見直し

(2) 地域福祉財源（民間財源）のあり方

■ 社協会員会費

項 目	H30(2018)
社協会費の理解をすすめる取り組み	継続
賛助会費・特別会費の寄付金控除	H28 から適用

■ 善意銀行の効果的運営（寄付文化の醸成）

項 目	H30(2018)
地域福祉の貴重な財源としての善意銀行啓発	継続
地域生活改善事業への取り組み	行政へ働きかけ

■ 共同募金運動の推進

項 目	H30(2018)
共同募金運動配分の見直しと使途の見える化	実行
配分プログラムの明確化	実行

(3) 介護保険事業（事業収入財源）のあり方

項 目	H30(2018)
新しい総合事業への取り組み	継続
事業としての採算性の確保と目標利益や利益計画の作成	実行
制度の狭間への柔軟なサービス開発	継続

(4) 人件費の見直しと職員の配置

項 目	H30(2018)
経営状況に合わせた期末(勤勉)手当の支給	H28 実行
年齢による昇給の遞減	検討・協議
常勤臨時・非常勤職員の基本給の見直し	H29 見直し
給与規程、旅費規程の改正	H28 改定
職員の定員管理と適正配置	実行

(5) 財政計画（短期3年、中期6年の財政見通し）の策定により健全財政と法人運営の効率化を図る

**3 事業【経営目標：新たな事業展開のための経営分析と事業評価】**

養父市社会福祉協議会は、住民活動主体の原則に基づき、地域が抱えている様々な生活・福祉課題を地域全体の課題としてとらえ、子どもから高齢者まで地域住民一人ひとりが、福祉活動に参加し、話し合い、活動を計画・協力して課題の解決を図ります。その活動をとおして、福祉コミュニティと地域福祉の推進をめざします。

(1) 事業成果の評価—第3次地域福祉推進計画—

項 目	H30(2018)
第3次地域福祉推進計画の策定	策定
第4次地域福祉計画(行政計画)の策定・推進に向けた行政との連携	行政へ働きかけ

(2) 事業の推進と住民主体の活動の実践

項 目	H30(2018)
新しい総合事業への対応（第2層協議体の設置に向けた取り組み）	継続
福祉連絡会・地域自治組織との連携	継続

(3) 「組織経営基盤計画」の迅速な対応を行うため、組織改編[ふくしのまちづくり部門(地域福祉と介護福祉)と企画経営部門(法人運営)]を実施し、法人運営・事業運営等の改善を図る



# 平成 30 年度予算

- ◇平成 30 年度予算の概要
- ◇資金収支予算書（第 1 号の 1 様式）
- ◇資金収支予算内訳表（第 1 号の 3 様式）





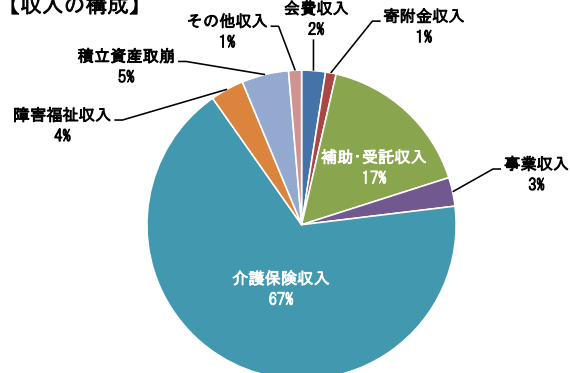
## 平成30年度 予算の概要

### I 資金収支予算科目別内訳

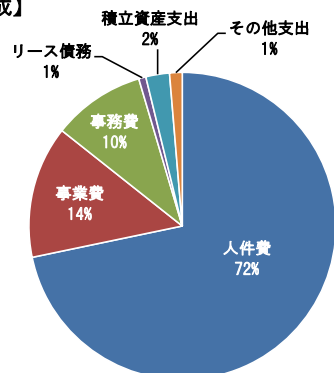
単位 千円

勘定科目	平成30年度		平成29年度		差引増減	対比	備考
	当初予算額	構成率	当初予算額	構成率			
<b>【収入】</b>							
会費収入	11,000	2.4%	11,400	2.2%	△ 400	96.5%	一般 ①1,200×7,500世帯=9,000千円、賛助・特別 2,000千円
寄附金収入	5,210	1.1%	5,160	1.0%	50	101.0%	善意銀行寄附金
経常経費補助金収入	24,905	5.3%	25,272	4.8%	△ 367	98.5%	県・市・県社協補助金、共同募金配分金
受託金収入	51,584	11.0%	58,992	11.2%	△ 7,408	87.4%	市・県社協受託金
事業収入	13,842	3.0%	14,939	2.8%	△ 1,097	92.7%	参加費・利用料・賃貸料・介護用品斡旋手数料ほか
介護保険事業収入	315,556	67.5%	335,435	63.9%	△ 19,879	94.1%	介護報酬収入
障害福祉サービス等事業収入	16,278	3.5%	15,801	3.0%	477	103.0%	自立支援給付費収入
受取利息配当金収入	35	0.0%	36	0.0%	△ 1	97.2%	預金利息
その他の収入	6,154	1.3%	5,240	1.0%	914	117.4%	受入研修費収入、雑収入(退職手当積立基金預け金差益含む)
施設整備等補助金収入	0	0.0%	996	0.2%	△ 996	0.0%	H29日本郵便年賀寄附金配分事業
積立資産取崩収入	22,772	4.9%	18,666	3.6%	4,106	122.0%	退職給付引当資産取崩収入
拠点区分間繰入金収入	0	0.0%	33,000	6.3%	△ 33,000	0.0%	拠点区分間繰入金収入
収入合計	467,336	100.0%	524,937	100.0%	△ 57,601	89.0%	
<b>【支出】</b>							
人件費支出	320,251	66.5%	321,435	62.1%	△ 1,184	99.6%	役員報酬、職員給与
退職給付支出	26,441	5.5%	22,408	4.3%	4,033	118.0%	退職給付支出、県社協退職退会分
事業費支出	67,016	13.9%	67,342	13.0%	△ 326	99.5%	地域福祉・介護保険事業 直接経費
事務費支出	45,570	9.5%	50,976	9.9%	△ 5,406	89.4%	法人運営経費、地域福祉・介護保険事業 間接経費
共同募金配分金支出	196	0.0%	150	0.0%	46	130.7%	歳末たすけあい運動返還金
分担金支出	185	0.0%	186	0.0%	△ 1	99.5%	県社協会費、全但結婚相談分担金ほか
助成金支出	5,548	1.2%	5,545	1.1%	3	100.1%	福祉連絡会活動助成、ボランティア支援、団体助成ほか
負担金支出	27	0.0%	27	0.0%	0	100.0%	全社協地域福祉推進委員会負担金
その他の支出	465	0.1%	46	0.0%	419	1010.9%	雑支出(退職手当積立基金預け金差損)
固定資産取得支出	0	0.0%	1,662	0.3%	△ 1,662	0.0%	H29日本郵便年賀寄附金配分事業
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,710	0.8%	3,143	0.6%	567	118.0%	財務・介護保険システム、サーバー、電話機リース資産
積立資産支出	12,020	2.5%	11,343	2.2%	677	106.0%	退職給付引当資産支出、財政調整基金利息
拠点区分間繰入金支出	0	0.0%	33,000	6.4%	△ 33,000	0.0%	拠点区分間繰入金支出
支出合計	481,429	100.0%	517,263	100.0%	△ 35,834	93.1%	
予備費支出	0	—	500	—	△ 500	—	H29予備費計上
当期資金収支差額合計	△ 14,093	—	7,174	—	△ 21,267	—	

【収入の構成】



【支出の構成】

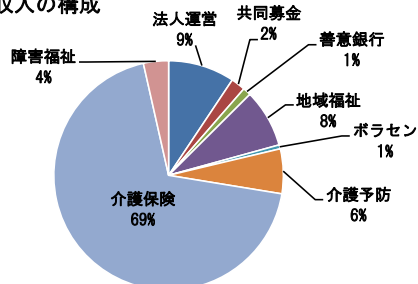


### II 資金収支予算内訳表の状況

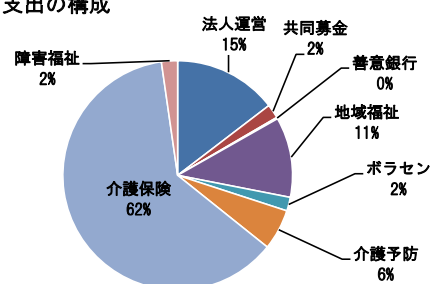
単位 千円

科目	法人運営事業	共同募金配分金事業	善意銀行運営事業	地域福祉活動推進事業	V・市民活動センター運営事業	介護予防・地域支援事業	介護保険事業	障害福祉サービス	合計
総収入	43,051	9,395	5,200	37,962	2,578	29,216	323,656	16,278	467,336
総支出	70,035	9,395	990	53,234	9,310	27,173	300,217	11,075	481,429
予備費支出	0	—	—	—	—	—	—	—	0
当期資金収支差額	△ 26,984	0	4,210	△ 15,272	△ 6,732	2,043	23,439	5,203	△ 14,093

拠点区分別 収入の構成



拠点区分別 支出の構成



## 平成30年度 社会福祉法人養父市社会福祉協議会 資金収支予算書 (案)

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	備考	
事業活動による収支	収入					
	会費収入	11,000	11,400	△ 400	一般 9,000千円 賛助 2,000千円	
	寄附金収入	5,210	5,160	50	善意銀行寄附金	
	経常経費補助金収入	24,905	25,272	△ 367	県補助金、市補助金、県社協補助金、共募配分金	
	受託金収入	51,584	58,992	△ 7,408	市受託事業、県社協受託事業	
	事業収入	13,842	14,939	△ 1,097	参加費、利用料等	
	介護保険事業収入	315,556	335,435	△ 19,879	介護報酬ほか	
	障害福祉サービス等事業収入	16,278	15,801	477	自立支援給付費ほか	
	受取利息配当金収入	35	36	△ 1	預金利息	
	その他の収入	6,154	5,240	914	退職手当預け金差益ほか	
	事業活動収入計(1)	444,564	472,275	△ 27,711		
支出	人件費支出	346,692	343,843	2,849	職員給与、退職金6名分ほか	
	事業費支出	67,016	67,342	△ 326	給食費、車輛管理費ほか 事業経費	
	事務費支出	45,570	50,976	△ 5,406	事務機器管理等 事務経費	
	共同募金配分金支出	196	150	46	歳末たすけあい運動	
	分担金支出	185	186	△ 1	県社協、全但結婚相談ほか	
	助成金支出	5,548	5,545	3	福祉連絡会、ボランティア支援、福祉団体ほか	
	負担金支出	27	27	0	全社協 地域福祉推進委員会	
	その他の支出	465	46	419	退職手当預け金差損	
	事業活動支出計(2)	465,699	468,115	△ 2,416		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 21,135	4,160	△ 25,295		
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入	0	996	△ 996		
		施設整備等収入計(4)	0	996	△ 996	
	支出					
固定資産取得支出	0	1,662	△ 1,662			
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,710	3,143	567	システム、サーバー、電話機リース資産		
	施設整備等支出計(5)	3,710	4,805	△ 1,095		
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,710	△ 3,809	99		
その他の活動による収支	収入					
	積立資産取崩収入	22,772	18,666	4,106	退職給付引当資産取崩	
	拠点区分間繰入金収入	0	33,000	△ 33,000		
		その他の活動収入計(7)	22,772	51,666	△ 28,894	
	支出					
	積立資産支出	12,020	11,343	677	退職給付引当資産ほか	
拠点区分間繰入金支出	0	33,000	△ 33,000			
	その他の活動支出計(8)	12,020	44,343	△ 32,323		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	10,752	7,323	3,429		
	予備費支出(10)	0	500	△ 500		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 14,093	7,174	△ 21,267		
	前期末支払資金残高(12)	115,044	108,211	6,833		
	当期末支払資金残高(11)+(12)	100,951	115,385	△ 14,434		

平成30年度 社会福祉法人養父市社会福祉協議会 社会福祉事業区分 資金収支予算内訳表

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		法人運営事業 拠点	共同募金配分金 事業拠点	善意銀行運営 事業拠点	地域福祉活動 推進事業拠点	ボランティア・市民活動 センター運営事業拠点	介護予防・ 地域支援拠点	介護保険 事業拠点	障害福祉 サービス拠点	合計	
事業活動による収支	収入										
	会費収入	11,000	0	0	0	0	0	0	0	11,000	
	分担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寄附金収入	10	0	5,200	0	0	0	0	0	5,210	
	経常経費補助金収入	0	9,395	0	13,010	2,500	0	0	0	24,905	
	受託金収入	0	0	0	17,883	0	26,001	7,700	0	51,584	
	貸付事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業収入	3,730	0	0	7,019	53	3,040	0	0	13,842	
	負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護保険事業収入	0	0	0	0	0	0	315,556	0	315,556	
	障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	16,278	16,278	
	借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	経常経費寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	受取利息配当金収入	35	0	0	0	0	0	0	0	35	
	その他の収入	5,504	0	0	50	25	175	400	0	6,154	
	流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業活動収入計(1)	20,279	9,395	5,200	37,962	2,578	29,216	323,656	16,278	444,564	
	支出										
	人件費支出	46,791	0	0	36,064	7,882	20,990	225,301	9,664	346,692	
	事業費支出	2,392	1,935	90	7,152	584	4,707	49,837	319	67,016	
事務費支出	7,405	1,878	888	9,446	844	1,476	22,541	1,092	45,570		
貸付事業等支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
共同募金配分金支出	0	196	0	0	0	0	0	0	196		
分担金支出	135	0	0	50	0	0	0	0	185		
助成金支出	150	5,386	12	0	0	0	0	0	5,548		
負担金支出	27	0	0	0	0	0	0	0	27		
利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
支払利息支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の支出	465	0	0	0	0	0	0	0	465		
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業活動支出計(2)	57,365	9,395	990	52,712	9,310	27,173	297,679	11,075	465,699		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 37,086	0	4,210	△ 14,750	△ 6,732	2,043	25,977	5,203	△ 21,135		
施設整備等による収支	収入										
	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出										
	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ファイナンス・リース債務の返済支出	650	0	0	522	0	0	2,538	0	3,710		
その他の施設整備等による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
施設整備等支出計(5)	650	0	0	522	0	0	2,538	0	3,710		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 650	0	0	△ 522	0	0	△ 2,538	0	△ 3,710		
その他の活動による収支	収入										
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	長期運営資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	積立資産取崩収入	22,772	0	0	0	0	0	0	0	22,772	
	事業区分間長期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	拠点区分間長期借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	拠点区分間長期貸付金回収収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の活動による収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の活動収入計(7)	22,772	0	0	0	0	0	0	0	22,772	
	支出										
	長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
積立資産支出	12,020	0	0	0	0	0	0	0	12,020		
事業区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間長期借入金返済支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の活動支出計(8)	12,020	0	0	0	0	0	0	0	12,020		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	10,752	0	0	0	0	0	0	0	10,752		
予備費(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 26,984	0	4,210	△ 15,272	△ 6,732	2,043	23,439	5,203	△ 14,093		
前期末支払資金残高(12)	△ 62,639	182	32,290	△ 39,810	△ 2,005	△ 5,402	186,398	6,030	115,044		
当期末支払資金残高(11)+(12)	△ 89,623	182	36,500	△ 55,082	△ 8,737	△ 3,359	209,837	11,233	100,951		



## 社会福祉法人 養父市社会福祉協議会

〒667-0022 養父市八鹿町下網場 320  
地域交流センター「福祉の杜」  
電 話 : (079) 662-0160  
F A X : (079) 662-0161  
メー ル : info@yabu-shakyo.jp  
U R L : <http://www.yabu-shakyo.jp>

### ◆養父支部

〒667-0101 養父市広谷 251-1  
電 話 : (079) 664-1142  
F A X : (079) 664-2181  
メー ル : yabu@yabu-shakyo.jp

### ◆大屋支部

〒667-0315 養父市大屋町加保 678-1  
大屋保健センター内  
電 話 : (079) 669-1598  
F A X : (079) 669-0093  
メー ル : ooya@yabu-shakyo.jp

### ◆関宮支部

〒667-1105 養父市関宮 193  
関宮ふれあいの郷内  
電 話 : (079) 667-3248  
F A X : (079) 667-3351  
メー ル : sekinomiya@yabu-shakyo.jp